

# CA Configuration Automation®

メッセージリファレンスガイド

r12.8 SP02



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により隨時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受ければ本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、

(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のものでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2015 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

## CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA Technologies の製品は以下のとおりです。

- CA® Embedded Entitlements Manager (CA EEM)

## CAへの連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。



# 目次

---

第 1 章: はじめに	9
第 2 章: エラー メッセージ	11
エージェント エラー メッセージ .....	11
ブループリント エラー メッセージ .....	12
ブループリント グループ エラー メッセージ .....	43
コンプライアンス ジョブ エラー メッセージ .....	44
コンポーネント エラー メッセージ .....	49
変更検出および比較 エラー メッセージ .....	52
Catalyst ジョブ エラー メッセージ .....	69
Catalyst プロファイル エラー メッセージ .....	73
一般的なスケジュール エラー メッセージ .....	76
ディスカバリおよびリフレッシュ エラー メッセージ .....	80
データ移行 エラー メッセージ .....	94
ダッシュボード エラー メッセージ .....	104
エクスポートおよびインポート エラー メッセージ .....	107
グラフ エラー メッセージ .....	109
一般 エラー メッセージ .....	114
グローバル変数 エラー メッセージ .....	120
通知 エラー メッセージ .....	123
NDG エラー メッセージ .....	126
NDG ディスカバリ エラー メッセージ .....	127
プロファイル エラー メッセージ .....	130
プロパティ エラー メッセージ .....	173
ルール コンプライアンス エラー メッセージ .....	175
ルール エラー メッセージ .....	181
ルール グループ エラー メッセージ .....	181
修復 ジョブ エラー メッセージ .....	183
修復 プロファイル エラー メッセージ .....	191
修復履歴警告 メッセージ .....	192
リモート エージェント インストール エラー メッセージ .....	193
レポート エラー メッセージ .....	204
スクリプト エラー メッセージ .....	222
SDK エラー メッセージ .....	227

---

サーバ エラー メッセージ .....	232
構造クラス エラー メッセージ .....	249
サーバ グループ エラー メッセージ .....	257
セキュリティ 証明書 エラー メッセージ .....	260
サービス エラー メッセージ .....	273
サービス プロファイル エラー メッセージ .....	281
スナップショット エラー メッセージ .....	282
テナント エラー メッセージ .....	286
テーブル ビュー エラー メッセージ .....	288
タスク ウィザード エラー メッセージ .....	291

## 第 3 章: 警告メッセージ 293

エージェント 警告 メッセージ .....	293
ブループリント 警告 メッセージ .....	300
ブループリント グループ 警告 メッセージ .....	309
コンプライアンス ジョブ 警告 メッセージ .....	310
Catalyst ジョブ 警告 メッセージ .....	311
Catalyst プロファイル 警告 メッセージ .....	311
変更検出 および 比較 警告 メッセージ .....	312
一般的なスケジュール 警告 メッセージ .....	315
コンポーネント 警告 メッセージ .....	316
ディスカバリ および リフレッシュ 警告 メッセージ .....	317
データ 移行 警告 メッセージ .....	327
グローバル 変数 警告 メッセージ .....	328
グラフ 警告 メッセージ .....	329
一般 警告 メッセージ .....	329
NDG ディスカバリ 警告 メッセージ .....	330
ネットワーク スキャン 警告 メッセージ .....	332
プロファイル 警告 メッセージ .....	332
修復 ジョブ 警告 メッセージ .....	344
修復 プロファイル 警告 メッセージ .....	345
ルール 警告 メッセージ .....	348
ルール コンプライアンス 警告 メッセージ .....	349
ルール グループ 警告 メッセージ .....	350
レポート 警告 メッセージ .....	351
スクリプト 警告 メッセージ .....	352
サーバ 警告 メッセージ .....	353
サーバ グループ 警告 メッセージ .....	359
構造 クラス 警告 メッセージ .....	360

---

セキュリティ証明書警告メッセージ .....	362
サービス警告メッセージ .....	367
サービスプロファイル警告メッセージ .....	373
スナップショット警告メッセージ .....	374
ストレージエリアネットワーク警告メッセージ .....	376
プロパティ警告メッセージ .....	377
テナント警告メッセージ .....	377
テーブルビュー警告メッセージ .....	378
タスク ウィザード警告メッセージ .....	378
プロファイルの UI エクスポートおよびインポート警告メッセージ .....	379

## 第 4 章: 情報メッセージ 381

ブループリント情報メッセージ .....	381
ブループリント グループ情報メッセージ .....	390
コンプライアンス ジョブ情報メッセージ .....	391
コンポーネント情報メッセージ .....	392
Catalyst ジョブ情報メッセージ .....	392
Catalyst プロファイル情報メッセージ .....	393
証明書情報メッセージ .....	394
変更検出および比較情報メッセージ .....	394
グローバル変数情報メッセージ .....	395
グラフ情報メッセージ .....	396
一般情報メッセージ .....	397
データ移行情報メッセージ .....	397
ダッシュボード情報メッセージ .....	402
エクスポートおよびインポート情報メッセージ .....	403
管理プロファイル情報メッセージ .....	403
NDG 情報メッセージ .....	403
NDG ディスカバリ情報メッセージ .....	404
ディスカバリおよびリフレッシュ情報メッセージ .....	405
プロファイル情報メッセージ .....	412
プロパティ情報メッセージ .....	416
ルール情報メッセージ .....	416
ルール コンプライアンス情報メッセージ .....	416
ルール グループ情報メッセージ .....	418
レポート情報メッセージ .....	418
修復ジョブ情報メッセージ .....	420
修復プロファイル情報メッセージ .....	422
修復履歴情報メッセージ .....	424

---

リモート エージェント インストール 情報 メッセージ	424
スクリプト 情報 メッセージ	426
サーバ 情報 メッセージ	428
セキュリティ 証明書 情報 メッセージ	431
構造 クラス 情報 メッセージ	432
サーバ グループ 情報 メッセージ	432
サービス 情報 メッセージ	433
サービス プロファイル 情報 メッセージ	435
スナップショット 情報 メッセージ	435
ストレージ エリア ネットワーク 情報 メッセージ	437
テーブル ビュー 情報 メッセージ	437
テナント 情報 メッセージ	438
タスク ウィザード 情報 メッセージ	438
プロファイル の UI エクスポート および インポート 情報 メッセージ	439

# 第 1 章: はじめに

---

このガイドでは、CA Configuration Automation が表示できるメッセージについて説明します。各メッセージの文字列、メッセージの理由、推奨される解決策（該当する場合）について説明します。

このガイドには、構成の問題、環境の問題、前提条件を解決するのに役立つメッセージが含まれています。CA Configuration Automation 内部のメッセージは除外されています。内部メッセージを解決するには、CA テクニカル サポートにお問い合わせください。

**注:** アプリケーションにセキュリティ違反エラーが表示された場合、操作を完了するには管理者またはアーキテクトとしてログインします。

CA Configuration Automation に表示されるメッセージの種類には以下があります。

## エラー

特定の問題と解決方法についてユーザに通知します。

## 警告

エラーの可能性についてユーザに警告し、エラーを回避するためにアクションの実行を要求します。

## 通知

情報を表示しますが、アクションは要求されません。

メッセージは、CA Configuration Automation で実行する操作に応じて分類されます。



# 第 2 章: エラー メッセージ

---

このセクションでは、変更検出や比較操作の実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。エラー メッセージには、エラーが発生したこと、および状況を解決するために実行する必要があるアクションが示されます。

## エージェント エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でエージェント操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-AG-5701

**サーバ接続: 失敗**

**理由:**

ターゲット コンピュータがアクセス可能でない可能性があります。

**アクション:**

CA Configuration Automation サーバからターゲット コンピュータに対して ping が成功することを確認します。

CCA-AG-5702

**サーバアクセス: 応答なし**

**理由:**

CA Configuration Automation エージェント サービスがターゲット マシン上で実行されていないか、またはファイアウォールが有効になっていて、ターゲット マシンの受信接続をブロックしている可能性があります。

**アクション:**

CA Configuration Automation エージェント サービスがターゲット サーバ上で実行されており、エージェント ポートが開いていて、受信リクエストを受け入れていることを確認します。

## ブループリント エラー メッセージ

---

### CCA-AG-5704

エンド ポイント <end point url> が利用できないため、エージェントへの連絡ができませんでした。

#### 理由:

CA Configuration Automation エージェント サービスがターゲット マシン上で実行されていないか、またはファイアウォールが有効になっていて、ターゲット マシンの受信接続をブロックしている可能性があります。

#### アクション:

CA Configuration Automation エージェント サービスが実行されており、テスト サーバに応答していることを確認します。

### CCA-AG-5729

WMI リモート実行に失敗しました: <error>

#### 理由:

リモート サーバでのスクリプトの実行が失敗しました。

#### アクション:

WMI サービスがリモート サーバ上で実行されており、ユーザがスクリプトの実行に必要な権限を持っていることを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## ブループリント エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でブループリント操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-BP-4051

コンポーネント バージョンが必要です。

理由:

ブループリントの作成または更新時にコンバート バージョンがありません。

アクション:

コンポーネント バージョンを指定します。

CCA-BP-4052

ブループリント バージョンが必要です。

理由:

ブループリントの作成または更新時にブループリント バージョンがありません。

アクション:

ブループリント バージョンを指定します。

CCA-BP-4053

いずれかのコンポーネント グループ化オプションを選択してから続行してください。

理由:

ブループリントの作成または更新時にコンポーネント グループ化オプション (ネスト化) が選択されていません。

アクション:

いずれかのコンポーネント グループ化オプション (ネスト化) を選択します。

## ブループリント エラー メッセージ

### CCA-BP-4055

検索開始場所が必要です。

**理由:**

ブループリントの作成または更新時に検索開始場所が指定されていません。

**アクション:**

検索開始場所の値を指定します。

### CCA-BP-4056

名前が必要です。

**理由:**

ブループリントの作成または更新時にインジケータ名が指定されていません。

**アクション:**

インジケータ名を指定します。

### CCA-BP-4057

パスか階層数のいずれかを指定する必要があります。

**理由:**

インジケータの追加または更新時にパスまたは階層情報がありません。

**アクション:**

パスか階層情報のいずれかを指定します。

CCA-BP-4058

パスか階層数のいずれかを指定できます。

**理由:**

インジケータの追加または更新時にパスと階層情報の両方が指定されています。

**アクション:**

パスか階層情報のいずれかが必要です。

CCA-BP-4059

パスが必要です。

**理由:**

インジケータの追加または更新時にパス情報がありません。

**アクション:**

パス情報を指定します。

CCA-BP-4060

階層数が必要です。

**理由:**

インジケータの追加または更新時に階層数情報がありません。

**アクション:**

階層数情報を指定します。

CCA-BP-4062

インジケータ名は無効です。

理由:

インジケータ名に、\* や \*.\* などのワイルドカードが含まれています。

アクション:

指定したワイルドカードと共にほかの文字を指定します。

CCA-BP-4063

すでに存在する名前を追加することはできません。

理由:

指定した名前は存在します。

アクション:

新しい名前を指定します。

CCA-BP-4064

プライマリ ポートが必要です。

理由:

プライマリ ポート情報が指定されていません。

アクション:

プライマリ ポート情報を指定します。

CCA-BP-4065

名前が必要です。

理由:

名前が指定されていません。

アクション:

名前を指定します。

CCA-BP-4066

クエリが必要です。

理由:

クエリが指定されていません。

アクション:

クエリを指定します。

CCA-BP-4067

ポートが必要です。

理由:

ネットワーク プローブ ディレクティブ タイプのポート情報が指定されていません。

アクション:

ポート番号を指定します。

CCA-BP-4068

ユーザ ID が必要です。

理由:

LDAP の取得ディレクティブ タイプのユーザ ID が指定されていません。

アクション:

ユーザ ID 情報を指定します。

CCA-BP-4069

パスワードが必要です。

理由:

LDAP の取得ディレクティブ タイプのパスワードが指定されていません。

アクション:

パスワード情報を指定します。

## ブループリント エラー メッセージ

---

### CCA-BP-4070

パーサまたは構造クラスのいずれかが必要です。

**理由:**

パーサまたは構造クラスが選択されていません。

**アクション:**

パーサまたは構造クラスのいずれかを選択します。

### CCA-BP-4073

パーサまたは構造クラスのみが指定できます。

**理由:**

パーサおよび構造クラス情報の両方が指定されています。

**アクション:**

パーサまたは構造クラスのいずれかを選択します。

### CCA-BP-4074

バージョンが必要です。

**理由:**

バージョンが指定されていません。

**アクション:**

バージョン情報を指定します。

CCA-BP-4078

名前が必要です。

理由:

名前が指定されていません。

アクション:

名前を指定します。

CCA-BP-4079

検索階層数は 100 未満の正の整数である必要があります。

理由:

検索階層数が 0 ~ 99 の範囲外です。

アクション:

0 ~ 99 の範囲内の値を指定します。

CCA-BP-4080

ルートからの階層数は 100 未満の正の整数である必要があります。

理由:

ルート値からの階層数が 0 ~ 99 の範囲外です。

アクション:

0 ~ 99 の範囲内の値を指定します。

CCA-BP-4081

検索開始場所はファイルまたはレジストリのルートから開始されるパスである必要があります。例: ¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE、/usr/local または C:¥Program Files

**理由:**

不正な検索開始場所が指定されています。

**アクション:**

検索開始場所は、ファイルまたはレジストリのルートから開始されるパスにする必要があります。例: ¥HKEY\_LOCAL\_MACHINE、/usr/local または C:¥Program Files

CCA-BP-4082

管理対象階層数は 100 未満の正の整数である必要があります。

**理由:**

管理対象階層数が 0 ~ 99 の範囲外です。

**アクション:**

0 ~ 99 の範囲内の値を指定します。

CCA-BP-4083

最大ファイル数は 0 以上の整数である必要があります。

**理由:**

最大ファイル数の値が 0 以上ではありません。

**アクション:**

0 以上の整数値を指定します。

CCA-BP-4084

最大エレメント数は 0 以上の整数である必要があります。

理由:

最大エレメント数の値が 0 以上ではありません。

アクション:

0 以上の整数値を指定します。

CCA-BP-4085

ブラウザからエレメントを追加する前にブループリント ルートを設定してください。

理由:

エレメントをツリーに追加する際に [参照] ダイアログ ボックスにブループリント ルートが設定されていません。

アクション:

ブループリント ルートを設定します。

CCA-BP-4086

最初にデータ管理セクション内でデータベース定義を追加する必要があります。

理由:

データ管理セクションにデータベース定義が追加されていません。

アクション:

[データ管理] セクションにデータベース定義を追加します。

CCA-BP-4102

トランスレート処理 <translation> は削除できません。現在、このブループリントまたは別のブループリントが使用中です。

理由:

トランスレート処理 <translation> は、このブループリントまたは別のブループリントによって使用されています。

アクション:

いずれのブループリントもトランスレート処理 <translation> を使用しておらず、操作を実行していないことを確認します。

CCA-BP-4103

トランスレート元が必要です。

理由:

トランスレート元の値が指定されていません。

アクション:

行を削除するか、またはトランスレート元を指定します。

CCA-BP-4104

トランスレート元が重複しています。

理由:

トランスレート元がすでに存在します。

アクション:

新しいトランスレート元を指定するか、または行を削除します。

CCA-BP-4121

無効なブループリント名です。以下の文字は使用できません: <>;:"" \* + =  
¥¥/|?

理由:

ブループリント名にサポートされていない文字が含まれています。

アクション:

サポートされていない特殊文字を使用せずにブループリント名を指定します。

CCA-BP-4137

ブループリントがすでに存在します。

理由:

ブループリント名がすでに存在します。

アクション:

一意のブループリント名を指定します。

CCA-BP-4138

オプションが重複しています。

理由:

パーサ オプション名がすでに存在します。

アクション:

ほかのパーサ オプション名を選択するか、または重複しているパーサ オプションをすべて削除します。

[CCA-BP-4141](#)

値は整数である必要があります。

理由:

パーサ オプションの値は整数である必要があります。

アクション:

整数値を指定します。

[CCA-BP-4142](#)

値は最小値の <n> です。

理由:

パーサ オプション値が <n> 未満です。

アクション:

<n> 以上のパーサ オプション値を指定します。

[CCA-BP-4143](#)

値は最大値の <n> です。

理由:

パーサ オプション値が <n> より大きいです。

アクション:

<n> 以下のパーサ オプション値を指定します。

CCA-BP-4145

無効な名前。有効な正規表現である必要があります。

理由:

無効な正規表現です。

アクション:

正規表現を修正します。

CCA-BP-4148

エクスポートを実行できません。ユーザにこの操作を実行する権限がありません。

理由:

この操作を実行する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

CCA-BP-4149

すべてのブループリントの取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用してすべてのブループリントを取得中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-BP-4160](#)

データベース <database> を削除できません。構成データ定義で使用されています。

**理由:**

データベース <database> は構成データ定義で使用されているため、削除できません。

**アクション:**

このデータベースを使用する構成データ定義をすべて削除し、データベース <database> の削除を試みます。

[CCA-BP-4161](#)

インポートが失敗しました。ブループリントの管理データベースは使用中のため削除できませんでした。

**理由:**

管理データベースは JAR ファイルには存在していませんが、検出されたコンポーネントには存在しているため、ブループリントをインポートできません。

**アクション:**

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントをインポートします。

[CCA-BP-4162](#)

インポートが失敗しました。ブループリントのパラメータ ディレクティブは使用中のため削除できませんでした。

**理由:**

パラメータ ディレクティブは JAR ファイルには存在していませんが、検出されたコンポーネントには存在しているため、ブループリントをインポートできません。

**アクション:**

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントをインポートします。

CCA-BP-4163

インポートが失敗しました。ブループリントの検証ディレクティブは使用中のため削除できませんでした。

**理由:**

検証ディレクティブは JAR ファイルには存在していませんが、検出されたコンポーネントには存在しているため、ブループリントをインポートできません。

**アクション:**

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントをインポートします。

CCA-BP-4164

インポートが失敗しました。ブループリントの実行可能ディレクティブは使用中のため削除できませんでした。

**理由:**

実行可能ディレクティブは JAR ファイルには存在していませんが、検出されたコンポーネントには存在しているため、ブループリントをインポートできません。

**アクション:**

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントをインポートします。

CCA-BP-4165

インポートが失敗しました。ブループリントの管理データベース テーブルは使用中のため削除できませんでした。

**理由:**

管理データベースは JAR ファイルには存在していませんが、検出されたコンポーネントには存在しているため、ブループリントをインポートできません。

**アクション:**

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントをインポートします。

## ブループリント エラー メッセージ

---

### CCA-BP-4166

インポートが失敗しました。ブループリントの構成データベース クエリは使用中のため削除できませんでした。

#### 理由:

構成データベースは JAR ファイルには存在していませんが、検出されたコンポーネントには存在しているため、ブループリントをインポートできません。

#### アクション:

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントをインポートします。

### CCA-BP-4167

インポートが失敗しました。ブループリントの構成ファイルは使用中のため削除できませんでした。

#### 理由:

構成ファイルは JAR ファイルには存在していませんが、検出されたコンポーネントには存在しているため、ブループリントをインポートできません。

#### アクション:

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントをインポートします。

### CCA-BP-4168

ブループリントがすでに存在します。

#### 理由:

ブループリント名がすでに存在します。

#### アクション:

新しい一意のブループリント名を指定します。

CCA-BP-4169

ディスカバリ データが存在するため、パラメータを削除できません。

理由：

対応するディスカバリ データが存在するため、パラメータを削除できません。

アクション：

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、パラメータを削除します。

CCA-BP-4170

ディスカバリ データが存在するため、フィルタを削除できません。

理由：

対応するディスカバリ データが存在するため、フィルタを削除できません。

アクション：

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、フィルタを削除します。

CCA-BP-4171

ディスカバリ データが存在するため、グループを削除できません。

理由：

対応するディスカバリ データが存在するため、グループを削除できません。

アクション：

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、グループを削除します。

CCA-BP-4172

ディスカバリ データが存在するため、ファイルを削除できません。

理由：

対応するディスカバリ データが存在するため、ファイルを削除できません。

アクション：

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ファイルを削除します。

CCA-BP-4173

ディスカバリ データが存在するため、データベースを削除できません。

理由：

対応するディスカバリ データが存在するため、データベースを削除できません。

アクション：

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、データベースを削除します。

CCA-BP-4174

ディスカバリ データが存在するため、クエリを削除できません。

理由：

対応するディスカバリ データが存在するため、クエリを削除できません。

アクション：

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、クエリを削除します。

CCA-BP-4175

ディスカバリ データが存在するため、ブループリントを削除できません。

理由:

対応するディスカバリ データが存在するため、ブループリントを削除できません。

アクション:

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントを削除します。

CCA-BP-4176

管理プロファイルで使用されているため、ブループリントを削除できません。

理由:

管理プロファイルで使用されているため、ブループリントを削除できません。

アクション:

このブループリントがいずれの管理プロファイルでも使用されていないことを確認してから、ブループリントを削除します。

CCA-BP-4178

数値の値が無効です。その操作は数値にのみ適用可能です。

理由:

ルールの作成または更新時に無効な数値が指定されました。

アクション:

有効な数値を指定します。

CCA-BP-4179

整数の範囲が無効です。両方の値が 0 以上の整数である必要があります。

理由：

ルールの作成または更新時に無効な整数範囲が指定されました。

アクション：

整数値は 0 以上にする必要があります。

CCA-BP-4180

ディスカバリ データが存在するため、データベース テーブルを削除できません。

理由：

対応するディスカバリ データが存在するため、データベース テーブルを削除できません。

アクション：

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、データベース テーブルを削除します。

CCA-BP-4181

無効なトランスレート処理名です。以下の文字は使用できません: <>;: " " \* + = ¥¥ / | ?

理由：

次の文字はトランスレート処理名の一部として使用できません： <>;: " " \* + = ¥¥ / | ?

アクション：

指定された文字を含めずにトランスレート処理名を指定します。

CCA-BP-4182

無効なコンポーネント バージョンです。以下の文字は使用できません: <>; : "  
" + = ¥¥ / ?

理由:

次の文字はコンポーネント バージョンの一部として使用できません: <  
>; : "  
" + = ¥¥ / ?

アクション:

指定された文字を含めずにコンポーネント バージョンを指定します。

CCA-BP-4183

無効なブループリント バージョンです。以下の文字は使用できません: <>; : "  
" + = ¥¥ / ?

理由:

次の文字はブループリント バージョンの一部として使用できません: <  
>; : "  
" + = ¥¥ / ?

アクション:

指定された文字を含めずにブループリント バージョンを指定します。

CCA-BP-4203

以下のパスが無効です: <path name>。

理由:

パス <path name> は有効ではありません。

アクション:

正しいパス <path name> を指定し、参照操作を実行します。

CCA-BP-4204

インポートが失敗しました。ブループリントのマクロは使用中のため削除できませんでした。

**理由:**

マクロは JAR ファイルには存在していませんが、検出されたコンポーネントには存在しているため、ブループリントをインポートできません。

**アクション:**

このブループリントに対応する検出されたコンポーネントをすべて削除してから、ブループリントをインポートします。

CCA-BP-4205

プライマリ ポート値は、TCP ポート(1-65535)の有効な範囲内の単一の整数値で、有効なポート番号のカンマ区切りリスト、または <ポート番号>-<ポート番号> の形で指定したポート範囲である必要があります。カンマ区切り値および範囲は、21,22,30-40,100 のように組み合わせて使用できます。

**理由:**

プライマリ ポートに不正な値が指定されています。

**アクション:**

以下のように値を指定します。

- TCP ポート (1 ~ 65535) の有効な範囲内の単一の整数値
- 有効なポート番号のカンマ区切りリスト
- <port\_number>-<port\_number> の形で指定したポート範囲

カンマ区切り値および範囲は、21,22,30-40,100 のように組み合わせて使用できます。

## CCA-BP-4206

代替ポート値は、TCP ポート(1-65535)の有効な範囲内の单一の整数値で、有効なポート番号のカンマ区切りリスト、または<ポート番号>-<ポート番号>の形で指定したポート範囲である必要があります。カンマ区切り値および範囲は、21,22,30-40,100 のように組み合わせて使用できます。

**理由:**

代替ポートに不正な値が指定されています。

**アクション:**

以下のように値を指定します。

- TCP ポート (1 ~ 65535) の有効な範囲内の单一の整数値
- 有効なポート番号のカンマ区切りリスト
- <port\_number>-<port\_number> の形で指定したポート範囲

カンマ区切り値および範囲は、21,22,30-40,100 のように組み合わせて使用できます。

## CCA-BP-4210

無効なパラメータ名です。以下の文字は許可されません: <> " &

**理由:**

パラメータ名にサポートされていない文字があります。

**アクション:**

サポートされていない特殊文字を使用せずにパラメータ名を指定します。

## CCA-BP-4213

レジストリ参照は Windows サーバでのみ使用できます。

**理由:**

レジストリ参照は Windows サーバでのみ使用できます。

**アクション:**

対処は不要です。

CCA-BP-4215

ログ レベル

関係キー 'yes' には関係タイプが必要です。

理由 :

ディレクトリ詳細パネル、FSC パラメータ詳細、またはパラメータ詳細パネルの [値詳細] に対する関係キーが yes として選択されている場合は、関係タイプが必要です。

アクション :

関係タイプを指定します。

CCA-BP-4216

関係キー 'no' には関係タイプは適用できません。

理由 :

ディレクトリ詳細パネル、FSC パラメータ詳細、またはパラメータ詳細パネルの [値詳細] に対する関係キーが no として選択されている場合は、関係タイプは必要ありません。

アクション :

関係タイプを指定しないでください。

CCA-BP-4220

ブループリントのエクスポート中にセキュリティ違反エラーが発生しました。

理由 :

この操作を実行する権限がありません。

アクション :

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

## CCA-BP-4222

ブループリント <blueprint name> 用の XML をファイルストリームに書き込み中にエラーが発生しました。

### 理由:

ブループリントのエクスポート時にブループリント <blueprint name> 用の XML ファイルを書き込むことができません

### アクション:

以下を実行します。

- ファイルシステムに書き込むための必要な権限を持っていることを確認する。
- システムには十分な空きディスク容量があることを確認する。

必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-BP-4225

以下のブループリントのインポート中に重複オブジェクトの例外が発生しました

### 理由:

ブループリントのインポート時にパーサがすでに存在します。

### アクション:

既存のブループリントに上書きするために [既存のブループリントを上書き] を選択してください。

## CCA-BP-4227

以下のブループリントのインポート中にセキュリティ違反の例外が発生しました:

### 理由:

この操作を実行する権限がありません。

### アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

## ブループリント エラー メッセージ

---

### CCA-BP-4237

ブループリント グループのエクスポート中にセキュリティ違反エラーが発生しました。

#### 理由:

この操作を実行する権限がありません。

#### アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

### CCA-BP-4241

以下のトランスレート処理のインポート中にセキュリティ違反が発生しました:  
<translation name>

#### 理由:

この操作を実行する権限がありません。

#### アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

### CCA-BP-4243

[デフォルト値]の長さは 100 文字以下である必要があります。

#### 理由:

デフォルト値の長さが 100 文字を超えています。

#### Action:

デフォルト値の長さを 100 文字以下にします。

CCA-BP-4401

新規行を追加する前にパラメータ名を入力してください

理由:

新規行の作成または更新時に、 [応答解析オプション] にパラメータ名が指定されていません。

アクション:

パラメータ名を指定するか、または行を削除します。

CCA-BP-4402

新規行を追加する前に xpath を入力してください

理由:

行の作成または更新時に、 [応答解析オプション] に xpath が指定されていません。

アクション:

xpath 名を指定します。

CCA-BP-4403

WSDL が失敗しました。WSDL URL を確認してください

理由:

サーバに接続できなかつたか、またはエンドポイント URL を利用できません。

アクション:

サーバがアクセス可能であり、ブラウザを使用してエンドポイント URL にアクセスできることを確認します。 `cca.log` ファイル内の例外スタックトレースを確認します。問題が解決されない場合は、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

CCA-BP-4404

WSDL 内のサービスのリストを取得することができません

理由:

WSDL 内のサービスのリストを取得中にエラーが発生しました。

アクション:

ブラウザでエンドポイント URL を開き、結果で利用可能なサービスを確認します。 `cca.log` ファイル内の例外スタック トレースを確認します。問題が解決されない場合は、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-BP-4405

サービス <service name> のバインディングのリストを取得することができません

理由:

サービス <service name> のバインディングのリストを取得中にエラーが発生しました。

アクション:

ブラウザでエンドポイント URL を開き、結果で利用可能なバインディングを確認します。 `cca.log` ファイル内の例外スタック トレースを確認します。問題が解決されない場合は、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-BP-4406

バインディング <binding name> の操作のリストを取得することができません

理由:

バインディング <binding name> の操作のリストを取得中にエラーが発生しました。

アクション:

ブラウザでエンドポイント URL を開き、結果でバインディング <binding name> に利用可能な操作を確認します。 `cca.log` ファイル内の例外スタック トレースを確認します。問題が解決されない場合は、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-BP-4407

バインディング <binding name> のデフォルト URL を取得することができません

理由:

バインディング <binding name> のデフォルト URL を取得中にエラーが発生しました。

アクション:

ブラウザでエンドポイント URL を開き、結果でデフォルト URL が利用可能なことを確認します。 `cca.log` ファイル内の例外スタック トレースを確認します。問題が解決されない場合は、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

CCA-BP-4409

WSDL URL が必要です。

理由:

WSDL URL が指定されていません。

アクション:

WSDL URL を指定します。

CCA-BP-4410

ステップ名が必要です。

理由:

ステップの作成または更新時にステップ名が指定されていません。

アクション:

ステップ名を指定します。

## ブループリント エラー メッセージ

---

### CCA-BP-4411

サービスが必要です。

理由:

サービス名が指定されていません。

アクション:

利用可能なサービスからサービスを選択します。

### CCA-BP-4412

バインディングが必要です。

理由:

バインディング情報が指定されていません。

アクション:

利用可能なバインディングからバインディングを選択します。

### CCA-BP-4413

操作が必要です。

理由:

操作情報が指定されていません。

アクション:

利用可能な操作から操作を選択します。

### CCA-BP-4414

エンドポイント URL が必要です。

理由:

エンドポイント URL が指定されていません。

アクション:

エンドポイント URL を指定します。

#### CCA-BP-4415

SOAP リクエスト XML が必要です。

理由:

SOAP リクエスト URL が指定されていません。

アクション:

SOAP リクエスト URL を指定します。

#### CCA-BP-4421

ステップ出力パラメータ <parameter name> がすでに存在します。

理由:

ステップ出力パラメータ <parameter name> がすでに存在します。

アクション:

新しい出力パラメータ名を指定するか、または重複したエントリを削除します。

## ブループリント グループ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でブループリント グループ操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

#### CCA-BG-4505

名前が必要です。

理由:

名前が指定されていません。

アクション:

ブループリント グループ名を指定します。

## コンプライアンス ジョブ エラー メッセージ

---

### CCA-BG-4506

ブループリント グループ <blueprint group> がすでに存在します。

理由 :

ブループリント グループ <blueprint group> がすでに存在します。

アクション :

新しいブループリント グループ名を指定します。

### CCA-BG-4509

ブループリント グループを削除できません。1つ以上の管理プロファイルで使用されています。

理由 :

ブループリント グループを削除できません。ブループリントが1つ以上の管理プロファイルで使用されています。

アクション :

いずれの管理プロファイルもこのブループリント グループを使用していないことを確認してから、操作を実行します。

### CCA-BG-4511

ブループリント グループ <blueprint group> がすでに存在します。

理由 :

ブループリント グループ <blueprint group> がすでに存在します。

アクション :

新しい名前を指定します。

## コンプライアンス ジョブ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でコンプライアンス ジョブを実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-CM-9007

コンプライアンス ジョブ名が必要です。

理由:

コンプライアンス ジョブ名が指定されていません。

アクション:

コンプライアンス ジョブ名を指定します。

CCA-CM-9008

コンプライアンス ジョブ <jobname> はすでに存在します。

理由:

コンプライアンス ジョブ <jobname> がすでに存在します。

アクション:

一意のジョブ名を指定します。

CCA-CM-9030

コンプライアンス ジョブでは、1 つ以上のルール グループが必要です。

理由:

ルール グループが選択されていません。

アクション:

コンプライアンス ジョブの作成または更新時に少なくとも 1 つのルール グループを選択します。

CCA-CM-9031

ユーザに、コンプライアンス ジョブ <jobname> をスケジュールする権限がありません。エラー メッセージ - <error>

## コンプライアンス ジョブ エラー メッセージ

---

### 理由:

ユーザに、コンプライアンス ジョブを実行またはスケジュールする権限がありません。

### アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、コンプライアンス ジョブ <jobname> を実行またはスケジュールします。

## CCA-CM-9032

スケジュールが失敗したため、コンプライアンス ジョブ <jobname> を作成できません。エラー メッセージ - <error>

### 理由:

コンプライアンス ジョブのスケジューリングが失敗しました。

### アクション:

スケジューリング オプションを確認します。

## CCA-CM-9033

スケジュールが失敗したため、コンプライアンス ジョブ <jobname> を更新できません。エラー メッセージ - <error>

### 理由:

コンプライアンス ジョブのスケジューリングが失敗しました。

### アクション:

スケジューリング オプションを確認します。

## CCA-CM-9034

コンプライアンス ジョブ/コンプライアンス履歴の取得中にエラーが発生しました。

### 理由:

SDK を使用してコンプライアンス ジョブまたはコンプライアンス履歴の詳細を取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-CM-9035](#)

コンプライアンス ジョブ <jobname> の実行中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してコンプライアンス ジョブ <jobname> を実行中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-CM-9036](#)

コンプライアンス結果の取得中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してコンプライアンス結果を取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-CM-9037](#)

コンプライアンス ジョブ <jobname> の追加/更新中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してコンプライアンス ジョブ <jobname> を追加または更新中に例外が発生しました。

### アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-CM-9038

コンプライアンス ジョブ <jobname> の削除中にエラーが発生しました。

### 理由:

SDK を使用してコンプライアンス ジョブ <jobname> を削除中に例外が発生しました。

### アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-CM-9039

有効なルール グループが指定されていません。コンプライアンス ジョブでは、1 つ以上のルール グループが必要です。

### 理由:

有効なルール グループが指定されていません。

### アクション:

コンプライアンス ジョブの作成または更新時に少なくとも 1 つ有効なルール グループを設定します。

## CCA-CM-9040

指定された結果 UUID 用の結果が見つかりません。

### 理由:

コンプライアンス ジョブに利用可能な結果がありません

**アクション:**

結果 UUID が有効で、CCA サーバに存在することを確認します。必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

[CCA-CM-9041](#)

コンプライアンス ジョブ名が長すぎます。

**理由:**

コンプライアンス ジョブ名が長すぎます。

**アクション:**

ジョブ名の長さが 200 を超えないようにします。

## コンポーネント エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でコンポーネント操作を実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

[CCA-CM-3560](#)

このアクションは、インベントリ済みまたは管理対象状態のコンポーネントに適用されます

**理由:**

コンポーネントリフレッシュ操作の実行中にコンポーネントが管理対象状態になっていません。

**アクション:**

選択したブループリントが、管理プロファイル内の [ブループリント] タブの [検出] および [管理] セクションで利用可能であり、ディスカバリ操作後にすべてのコンポーネントが管理対象状態になることを確認します。

[CCA-CM-9307](#)

UUID <Server/Service/Snapshot uuid> のサーバ/サービス/スナップショットのコンポーネントを取得中にエラーが発生しました

**理由:**

SDK API を使用してサーバのコンポーネントを取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

[CCA-CM-9308](#)

UUID <componentuuid> のコンポーネントのフォルダを取得中にエラーが発生しました

**理由:**

コンポーネント UUID を持つコンポーネント フォルダを取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

[CCA-CM-9311](#)

コンポーネント <componentname> が見つかりません

**理由:**

コンテキスト内起動で開くコンポーネントが存在しません。

**アクション:**

CA Configuration Automation サーバで利用可能なコンポーネントを確認します。

CCA-CM-9313

UUID <componentuuid> のコンポーネントを取得中にエラーが発生しました

理由:

CA Configuration Automation DB からコンポーネントの詳細を取得中に例外が発生しました。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-CM-9314

UUID <componentuuid> のコンポーネントのサブコンポーネントを取得中にエラーが発生しました

理由:

CA Configuration Automation DB からサブコンポーネントの詳細を取得中に例外が発生しました。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-CM-9321

サーバ <servername> でスケジュールされたコンポーネントリフレッシュが失敗しました。ユーザ <username> にこの操作を実行する権限がありません。

理由:

サーバ コンポーネントのリフレッシュ操作を実行する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、サーバコンポーネントのリフレッシュ操作を実行します。

## 変更検出および比較エラー メッセージ

---

### CCA-CM-9322

CCA-CM-9322: サービス <servicename> でスケジュールされたコンポーネントリフレッシュが失敗しました。ユーザ <username> にこの操作を実行する権限がありません。

#### 理由:

サービス コンポーネントのリフレッシュ操作を実行する権限がありません。

#### アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、サービス コンポーネントのリフレッシュ操作を実行します。

## 変更検出および比較エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で変更検出および比較操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-DF-9101

ソース日付が必要です。

#### 理由:

ソース日付が指定されていません。

#### アクション:

ソース日付を指定します。

### CCA-DF-9102

ターゲット日付が必要です。

#### 理由:

ターゲット日付が指定されていません。

#### アクション:

ターゲット日付を指定します。

CCA-DF-9103

1つ以上のフォルダが必要です。

理由:

選択した [フォルダ] フィールドが空です。

アクション:

必要なフォルダを選択します。

CCA-DF-9104

1つ以上のカテゴリが必要です。

理由:

選択した [カテゴリ] フィールドが空です。

アクション:

必要なカテゴリを選択します。

CCA-DF-9105

1つ以上のウェイトが必要です。

理由:

選択した [ウェイト] フィールドが空です。

アクション:

必要なウェイトを選択します。

CCA-DF-9107

変更のタイプが無効です。

理由:

フラットテーブル内の変更検出または比較結果をフィルタリング中に無効な変更のタイプが指定されました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9109

ソース コンポーネントを選択してください。

理由:

ソース コンポーネントの値が指定されていません。

アクション:

ソース コンポーネントを指定します。

CCA-DF-9110

ターゲット コンポーネントを選択してください。

理由:

ターゲット コンポーネントが選択されていません。

アクション:

ターゲット コンポーネントを選択します。

CCA-DF-9111

無効なソース日付です。指定された日付が MM/DD/YYYY 形式ではありません。

理由:

ソース日付が無効です。

アクション:

MM/DD/YYYY 形式でソース日付を指定します。

CCA-DF-9112

無効なターゲット日付です。指定された日付が MM/DD/YYYY 形式ではありません。

**理由:**

ターゲット日付が無効です。

**アクション:**

MM/DD/YYYY 形式でターゲット日付を指定します。

[CCA-DF-9113](#)

サーバの比較を実行中にエラーが発生しました(ソース サーバ <servername>)

**理由:**

SDK を使用してサーバの比較操作を実行中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

[CCA-DF-9114](#)

サービスの比較を実行中にエラーが発生しました(ソース サービス <servicename>)

**理由:**

SDK を使用してサービスの比較操作を実行中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9115

サーバの変更を検出中にエラーが発生しました(サーバ <servernamelist>)

理由:

SDK を使用してサーバの変更検出操作を実行中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9116

サービスの変更を検出中にエラーが発生しました(サービス <servicenamelist>)

理由:

SDK を使用してサービスの変更検出操作を実行中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9119

サービスの変更検出に失敗しました。エラー メッセージ - <error>

理由:

変更検出操作が失敗しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9121

サーバの変更検出に失敗しました。エラー メッセージ - <error>

**理由:**

変更検出操作が失敗しました。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-DF-9123](#)

無効なソース サービスです。サービス <servicename> に対する変更検出および比較の操作は実行されません。

**理由:**

ソース サービス <servicename> が利用できません。

**アクション:**

サービスを作成し、サービス データを検出します。

[CCA-DF-9124](#)

サービスのスナップショットが見つからないか、スナップショットにサーバがありません。サービス <servicename> に対する変更検出および比較の操作は実行されません。

**理由:**

変更検出および比較の操作を実行するためのサービス スナップショットがありません。

**アクション:**

サービス <servicename> のスナップショットを作成します。

[CCA-DF-9125](#)

無効なターゲット サービスです。サービス <servicename> に対する変更検出および比較の操作は実行されません。

**理由:**

ターゲット サービス <servicename> が利用できません。

**アクション:**

サービス データを検出するためには <servicename> サービスを作成します。

[CCA-DF-9126](#)

無効なソース サーバです。サーバ <servername> に対する変更検出および比較の操作は実行されません。

**理由:**

ソース サーバ <servername> が利用できません。

**アクション:**

サーバ データを検出するためにはサーバ <servername> を作成します。

[CCA-DF-9127](#)

サーバのスナップショットが見つかりません。サーバ <servername> に対する変更検出および比較の操作は実行されません。

**理由:**

サーバスナップショットがありません。

**アクション:**

サーバ <servername> のスナップショットを作成します。

[CCA-DF-9128](#)

無効なターゲット サーバです。サーバ <servername> に対する変更検出および比較の操作は実行されません。

**理由:**

ターゲット サーバ <servername> が利用できません。

**アクション:**

サーバ データを検出するためにはサーバ <servername> を作成します。

CCA-DF-9134

ファイル データの不整合が検出されました。オブジェクト UUID <uuid> で差分が検出されましたが、ディレクトリ階層内に存在しません。

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9136

レジストリ値データの不整合が検出されました。オブジェクト UUID <uuid> で差分が検出されましたが、レジストリ階層内に存在しません。

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9139

構成グループ ファイル データの不整合が検出されました。オブジェクト UUID <uuid> で差分が検出されましたが、グループ階層内に存在しません。

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9141

ファイル データ内の構成パラメータの不整合が検出されました。オブジェクト UUID <uuid> で差分が検出されましたが、グループ階層内に存在しません。

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-DF-9143](#)

実行ファイル データ内の構成パラメータの不整合が検出されました。オブジェクト UUID <uuid> で差分が検出されましたが、ディレクティブ階層内に存在しません。

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-DF-9149](#)

レジストリ キーに対する値が見つかりません。UUID=<uuid>

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-DF-9151](#)

構成グループ キーに対するデータが見つかりません。UUID=<uuid>

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

**CCA-DF-9165**

ソースおよびターゲット両方のデータについて、サーバのスナップショットが見つかりません。サーバ <servername> に対する変更検出または比較の操作は実行されません。

**理由:**

選択されたソースおよびターゲット データのサーバスナップショットがありません。

**アクション:**

サーバ <servername> でソースおよびターゲットの両方のデータのスナップショットを作成します。

**CCA-DF-9166**

ソースおよびターゲット両方のデータについて、サービスのスナップショットまたはサーバが見つかりません。サービス <servicename> に対する変更検出または比較の操作は実行されません。

**理由:**

選択されたソースおよびターゲットの両方のデータのサービススナップショットがありません。

**アクション:**

サービス <servicename> でソースおよびターゲット データのスナップショットを作成します。

**CCA-DF-9167**

ソースおよびターゲット両方のデータについて、サーバのスナップショットが見つかりません。サーバ <servername1> および <servername2> に対する変更検出または比較の操作は実行されません。

**理由:**

選択されたソースおよびターゲットの両方のデータのサーバスナップショットがありません。

**アクション:**

ソースおよびターゲットデータ用のサーバ <servername1> およびサーバ <servername2> のスナップショットを作成します。

[CCA-DF-9168](#)

ソースおよびターゲット両方のデータについて、サービスのスナップショットまたはサーバが見つかりません。サービス <servicename1> および <servicename2> に対する変更検出または比較の操作は実行されません。

**理由:**

選択されたソースおよびターゲットの両方のデータのサービススナップショットがありません。

**アクション:**

ソースおよびターゲットデータ用のサービス <servicename1> およびサービス <servicename2> のスナップショットを作成します。

[CCA-DF-9179](#)

サーバ <servername> は管理対象外状態です。変更検出または比較操作は実行されません。

**理由:**

サーバ <servername> が管理対象外状態です。

**アクション:**

サーバ <servername> の状態を管理対象に変更します。

[CCA-DF-9180](#)

ソースサーバ <servername1> およびターゲットサーバ <servername2> の両方が管理対象外状態です。変更検出または比較操作は実行されません。

**理由:**

ソース サーバ <servername1> およびターゲット サーバ <servername2> が  
管理対象外状態です。

**アクション:**

ソース サーバ <servername1> およびターゲット サーバ <servername2> の  
状態を管理対象に変更します。

[CCA-DF-9181](#)

ソース サーバ <servername> は管理対象外状態です。変更検出または比較操  
作は実行されません。

**理由:**

ソース サーバ <servername> が管理対象外状態です。

**アクション:**

ソース サーバ <servername> の状態を管理対象に変更します。

[CCA-DF-9182](#)

ターゲット サーバ <servername> は管理対象外状態です。変更検出または比  
較操作は実行されません。

**理由:**

ターゲット サーバ <servername> が管理対象外状態です。

**アクション:**

ターゲット サーバ <servername> の状態を管理対象に変更します。

[CCA-DF-9189](#)

管理対象レジストリのキーにハッシュ値が見つかりません。変更検出および比  
較の操作を実行できません。

**理由:**

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-DF-9191](#)

ファイル オブジェクト <objectname> のディレクトリ UUID が見つかりません。変更検出および比較の操作を実行できません。

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-DF-9193](#)

ディレクトリ UUID マッピング内で値が NULL です 変更検出および比較の操作を実行できません。

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-DF-9195](#)

レジストリ UUID マッピング内で値が NULL です 変更検出および比較の操作を実行できません。

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9197

サーバ <servername> での <servicename1> と <servicename2> との間の変更検出がエラーを発生して終了しました。

理由:

変更検出操作が失敗しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9199

サーバ <servername1> スナップショット <snapshotname1> とサーバ <servername2> スナップショット <snapshotname2>との比較がエラーを発生して終了しました。

理由:

変更検出操作が失敗しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9201

サービス <servicename> での <snapshotname1> と <snapshotname2> との間の変更検出がエラーを発生して終了しました。

理由:

変更検出操作が失敗しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9203

サービス <servicename1> スナップショット <snapshotname1> とサービス <servicename2> スナップショット <snapshotname2>との比較がエラーを発生して終了しました。

理由:

比較操作が失敗しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9206

構成実行可能ファイルに対するデータが見つかりません。実行可能ファイル  
UUID=<uuid>

理由:

検出されたデータが矛盾しています。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DF-9207

サービス <servicename> 内のサーバ <servername> が無効です。サーバに対する変更検出操作は実行されません。

理由:

サーバ <servername> が、変更検出操作を実行するために利用できません。

アクション:

サービス <servicename> の一部としてサーバ <servername> を作成し、サービス データを再検出します。

[CCA-DF-9208](#)

ソースおよびターゲット両方のデータについて、サーバのスナップショットが見つかりません。サービス <servicename> 内のサーバ <servername> に対する変更検出または比較の操作は実行されません。

**理由:**

サーバ <servername> のコンポーネントが、サービス <servicename> で選択されたソースデータおよびターゲットデータの一部として利用できません。

**アクション:**

サーバ <servername> のコンポーネントが、サービス <servicename> で選択されたソースデータおよびターゲットデータの一部として利用できることを確認します。

[CCA-DF-9211](#)

無効なソース サーバです。サービス <servicename> 内のサーバ <servername> に対する比較操作は実行されません。

**理由:**

サーバ <servername> が利用できません。

**アクション:**

サービス <servicename> の一部としてサーバ <servername> を作成し、サービスデータを再検出します。

[CCA-DF-9212](#)

無効なターゲット サーバです。サービス <servicename> 内のサーバ <servername> に対する比較操作は実行されません。

**理由:**

サーバ <servername> が、比較操作を実行するために利用できません。

**アクション:**

サービス <servicename> の一部としてサーバ <servername> を作成し、サービスデータを再検出します。

CCA-DF-9213

ソースおよびターゲット両方のデータについて、サーバのスナップショットが見つかりません。サービス <servicename1> 内のサーバ <servername1> とサービス <servicename2> 内のサーバ <servername2> との比較操作は実行されません。

理由:

サーバ <servername1> および <servername2> のコンポーネントが、対応する選択されたソースおよびターゲットデータの一部として利用できません。

アクション:

サーバ <servername1> および <servername2> のコンポーネントが、対応する選択されたソースおよびターゲットデータの一部として利用できることを確認します。

CCA-DF-9214

サーバの変更検出に同一のスナップショットが使用されています。

理由:

変更検出操作のために選択されたスナップショットが同じです。

アクション:

変更検出操作用に別のスナップショットタイプを選択します。

CCA-DF-9218

サービスの変更検出に同一のスナップショットが使用されています。

理由:

変更検出操作のために選択されたスナップショットが同じです。

アクション:

変更検出操作用に別のスナップショットタイプを選択します。

CCA-DF-9177

ソース スナップショットが選択されていません。

**理由:**

ソース スナップショットが指定されていません。

**アクション:**

有効なソース スナップショットを指定します。

[CCA-DF-9178](#)

ターゲット スナップショットが選択されていません。

**理由:**

ターゲット スナップショットが指定されていません。

**アクション:**

有効なターゲット スナップショットを指定します。

[CCA-DF-9204](#)

設定ファイル <file> にハッシュ値が見つかりません。変更検出および比較の操作を実行できません。

**理由:**

検出されたデータが矛盾しています。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## Catalyst ジョブ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で Catalyst ジョブを実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

CCA-CJ-9904

名前が必要です。

理由:

名前の値は必要ありません。

アクション:

名前を指定します。

CCA-CJ-9908

Catalyst ジョブ <job name> はすでに存在します。

理由:

<job name> がすでに存在します。

アクション:

別の <job name> を指定します。

CCA-CJ-9910

1 つ以上のサービスまたはサーバグループ、またはサーバを選択してください。

理由:

Catalyst ジョブの保存時に、サービス、サーバ、またはサーバグループが選択されていません。

アクション:

1 つ以上のサーバ、サービス、サーバグループを選択します。

CCA-CJ-9913

名前が長すぎます。

理由:

名前の長さが 200 文字を超えてます。

アクション:

名前の長さが 200 文字を超えないようにします。

CCA-CJ-9915

Catalyst Web View を開けませんでした。[環境管理]-[構成]-[プロパティ]を選択して、<catalyst.server.name> および <catalyst.server.httpport> プロパティを設定してください。

理由:

Catalyst サーバ名とサーバ ポートのいずれか、あるいは両方が指定されていません。

アクション:

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] を選択して、<catalyst.server.name> および <catalyst.server.httpport> プロパティを設定してください。

CCA-CJ-9931

Catalyst ユーザ名が必要です。

理由:

Catalyst ユーザ名は、コネクタステータスのテスト中は指定されません。

アクション:

有効な Catalyst ユーザ名を指定します。

CCA-CJ-9932

パスワードが必要です。

理由:

Catalyst パスワードは、コネクタステータスのテスト中は指定されません。

**アクション:**

Catalyst パスワードを提供します。

[CCA-CJ-9934](#)

ノード<ノード名>にアクセスできない可能性があります

**理由:**

アプリケーションがコネクタステータスのテストのために Catalyst コンテナサーバに接続できませんでした。

**アクション:**

サーバの ping を使って、Catalyst サーバコンテナの接続状態を確認します。さらにサポートが必要な場合は、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

[CCA-CJ-9935](#)

ノード<ノード名>で操作が失敗しました: <理由>

**理由:**

操作が失敗した理由は <理由> の箇所に示されます。

**アクション:**

レポートされた理由に従って対処してください。認証されていないことが理由である場合は、コネクタステータスのテスト中の際に有効な認証情報を提供するようにしてください。

## CCA-CJ-9936

CCA サーバに接続しているコネクタがありません

理由:

CCA サーバ用にコネクタがインストールされていません。コネクタがインストールされているかどうかを確認するには、[管理者] の [診断] タブ以下の [CCA 統合] タブを表示してください。

アクション:

CCA サーバに CCA コネクタをインストールします。さらにサポートが必要な場合は、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## Catalyst プロファイル エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で Catalyst プロファイル操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-PL-3915

スケジュールが失敗したため、Catalyst ジョブ <job name> を作成できません。  
エラー メッセージ - <error>

理由:

Catalyst ジョブの作成時にスケジューリング エラーが発生しました。

アクション:

エラー メッセージが「指定された時間がすでに経過しています。スケジュールはトリガされません。」と同様の場合は、スケジュールを修正して、Catalyst ジョブ <job name> の作成を終了します。その他のエラーについては、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3744

エンジンタイプが CloudService の場合は、ターゲットホスト名または IP アドレスが必要です。

理由:

エンジンタイプが CloudService の場合は、ターゲットホスト名または IP アドレスを指定します。

Action:

スキャンポリシーが [Softagent を使用したクラウドサービススキャン] または [Softagent を使用しないクラウドサービススキャン] のいずれかである場合は、[含める] タブにターゲットホスト名または IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3745

エンジンタイプが CloudService の場合は、ターゲット IP アドレスが必要です。

理由:

エンジンタイプが CloudService の場合は、ターゲット IP アドレスを指定します。

Action:

スキャンポリシーが [Softagent を使用したクラウドサービススキャン] または [Softagent を使用しないクラウドサービススキャン] のいずれかである場合は、[含める] タブに IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3859

AWS EC2 エンドポイントが必要です。

理由:

認証情報をテストするための AWS EC2 エンドポイントが提供されていません。

Action:

AWS EC2 エンドポイント (サーバ名、または IP アドレス) を指定します。

CCA-PL-3860

アクセス キー ID が必要です。

理由:

アクセス キー ID が指定されていません。

Action:

アクセス キー ID を指定します。

CCA-PL-3861

シークレット アクセス キーが必要です。

理由:

シークレット アクセス キーが指定されていません。

Action:

シークレット アクセス キーを指定します。

CCA-PL-3862

シークレット アクセス キーが同一のアクセス キー ID がすでに存在します(以下の強調表示された行を参照してください)。

理由:

シークレット アクセス キーが同一のアクセス キー ID が存在します。

Action:

アクセス キー ID とシークレット アクセス キーの一意の組み合わせを指定します。

CCA-PL-3904

Catalyst 属性プロファイル <profile name> はすでに存在します。

理由:

プロファイル <profile name> がすでに存在します。

アクション:

新しい名前を指定します。

## 一般的なスケジュール エラー メッセージ

---

### CCA-PL-3918

スケジュールが失敗したため、Catalyst ジョブ <job name> を更新できません。  
エラー メッセージ - <エラー>。

#### 理由:

Catalyst ジョブの更新時にスケジューリング エラーが発生しました。

#### アクション:

エラー メッセージが「指定された時間がすでに経過しています。スケジュールはトリガされません。」と同様の場合は、スケジュールを修正して、Catalyst ジョブ <job name> の更新を終了します。その他のエラーについては、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## 一般的なスケジュール エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で一般的なスケジュール操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-SH-9001

スケジュール時刻は現在の時刻よりも後である必要があります。

#### 理由:

スケジュール時刻が CCA サーバの時刻よりも前です。

#### アクション:

スケジュール時刻を CCA サーバの時刻よりも後にする必要があります。

### CCA-SH-9002

スケジュールの [終了日] は [開始日] 以降である必要があります。

#### 理由:

スケジュールの [終了日] が [開始日] よりも前です。

#### アクション:

スケジュールの [終了日] は [開始日] 以降にする必要があります。

CCA-SH-9003

指定された時間が DD/MM/YYYY HH:mm:ssAM 形式ではありません。

理由:

時間が DD/MM/YYYY HH:mm:ssAM 形式ではありません。

アクション:

DD/MM/YYYY HH:mm:ssAM 形式で時間を指定します。

CCA-SH-9004

指定された開始日が DD/MM/YYYY 形式ではありません。

理由:

開始日が DD/MM/YYYY 形式ではありません。

アクション:

DD/MM/YYYY 形式で開始日を指定します。

CCA-SH-9005

指定された終了日が DD/MM/YYYY 形式ではありません。

理由:

終了日が DD/MM/YYYY 形式ではありません。

アクション:

DD/MM/YYYY 形式で終了日を指定します。

CCA-SH-9006

日数が必要です。

理由:

頻度を選択した後に日数が選択されていません。

アクション:

指定した頻度の日数を選択します。

## 一般的なスケジュール エラー メッセージ

---

### CCA-SH-9007

頻度が必要です。タスクはスケジュールされません。

理由:

頻度が選択されていません。

アクション:

後で [タスク] タブでタスクをスケジュールする際に頻度を選択します。

### CCA-SH-9009

ジョブ名が指定されていません。

理由:

ジョブ名が空です。

アクション:

ジョブ名を指定します。

### CCA-SH-9010

設定されたスケジュールに基づき、指定されたトリガは始動されません。

理由:

頻度に設定されたスケジュール日数に基づき、指定されたトリガが起動されません。

アクション:

指定された頻度の正しい日数を指定します。選択する日数は、開始日の翌日から終了日までの日数以下にする必要があります。

CCA-SH-9011

トリガの日数が指定されていません。

理由:

日数が選択されていません。

アクション:

トリガの日数を指定します。

CCA-SH-9012

トリガの日付が指定されていません。

理由:

日付が選択されていません。

アクション:

トリガの日付を指定します。

CCA-SH-9013

無効な終了日です。スケジュールはトリガされません。

理由:

終了日が有効ではありません。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-SH-9016

指定された時間がすでに経過しています。スケジュールはトリガされません。

理由:

スケジュール時刻が現在の時刻よりも前です。

アクション:

スケジュール時刻は、現在の時刻よりも後にする必要があります。

## ディスカバリおよびリフレッシュ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でディスカバリおよびリフレッシュ操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-DIS-8633

SSH ユーザ名が無効です。

理由:

SSH ユーザ名が有効ではありません。

アクション:

有効な SSH ユーザ名を指定します。

### CCA-DIS-8510

ブループリント <blueprintname> が見つかりません。

理由:

URL 内のブループリント名 <blueprintname> が CA Configuration Automation サーバに存在しません。

アクション:

URL に有効なブループリント名を指定します。

### CCA-DIS-8511

リフレッシュ対象のコンポーネント <componentname> が見つかりません。

理由:

URL 内のコンポーネント <componentname> が指定されたサーバに存在しません。

アクション:

URL に有効なコンポーネント名を指定します。

## CCA-DIS-8515

サーバ <servername> 上の <accessmode> とディスカバリが通信できません。  
ディスカバリは終了しました。エラー メッセージ = <error>

### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバに割り当てられるアクセスプロファイルに無効な詳細（アクセス モード、ポートなど）が指定されている
- サービス（エージェント/SSH/Telnet/WMI）が応答していないか、または実行中でない。

### アクション:

以下を実行します。

- 割り当てられたアクセス モードに対応するサービス（エージェント /SSH/Telnet）がターゲット サーバ <servername> 上で実行されていることを確認します。
- サーバ <servername> に割り当てられるアクセスプロファイルに正しい詳細を指定します。
- テスト サーバ操作が成功することを確認します。

### CCA-DIS-8518

サーバ <servername> でディスカバリが失敗しました。エラー メッセージ = <error>。

#### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバに無効なプラットフォームが設定されている。
- ディスカバリ操作を実行中に、サーバ <servername> との通信が切断された。
- サービス (エージェント/SSH/Telnet/WMI) が応答していない。

#### アクション:

以下を実行します。

- 有効なプラットフォームを指定し、テスト サーバ操作が成功することを確認します。
- アクセスマード タイプがエージェントの場合は、最新の CA Configuration Automation エージェント バージョンを使用します。
- cca.log ファイル内のログ データを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

### CCA-DIS-8523

サーバ <servername> でリフレッシュが失敗しました。エラー メッセージ - <error>。

#### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- リフレッシュ操作を実行中に、サーバ <servername> との通信が切断された。
- サービス (エージェント/SSH/Telnet/WMI) が応答していない。

#### アクション:

以下を実行します。

- テスト サーバ操作が成功することを確認します。
- cca.log ファイル内のログ データを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-DIS-8547

サーバ <servername> でコンポーネント ディスカバリが失敗しました。コンポーネント ルート <rootpath> およびブループリント名 <blueprintname>。エラー メッセージ = <error>。

### 理由:

ディスカバリ操作を実行中に、サーバ <servername> との通信が切断された。

### アクション:

以下のいずれかを実行します。

- 割り当てられたアクセス モードに対応するサービス（エージェント /SSH/Telnet/WMI）がターゲット サーバ <servername> 上で実行されていることを確認します。
- テスト サーバ操作が成功することを確認します。

## CCA-DIS-8548

サーバ <servername> でコンポーネント リフレッシュが失敗しました。コンポーネント ルート <rootpath> およびブループリント名 <blueprintname>。エラー メッセージ = <error>。

### 理由:

リフレッシュ操作を実行中に、サーバ <servername> との通信が切断された。

### アクション:

割り当てられたアクセス モードに対応するサービス（エージェント /SSH/Telnet/WMI）がターゲット サーバ <servername> 上で実行されていることを確認します。テスト サーバ操作が成功することを確認します。

### CCA-DIS-8563

サーバ <servername> でのコンポーネント ディスカバリ中に 'Parser' 例外が発生しました。コンポーネント ルート: <rootpath>、ファイル名: <file>、エラー メッセージ: <error>、パーサ: <parsername>、レクサ: <lexername>、ブループリント名: <blueprintname>。パーサに渡されたストリーム コンテンツについては、<hostname> の CCA ログ ファイルを参照してください。

#### 理由:

指定されたパーサ クラスを使用してファイル <file> を解析中に例外が発生しました。

#### アクション:

<hostname> の CA Configuration ログ ファイルで、パーサに渡されたストリーム コンテンツを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

### CCA-DIS-8564

サーバ <servername> でのコンポーネント リフレッシュ中に 'Parser' 例外が発生しました。コンポーネント ルート <rootpath> およびファイル名 <file>。エラー メッセージ = <error>。

#### 理由:

指定されたパーサ クラスを使用してファイル <file> を解析中に例外が発生しました。

#### アクション:

<hostname> の CA Configuration Automation ログ ファイルで、パーサに渡されたストリーム コンテンツを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DIS-8569

<minutes> 分の時間制限に到達したため、サーバ <servername> でのディスクバリはキャンセルされました。

**理由:**

ディスクバリ操作が、サーバ <servername> に割り当てられた管理プロファイルに設定されている時間制限を超過しました。

**アクション:**

サーバ <servername> に割り当てられた管理プロファイル内の [ディスクバリ時間制限] 値を増やします。

CCA-DIS-8583

サービス <servicename> でリフレッシュが失敗しました。エラー メッセージ - <error>。

**理由:**

サービス <servicename> に割り当てられる管理プロファイルが無効です。

**アクション:**

サービス <servicename> に割り当てられる管理プロファイルが有効であることを確認します。必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

CCA-DIS-8584

サービス <servicename> でディスクバリが失敗しました。エラー メッセージ - <error>。

**理由:**

サービス <servicename> に割り当てられる管理プロファイルが無効です。

**アクション:**

サービス <servicename> に割り当てられる管理プロファイルが有効であることを確認します。必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

### CCA-DIS-8588

サーバ <servername> でのサーバ テストが失敗しました。アクセス プロファイルはサーバに割り当てられませんでした

#### 理由:

アクセス プロファイルがサーバ <servername> に割り当てられていません。

#### アクション:

適切なアクセス モードのアクセス プロファイルをサーバ <servername> に割り当てます。

### CCA-DIS-8589

サーバ <servername> でのサーバ テストが失敗しました。エージェント接続を確立できません

#### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- CA Configuration Automation エージェント サービスが実行されていないか、または古い CA Configuration Automation エージェントを使用している。
- 無効なポートがアクセス プロファイルに割り当てられている。

#### アクション:

以下を実行します。

- CA Configuration Automation エージェント サービスがサーバ <servername> 上で実行されており、割り当てられたアクセス プロファイルで有効なポートが設定されていることを確認します。
- 最新の CA Configuration Automation エージェント バージョンを使用します。

## CCA-DIS-8590

サーバ <servername> でのサーバ テストが失敗しました。SSH ユーザ名および  
パスワードが正しくないか、SSH 接続を確立できません

### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバ <servername> に割り当てられるアクセス プロファイルに無効  
な SSH ユーザ名とパスワードが指定されている。
- SSH サービスがサーバ <servername> 上で実行されていない

### アクション:

割り当てられたアクセス プロファイルに正しい SSH ユーザ名およびパス  
ワードを指定し、SSH サービスがサーバ <servername> 上で実行されている  
ことを確認します。

## CCA-DIS-8591

サーバ <servername> 上の <accessmode> と通信できません。ディスカバリは  
終了しました。

### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバに割り当てられるアクセス プロファイルに無効な詳細 (アクセス  
モード、ポートなど) が指定されている
- サービス (エージェント/SSH/Telnet) が応答していないか、または実  
行中でない。

### アクション:

以下を実行します。

- 割り当てられたアクセス モードに対応するサービス (エージェント  
/SSH/Telnet/WMI) がターゲット サーバ <servername> 上で実行されて  
いることを確認します。
- サーバ <servername> に割り当てられるアクセス プロファイルに有効  
な詳細を指定します。
- テスト サーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

CCA-DIS-8592

サーバ <servername> 上の <accessmode> と通信できません。リフレッシュは終了しました。エラー メッセージ = <error>。

**理由:**

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバに割り当てられるアクセスプロファイルに無効な詳細（アクセス モード、ポートなど）が指定されている
- サービス（エージェント/SSH/Telnet）が応答していないか、または実行中でない。

**アクション:**

以下を実行します。

- 割り当てられたアクセス モードに対応するサービス（エージェント /SSH/Telnet）がターゲット サーバ <servername> 上で実行されていることを確認します。
- サーバ <servername> に割り当てられるアクセスプロファイルに有効な詳細を指定します。
- テスト サーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

## CCA-DIS-8593

サーバ <servername> 上の <accessmode> と通信できません。リフレッシュは終了しました。

### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバに割り当てられるアクセスプロファイルに無効な詳細（アクセスモード、ポートなど）が指定されている
- サービス（エージェント/SSH/Telnet）が応答していないか、または実行中でない。

### アクション:

以下を実行します。

- 割り当てられたアクセスモードに対応するサービス（エージェント/SSH/Telnet/WMI）がターゲットサーバ <servername> 上で実行されていることを確認します。
- サーバ <servername> に割り当てられるアクセスプロファイルに有効な詳細を指定します。
- テストサーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

## CCA-DIS-8594

サーバ <servername> にアクセス プロファイルが割り当てられていませんリフレッシュは終了しました。

### 理由:

アクセス プロファイルがサーバ <servername> に割り当てられていません。

### アクション:

適切なアクセスモードのアクセスプロファイルをサーバ <servername> に割り当てます。

CCA-DIS-8595

サーバ <servername> にアクセス プロファイルが割り当てられていません ディスカバリは終了しました。

**理由:**

アクセス プロファイルがサーバ <servername> に割り当てられていません。

**アクション:**

適切なアクセス モードのアクセス プロファイルをサーバ <servername> に割り当てます。

CCA-DIS-8596

サービス <servicename> でディスカバリが失敗しました

**理由:**

サービスにサーバが存在しないか、または対応する割り当てられたアクセス プロファイルを使用してサービス <servicename> 内のサーバと通信できません。そのため、すべてのサーバのディスカバリが失敗しました。

**アクション:**

以下を実行します。

- サービス内にサーバが存在することを確認し、サービス <servicename> 内のすべてのサーバに、適切なアクセス モードとその他の必要な詳細が設定されたアクセス プロファイルを割り当てます。
- サービス内のすべてのサーバに対するテスト サーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

CCA-DIS-8597

サービス <servicename> でリフレッシュが失敗しました

理由:

サービス <servicename> にサーバが存在しないか、または対応する割り当てられたアクセス プロファイルを使用してサービス <servicename> 内のサーバと通信できません。そのため、すべてのサーバのリフレッシュが失敗しました。

アクション:

以下を実行します。

- サーバがサービス <servicename> に存在することを確認します。
- サービス <servicename> 内のすべてのサーバに、適切なアクセス モードとその他の必要な詳細が設定されたアクセス プロファイルを割り当てます
- サービス内のすべてのサーバに対するテスト サーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

CCA-DIS-8609

サーバプロパティブループリントが見つかりません。

理由:

サーバプロパティ ブループリントが削除されました。

アクション:

以下の場所からサーバプロパティブループリントを取得し、CA Configuration Automation サーバにインポートします。

[http://techweb.ca.com/r11ImpCD/CCA\\_Updates/CCA\\_Frame.htm](http://techweb.ca.com/r11ImpCD/CCA_Updates/CCA_Frame.htm)

CCA-DIS-8616

コンポーネントの検証ディレクティブが失敗しました

理由:

ブループリントで定義されている検証が失敗しました。

アクション:

ブループリントで定義されている検証ルールを修正します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-DIS-8622

UnknownHostException

理由:

SSH または WMI を使用したディスカバリ操作中にターゲット サーバが応答していません。

アクション:

ターゲット サーバが起動および動作していることを確認します。また、サービス (SSH または WMI) がターゲット サーバ上で実行されていることを確認します。

CCA-DIS-8627

ブループリント <blueprintname> のターゲット サーバ <servername> 上でディレクティブ <directivename> のリモート実行中にタイムアウト エラーが発生しました。タイムアウト値をカスタマイズするには、ブループリントで現在のタイムアウト設定の <timeout> 秒を増やして、ディスカバリ/リフレッシュを再実行します。

理由:

ブループリント <blueprintname> のターゲット サーバ <servername> 上でディレクティブ <directivename> のリモート実行中にタイムアウト エラーが発生しました。

アクション:

ブループリントのディレクティブ <directivename> に対する現在のタイムアウト設定の <timeout> 秒を増やして、ディスカバリまたはリフレッシュを再実行します。

## CCA-DIS-8629

ターゲット サーバ <servername> 上でコマンドのリモート実行中にタイムアウト エラーが発生しました。現在のタイムアウト設定は <timeout> です。コマンドの 内容については、CCA ログを参照してください。

### 理由:

ターゲット サーバ <servername> 上でコマンドのリモート実行中にタイム アウト エラーが発生しました。現在のタイムアウト設定は <timeout> です。

### アクション:

ブループリントの現在のタイムアウト設定の <timeout> 秒を増やして、 ディスカバリまたはリフレッシュを再実行します。

## CCA-DIS-8630

操作がタイムアウトしました。

### 理由:

サーバのディスカバリまたはリフレッシュ操作中にタイムアウト エラー がスローされました。このエラーは通常、SSH、Telnet、WMI アクセス モードの操作でスローされます。

### アクション:

アクセス プロファイルに基づき、管理設定内の以下のプロパティのタイ ムアウトを増やします。これらのプロパティはセッション時間を増やす ために使用されます。

- ssh.rexec.timeout.sec
- wmi.script.exec.timeout.sec
- directive.netprobe.timeout.msec
- directive.rexec.timeout.sec

ディスカバリおよびリフレッシュ操作のアクセス モードに共通なものを 以下に示します。このプロパティは、リモート コマンドの実行を指定さ れた時間待機するために使用されます。

- directive.rexec.timeout.sec

必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせくだ さい。

CCA-DIS-8632

ディスカバリの停止を実行中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用してディスカバリの停止操作を実行中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## データ移行エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でデータ移行操作を実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

CCA-DM-7501

アーカイブ ファイルを選択してください。

理由:

アーカイブ ファイルを使用して CA Configuration Automation データベースに Cohesion データをインポートする際にアーカイブ ファイルが指定されていません。

アクション:

CA Configuration Automation からエクスポートするアーカイブ ファイルを指定します。

CCA-DM-7502

サーバ名が必要です。

理由:

Cohesion データをアーカイブ ファイルにエクスポートするか、または Cohesion データを CA Configuration Automation データベースにインポートする際に、[Cohesion データベース詳細] タブにデータベース サーバ名が指定されていません。

アクション:

Cohesion データベース サーバ名を指定します。

CCA-DM-7503

データベース名が必要です。

理由:

Cohesion データをアーカイブ ファイルにエクスポートするか、または Cohesion データを CA Configuration Automation データベースにインポートする際に、[Cohesion データベース詳細] タブにデータベース名が指定されていません。

アクション:

Cohesion データベース名を指定します。

CCA-DM-7504

データベース ユーザ名が必要です。

理由:

Cohesion データをアーカイブ ファイルまたは CA Configuration データベースにエクスポートする際に、[Cohesion データベース詳細] タブにデータベース ユーザ名が指定されていません。

アクション:

Cohesion データベース ユーザ名を指定します。

CCA-DM-7505

データベース パスワードが必要です。

理由:

Cohesion データをアーカイブ ファイルにエクスポートするか、または Cohesion データを CA Configuration Automation データベースにインポートする際に、[Cohesion データベース詳細] タブにデータベース パスワードが指定されていません。

アクション:

Cohesion データベース パスワードを指定します。

CCA-DM-7507

データベースへの接続が終了しました。データベースの詳細を確認し、再実行してください。

理由:

CA Cohesion データをアーカイブ ファイルにエクスポートするか、または CA Cohesion データを CA Configuration Automation データベースにインポートする際に、データベースに接続できませんでした。考えられる理由は以下のとおりです。

- [Cohesion データベース詳細] タブに指定されているデータベースの詳細が正しくない。
- データベース サーバ サービスがダウンしている。
- データベース サーバにサーバ名でアクセスできない。

アクション:

指定されているデータベースの詳細を確認します。データベース サーバ サービスが稼働中であることを確認し、IP アドレスを指定してデータベース サーバに接続します。

CCA-DM-7508

ファイル名が必要です。

理由:

Cohesion データをアーカイブ ファイルにエクスポートする際にファイル名が指定されていません。

アクション:

アーカイブ ファイルを作成するためのファイル名を指定します。

CCA-DM-7509

ファイル パスが必要です。

理由:

Cohesion データをアーカイブ ファイルにエクスポートする際にファイルパスが指定されていません。

アクション:

Cohesion からデータをエクスポートした後にアーカイブ ファイルがコピーされる場所のファイルパスを指定します。

CCA-DM-7512

ポート番号が必要です。

理由:

Cohesion データをアーカイブ ファイルにエクスポートするか、または Cohesion データを CA Configuration Automation データベースにインポートする際に、[Cohesion データベース詳細] タブにデータベース サーバ ポートが指定されていません。

アクション:

Cohesion データベース サーバ ポートを指定します。

CCA-DM-7513

KeyStore ファイルを選択してください。

理由:

CA Configuration Automation に Cohesion セキュリティ証明書をインポートする際にキーストア ファイルが選択されていません。

アクション:

Cohesion サーバからキーストア ファイルを選択します。 このファイルは以下の場所にあります。

COHESION-INSTALLATION-HOME¥server¥lib

CCA-DM-7514

TrustStore ファイルを選択してください。

理由:

CA Configuration Automation に Cohesion セキュリティ証明書をインポートする際に信頼ストア ファイルが選択されていません。

アクション:

Cohesion サーバから信頼ストア ファイルを選択します。 このファイルは以下の場所にあります。

COHESION-INSTALLATION-HOME¥server¥lib

[CCA-DM-7519](#)

証明書のインポートが失敗しました。

**理由:**

考えられる理由は以下のとおりです。

- CA Configuration Automation に認証局が作成されていない。
- 証明書のインポート時に無効な CA Cohesion データまたは CA Configuration Automation データが指定された。

**アクション:**

認証局が CA Configuration Automation に作成されていることを確認し、証明書のインポート時に有効な Cohesion データおよび CA Configuration Automation データを指定します。必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

[CCA-DM-7521](#)

Cohesion サーバ証明書パスワードが必要です。

**理由:**

CCA に Cohesion セキュリティ証明書をインポートする際に Cohesion サーバ証明書パスワードが指定されていません。

**アクション:**

Cohesion サーバ証明書パスワードを指定します。

[CCA-DM-7522](#)

CCA サーバ証明書パスワードが必要です。

**理由:**

CA Configuration Automation に Cohesion セキュリティ証明書をインポートする際に CA Configuration Automation サーバ証明書パスワードが指定されていません。

**アクション:**

CA Configuration Automation サーバ証明書パスワードを指定します。

CCA-DM-7523

Cohesion サーバ名が必要です。

理由:

CA Configuration Automation に Cohesion セキュリティ証明書をインポートする際に Cohesion サーバ名が指定されていません。

アクション:

Cohesion サーバ名を指定します。

CCA-DM-7556

<objectname> はインポートされません。<errormessage>

理由:

オブジェクト <objectname> がすでに存在します。

アクション:

オブジェクトが存在する場合、アクションは必要ありません。  
<errormessage> を確認し、必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

CCA-DM-7607

データベース サーバを解決できません

理由:

[Cohesion データベース詳細] タブに指定されているデータベース サーバを解決できません。

アクション:

有効なデータベース サーバ名を指定します。 サーバが稼働中であることを確認し、IP アドレスを指定してデータベース サーバに接続します。

## CCA-DM-7608

データベースドライバが見つかりません。

理由:

Cohesion Sybase データベースに接続する際にデータベース ドライバが見つかりませんでした。

アクション:

Sybase データベースまたは Web からドライバを取得し、以下のディレクトリにコピーします。

<CCAIinstalledDirectory>¥tomcat¥webapps¥ROOT¥WEB-INF¥lib

## CCA-DM-7609

指定されたデータベースに接続できませんでした。

理由:

Cohesion データをアーカイブ ファイルにエクスポートするか、または Cohesion データを CA Configuration Automation データベースにインポートする際に、サーバ名を使用してデータベース サーバにアクセスできません。

考えられる理由は以下のとおりです。

- [Cohesion データベース詳細] タブに指定されているデータベースの詳細が正しくない。
- データベース サーバ サービスがダウンしている。

アクション:

データベースの詳細を確認し、データベース サーバ サービスが稼働中であることを確認し、IP アドレスを指定してデータベース サーバに接続します。

CCA-DM-7631

データベース サーバへの接続は成功しましたが、データベースにアクセスする権限がユーザに与えられていないか、データベースが有効な Cohesion データベースではありません。

理由:

Cohesion データベースの詳細が有効ではありません。

アクション:

有効なユーザおよび Cohesion データベースの詳細を指定します。

CCA-DM-7632

データベースは正常に接続されました但、バージョン <version> の Cohesion データベースからのデータ移行はサポートされていません。

理由:

Cohesion バージョン <version> のデータ移行はサポートされていません。

アクション:

データ移行対象の Cohesion のバージョンが r5.0 または r5.0 sp1 であることを確認します。

CCA-DM-7638

指定されたファイル パスが存在しません。存在するファイル パスを指定してください。

理由:

[アーカイブ ファイル詳細] セクションに指定されているファイルパスが存在しません。

アクション:

既存のファイルパスを指定します。

## CCA-DM-7639

指定されたパス [<path>] は有効なディレクトリパスではありません。

理由:

[アーカイブファイル詳細] セクションに指定されているファイルパスは有効なディレクトリパスではありません。

アクション:

有効なディレクトリパスを指定します。

## CCA-DM-7567

JAR ファイルの検証が失敗しました。

理由:

アーカイブファイルを使用して CA Configuration Automation データベースに Cohesion データをインポートする際に、無効な JAR ファイルが指定されました。

アクション:

CA Configuration Automation アプリケーションから作成された有効な JAR ファイルを指定します。

## CCA-DM-7598

セキュリティ証明書のインポートが失敗しました。<errormessage>

理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- CA Configuration Automation に認証局が作成されていない。
- 証明書のインポート時に無効な CA Cohesion データまたは CA Configuration Automation データが指定された。

アクション:

認証局が CA Configuration Automation に作成されていることを確認し、証明書のインポート時に有効な CA Cohesion データおよび CA Configuration Automation データを指定します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## ダッシュボード エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でダッシュボード操作を実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

### CCA-DB-9704

ダッシュボード <Dashboard Name> の所有者でないため、更新することはできません。

**理由:**

ほかのユーザが作成したダッシュボードに対する変更を保存することはできません。

**アクション:**

ダッシュボードに対する変更を実行するには、ダッシュボードの所有者としてログインします。

### CCA-DB-9705

ダッシュボード <Dashboard Name> の所有者でないため、削除することはできません。

**理由:**

ほかのユーザが作成したダッシュボードを削除することはできません。

**アクション:**

削除操作を実行するには、ダッシュボードの所有者としてログインします。

### CCA-DB-9712

ダッシュボード <Dashboard Name> はすでに存在します。

**理由:**

同じ名前のダッシュボードが存在しています。

**アクション:**

一意の名前のダッシュボードを作成します。

CCA-DB-9713

このダッシュボードの所有者でないため、更新することはできません。

**理由:**

ほかのユーザが作成した既存のダッシュボードを上書きしようとしています。

**アクション:**

既存のダッシュボードを更新するには、ダッシュボードの所有者としてログインします。

CCA-DB-9714

この操作を実行するために 1 つ以上のダッシュボードを選択してください。

**理由:**

[選択内容をインポート] オプションを使用してダッシュボードをインポートする際に、ダッシュボードが選択されていません。

**アクション:**

インポートを成功させるには、利用可能なダッシュボードから 1 つ以上のダッシュボードを選択します。

CCA-DB-9715

1 つ以上の仮想化フィルタを選択してください。

**理由:**

仮想化フィルタが選択されていません。仮想化フィルタは通常、ほとんどのダッシュボード グラフで利用できます。

**アクション:**

1 つ以上の仮想化フィルタを選択します。

CCA-DB-9716

1つ以上の重大度フィルタを選択してください。

理由:

[経時管理プロファイルルール違反] および [経時コンプライアンスプロファイルルール違反] ダッシュボードグラフで、以下のいずれの重大度フィルタも選択されていません。

- 情報
- 警告
- エラー
- クリティカル

アクション:

ダッシュボード グラフで1つ以上の重大度フィルタを選択します。

CCA-DB-9718

ダッシュボード <Dashboard Name> をインポートできません。同じ名前のダッシュボードがほかのユーザによってすでに作成されていますが、共有されていません。

理由:

ほかのユーザが作成した既存の共有されていないダッシュボードをインポートしようとしています。

アクション:

ダッシュボードの所有者としてログインします。

#### CCA-DB-9719

ダッシュボード <Dashboard Name> を保存できません。同じ名前のダッシュボードがほかのユーザによってすでに作成されていますが、共有されていません。

**理由:**

ほかのユーザが作成した既存の共有されていないダッシュボードを作成しようとしています。

**アクション:**

別の名前のダッシュボードを作成します。

## エクスポートおよびインポート エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でエクスポートおよびインポート操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

#### CCA-EX-5804

エクスポートを実行できません。ユーザにこの操作を実行する権限がありません。

**理由:**

選択したオブジェクトをエクスポートする権限がありません。

**アクション:**

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、プロファイルをエクスポートします。

### CCA-IM-5901

インポートする JAR ファイルを選択してください。

理由:

インポート操作用の JAR ファイルが選択されていません。

アクション:

インポート操作用の JAR ファイルを選択します。

### CCA-IM-5907

インポート中にエラーが発生しました。有効な JAR ファイルではありません。

理由:

JAR ファイルが有効でないか、値が空であるか、またはオブジェクト タイプ一致していません。

アクション:

有効な JAR ファイルを指定します。

### CCA-IM-5917

インポートを実行できません。ユーザにこの操作を実行する権限がありません。

理由:

インポート操作を実行する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、インポート操作を実行します。

## CCA-IM-5923

<objectType> はインポートされませんでした。理由: <incorrecttype>。

理由:

SDK およびコマンドラインユーティリティを使用してオブジェクトをインポートする際に、JAR ファイルタイプとオブジェクトタイプが一致していません。

アクション:

有効な JAR ファイルタイプを指定します。たとえば、ブループリントをインポートするには、accessprofile.jar ではなくエクスポートされた blueprint.jar を指定します。

## CCA-IM-5925

インポートする CSV ファイルを選択してください。

理由:

サービスのインポート中に CSV ファイルが選択されていません。

アクション:

有効なサービス定義がある CSV ファイルを選択します。

## グラフ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でグラフ操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

## CCA-GR-9804

グラフ <graphname> の所有者でないため、更新することはできません。

理由:

グラフの所有者のみグラフを更新できます。

アクション:

グラフの所有者としてログインして、グラフを更新します。

## グラフ エラー メッセージ

---

### CCA-GR-9805

グラフ <graphname> の所有者でないため、削除することはできません。

**理由:**

グラフの所有者のみグラフを削除できます。 現在のユーザはグラフの所有者ではありません。

**アクション:**

グラフの所有者としてログインして、グラフを削除します。

### CCA-GR-9807

デフォルト グラフは削除できません。

**理由:**

選択したグラフはデフォルト グラフです。

**アクション:**

デフォルト グラフは削除できません。 選択したデフォルト グラフを削除する前に、別のグラフをデフォルトにします。

### CCA-GR-9812

グラフ <graphname> はすでに存在します。

**理由:**

上書きフラグを選択せずに、既存のグラフをインポートしています。

**アクション:**

すでに利用可能なグラフをインポートする際に上書きフラグを選択します。

CCA-GR-9813

このグラフの所有者でないため、更新することはできません。

理由:

グラフの所有者のみグラフを更新できます。 グラフをインポートする際に現在のユーザがグラフの所有者ではありません。

アクション:

グラフの所有者としてログインして、グラフを更新します。

CCA-GR-9818

グラフ フォルダ <graphfoldername> はすでに存在します。

理由:

この名前のグラフ フォルダはすでに利用可能です。

アクション:

一意のグラフ フォルダ名を指定します。

CCA-GR-9819

フォルダ <graphfoldername> の所有者でないため、削除することはできません。

理由:

グラフ フォルダの所有者のみグラフを削除できます。 現在のユーザはグラフ フォルダの所有者ではありません。

アクション:

グラフ フォルダの所有者の認証情報を使用してログインして、グラフ フォルダを削除します。

## [グラフ エラー メッセージ](#)

---

### CCA-GR-9820

共有されていないフォルダ内にあるグラフを共有することはできません 最初にフォルダを共有にしてください。

**理由:**

グラフ フォルダが共有されていないときにグラフを共有しようとしています。

**アクション:**

グラフ フォルダ内のグラフを共有する前にグラフ フォルダを共有します。

### CCA-GR-9821

グラフが存在するためフォルダ <graphfoldername> を削除することができません。最初にグラフを削除してください。

**理由:**

グラフ フォルダにグラフが含まれています。

**アクション:**

グラフ フォルダを削除する前にすべてのグラフを削除します。

### CCA-GR-9822

フォルダ <graphfoldername> の所有者でないため、更新することはできません。

**理由:**

グラフ フォルダの所有者のみグラフを更新できます。 現在のユーザはグラフ フォルダの所有者ではありません。

**アクション:**

グラフ フォルダの所有者としてログインして、グラフ フォルダを更新します。

CCA-GR-9825

所有していない共有グラフが含まれるため、フォルダ <graphfoldername> の共有を停止することはできません。

**理由:**

グラフ フォルダに、所有していない共有グラフが含まれています。

**アクション:**

グラフの所有者としてログインして、所有していないグラフの共有を停止します。

CCA-GR-9826

デフォルト グラフは削除できません。

**理由:**

選択したグラフはデフォルト グラフです。

**アクション:**

デフォルト グラフは削除できません。選択したデフォルト グラフを削除する前に、別のグラフをデフォルトにします。

CCA-GR-9829

グラフ <graphname/id> が見つかりません。

**理由:**

コンテキスト内起動で指定されているグラフ名が CA Configuration Automation で見つからないか、グラフ名が無効または正しくありません。

**アクション:**

正しいグラフ名または ID を指定します。

### CCA-GR-9833

グラフのエクスポート中にセキュリティ違反が発生しました。

**理由:**

グラフをエクスポートする権限がありません。

**アクション:**

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、プロパティをエクスポートします。

## 一般エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で一般的なタスクを実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

### CCA-GM-0008

名前が必要です。

**理由:**

以下のいずれかをコピーする際に名前が指定されていません。

- 管理プロファイル
- アクセスプロファイル
- ネットワークプロファイル
- 認証情報ボールト
- ネットワークスキャンポリシー
- 通知プロファイル
- Catalystプロファイル

**アクション:**

管理プロファイル、アクセスプロファイル、ネットワークプロファイル、認証情報ボールト、ネットワークスキャンポリシー、通知プロファイル、Catalystプロファイルのコピーを作成する際に、適切な名前を指定します。

CCA-AA-0000

ログインに失敗しました。認証情報を確認してください。

理由:

SDK からユーザを認証できません。

アクション:

CA Configuration Automation にログインするための有効なユーザ認証情報を指定します。

CCA-GM-0010

サーバ接続の例外が発生しました。メッセージ = <Exception Message>

理由:

CA Configuration Automation サーバとエージェント間の接続の問題により例外が発生しました。

アクション:

エージェントを再起動し、サーバのテストを実行してエージェント通信を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-GM-0011

exceptionClassMsg=CCA-GM-0011: ホスト <Server Name> 上でコマンドの実行に失敗しました。例外クラスは <Exception Class>、メッセージは "<Error Message>" です。コマンドの内容については、CCA ログを参照してください。

**理由:**

SSH、Telnet、および WMI アクセス モードの操作時のサーバのディスカバリまたはリフレッシュ操作中にタイムアウト エラーがスローされました。

**アクション:**

SSH ベースのディスカバリまたはリフレッシュ操作の場合は、以下の手順に従います。

- 以下の設定のタイムアウトを増やします。

`ssh.rexec.timeout.sec property`

- SSH アクセス プロファイルでファイル転送を SCP に設定します。

WMI ベースのディスカバリまたはリフレッシュ操作の場合は、以下の手順に従います。

- 以下の設定のタイムアウトを増やします。

`wmi.script.exec.timeout.sec property`

必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-GM-0014

データベース接続の再試行が失敗しました。SQL の例外: <Exception message>

**理由:**

データベース サービスが実行されていないか、またはシャットダウンしている可能性があります。

**アクション:**

データベースが稼働中かどうかを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-GM-0015

無効なデータベース パスワードです。

理由:

データベース パスワードが **NULL** です。

アクション:

`cca.properties` ファイルに正しいパスワードを指定します。

CCA-GM-0020

不明なデータベース タイプ:

理由:

ドライバ情報が指定されていないため、SQL 例外が発生しました。

アクション:

`cca.properties` ファイルのデータベース ドライバ情報が正しく、有効かどうかを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-GM-0021

データベース コンテキストが見つかりません

理由:

データベース コンテキスト情報がそれぞれのリレーショナルデータベース ブループリントで指定されていないため、SQL 例外が発生しました。

アクション:

ディスカバリに使用されているそれぞれのリレーショナルデータベース ブループリントの [ユーザ入力] セクションを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-AA-9201](#)

ユーザ認証が失敗しました。

理由:

ユーザを認証できません。

アクション:

CA Configuration Automation にログインするための有効なユーザ認証情報  
を指定します。

[CCA-AA-9204](#)

パスワードを変更する必要があります

理由:

パスワードの期限が切れました。

アクション:

パスワードを変更します。

[CCA-AA-9206](#)

SDK ログイン キャッシュが最大容量に到達しました。新しい SDK セッションを作  
成することができません。

理由:

SDK ログイン キャッシュが最大容量に到達しました。

アクション:

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] で、プロパティ "sdk.session.cache.size"  
により高い値を設定し、CA Configuration Automation サーバを再起動します。  
必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

[CCA-AA-9207](#)

パスワードがすでに使用されています。別のパスワードを指定してください。

理由:

CA EEM のパスワード ポリシーでは、すでに使用されたことのあるパスワードの使用は禁止されています。

アクション:

これまでに使用したことのないパスワードを使用してください。

[CCA-GD-0047](#)

実行サーバが正しくありません。目的のサーバは UUID <execution server uuid> ですが、実際は以下のものです <server uuid>

理由:

CCA サーバマシンが指定されたポート上の受信リクエストをブロックしている可能性があります。

アクション:

ポートが開いていて、受信リクエストを受け入れていることを確認します。

例:

CA Configuration Automation サーバを Linux プラットフォームで実行している場合は、特定のポートの `iptables` を設定します。CA Configuration Automation サーバを Windows プラットフォームで実行している場合は、指定されたポートからの受信リクエストを許可するようにファイアウォールを設定します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## グローバル変数エラー メッセージ

---

### CCA-SV-1000

セキュリティ違反: <error>。

理由:

ユーザに、操作を実行する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、操作を実行します。

### CCA-SV-1001

セキュリティ違反: ユーザ操作は許可されていません。

理由:

操作を実行する権限がありません。

Action:

操作を実行するには CA Configuration Automation の管理者としてログインします。

### CCA-MS-1001

ユーザ ログイン セッションが期限切れになりました。再度ログインしてください。

理由:

セッションがタイム アウトになっています。

アクション:

再度ログインしてください。

## グローバル変数エラー メッセージ

このセクションでは、グローバル変数操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-GV-5507

**名前が必要です**

**理由:**

グローバル変数の作成時に名前が指定されていません。

**アクション:**

グローバル変数の作成時に名前を指定します。

CCA-GV-5511

**インポートする XML または CSV ファイルを選択してください。**

**理由:**

考えられる理由は以下のとおりです。

- グローバル変数のインポート時にファイル名を選択していない。
- グローバル変数をインポートするために無効なファイルが選択されている。

**アクション:**

グローバル変数をインポートするための有効な XML または CSV ファイルを選択します。

CCA-GV-5513

**グローバル変数 <variablename> はすでに存在します。**

**理由:**

グローバル変数 <variable name> がすでに存在します。

**アクション:**

一意のグローバル変数名を指定します。

CCA-GV-5514

名前 <name> の入力文字が無効です。スペース文字および以下の文字は使用しないでください。<characterlist>。

**理由:**

名前に無効な文字が含まれています。

**アクション:**

グローバル変数を作成する際に、名前に有効な文字を指定します。

CCA-GV-5515

ファイルにグローバル変数がありません

**理由:**

グローバル変数をインポートするために指定された XML ファイルにグローバル変数が含まれていません。

**アクション:**

対処は不要です。

CCA-GV-5516

グローバル サブ変数に一意の名前を指定し、再度追加してください。

**理由:**

グローバル サブ変数名がすでに存在します。

**アクション:**

一意のグローバル サブ変数を指定して、追加タスクを実行します。

## CCA-GV-5517

無効なファイルです。

理由:

グローバル変数をインポートするために指定された XML ファイルに有効な開始タグ `<GlobalRegistry>` または終了タグ `</GlobalRegistry>` が含まれていません。

アクション:

XML ファイルには、開始タグ `<GlobalRegistry>` および終了タグ `</GlobalRegistry>` が必要です。

## CCA-GV-5518

ファイルに無効な文字が含まれています。

理由:

グローバル変数をインポートするために指定された XML ファイルに無効な文字「&」が含まれています。

アクション:

XML ファイルから無効な文字を削除してインポートします。

## 通知エラー メッセージ

このセクションでは、ユーザに通知を送信する際に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-NF-5602

通知の送信が失敗しました。メール サーバが設定されていません。環境管理 > 構成 > プロパティで、"mail.server" を設定してください。

**理由:**

通知の送信が失敗しました。メール サーバが設定されていません。

**アクション:**

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] で、"mail.server" プロパティを設定します。

CCA-NF-5603

通知の送信が失敗しました。"差出人" メール アドレスが設定されていません。環境管理 > 構成 > プロパティで、"mail.from" を設定してください。

**理由:**

通知の送信が失敗しました。"差出人" メール アドレスが設定されていません

**アクション:**

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] で、"mail.from" プロパティを設定します。

CCA-NF-5604

通知の送信が失敗しました。"宛先" メール アドレスが見つかりません。通知 プロファイルで、"Send Email To" に有効なメール アドレスを設定してください。

**理由:**

通知の送信が失敗しました。"宛先" メール アドレスが設定されていません

**アクション:**

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] で、"mail.to" プロパティを設定します。

## CCA-NF-5605

通知の送信が失敗しました。指定されたメール アドレスが無効です。

理由:

"宛先" または "差出人" (あるいはこの両方) のメール アドレスが有効なメール アドレスに設定されていません。

アクション:

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] で、"mail.to" または "mail.from" (あるいはこの両方) のプロパティに有効なメール アドレスを設定します。

## CCA-NF-5607

通知の送信が失敗しました。ユーザ <username> にこの操作を実行する権限がありません。

理由:

この操作を実行する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

## CCA-NF-5608

通知メッセージの整形が失敗しました。ユーザ <username> にこの操作を実行する権限がありません。

理由:

操作を実行する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

## CCA-NF-5609

通知メッセージの整形が失敗しました。例外が発生しました - <error>。

**理由:**

通知メッセージの整形時にエラーが発生しました。

**アクション:**

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] で、"mail.to"、"mail.from"、"mail.server" プロパティが正しいことを確認します。問題が解決されない場合は、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## NDG エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で NDG 操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-NR-1708

ネットワークスキャンジョブ <jobname> の既存のスケジュールを削除できませんでした。エラー メッセージ - <errormessage>

**理由:**

ジョブが現在実行中であるか、またはスケジュールされたジョブの削除時に例外が発生しました。

**アクション:**

ジョブの完了後に試行します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-NR-1709

Network Discovery Gateway が必要です

理由:

Network Discovery Gateway の作成時に Network Discovery Gateway サーバ名が指定されていません。

アクション:

Network Discovery Gateway の作成時に NDG サーバ名を指定します。

## CCA-NR-1710

Network Discovery Gateway ポート番号が必要です

理由:

Network Discovery Gateway の作成時に Network Discovery Gateway ポート番号が指定されていません。

アクション:

Network Discovery Gateway の作成時に NDG サーバのポート番号を指定します。

## CCA-NR-1711

Network Discovery Gateway への接続が失敗しました

理由:

ネットワーク プロファイルの作成時に NDG のテスト接続が失敗しました。

アクション:

ping を使用して NDG サーバ接続を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## NDG ディスカバリ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で NDG ディスカバリ操作を実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

CCA-ND-8053

サーバ IP 調整に関して、ホスト <hostname> はノード <NDGservername> 上の Network Discovery Gateway に応答しません

**理由:**

サーバ IP の調整中にホスト名が解決されていません。

**アクション:**

サーバが稼働中かどうかを確認します。必要に応じて、CA Technologies の テクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-ND-8054

サーバ名、<servername> は、ホスト名が不明なために調整できません

**理由:**

サーバ IP の調整中に不明なホスト例外が発生しました。

**アクション:**

ホスト名でターゲットサーバに ping できることを確認します。

CCA-ND-8056

Network Discovery Gateway 接続エラー: <errormessage>。

**理由:**

互換性のないバージョンの Network Discovery Gateway が検出されました。

**アクション:**

対応する CA Configuration Automation サーバと共に CA Configuration Automation イメージで利用可能な NDG をインストールします。

## CCA-ND-8057

Network Discovery Gateway <servername> はすでに存在します

理由:

このサーバ名の Network Discovery Gateway がすでに存在します。

アクション:

対処は不要です。

## CCA-ND-8058

サーバ名、<servername> は、リクエストの応答しないために調整できません

理由:

サーバが調整操作に応答していません。

アクション:

ターゲット サーバが稼働中かどうかを確認します。

## CCA-ND-8059

SNMP ゲートウェイ IP アドレスは IPV4 または IPV6 形式のいずれかである必要があります。ワイルドカードは、許可されません

理由:

SNMP ゲートウェイ IP アドレスにワイルドカードが含まれています。

アクション:

ワイルドカードを含まない SNMP ゲートウェイ IP アドレスを追加します。

### CCA-ND-8063

通信エラーです。 NDG が互換性のあるバージョンであることを検証し、ノード <servername> 上の Network Discovery Gateway サービスが実行されていることを確認してください

理由:

CA Configuration Automation サーバが NDG と通信できません。

アクション:

NDG が互換性のあるバージョンであることを検証し、ノード <servername> 上の Network Discovery Gateway サービスが実行されていることを確認します。

### CCA-ND-8064

この NDG スキャンに使用されたスキャン ポリシーには無効なパラメータが含まれます。スキャン ポリシー内の値を再確認し再度試行してください

理由:

無効なパラメータを含むネットワーク スキャン ポリシーの実行中に Axis エラー例外が発生しました。

アクション:

スキャン ポリシー内の値を再確認し、再度試行します。

## プロファイル エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でプロファイル操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-PL-3517

プロファイル名が必要です。

理由:

管理、通知、アクセス、ネットワーク、または認証情報ボールトプロファイルの作成時にプロファイル名が指定されていません。

アクション:

プロファイル名を指定します。

CCA-PL-3522

<proxyserver/SSHserverhost> が必要です

理由:

アクセスプロファイルのプロキシの詳細を追加または更新する際に、プロキシサーバまたはSSHサーバホストの詳細が指定されていません。

アクション:

アクセスプロファイルのプロキシの詳細を追加または更新する際に、プロキシサーバまたはSSHサーバホストの詳細を指定します。

CCA-PL-3523

有効なポート番号を入力してください

理由:

アクセスプロファイルを作成または更新する際に、ポート番号に無効な文字が含まれています。

アクション:

ポート番号として有効な文字を指定します。

CCA-PL-3524

**サーバ アカウントを入力してください**

**理由:**

アクセス プロファイルのプロキシの詳細を追加または更新する際に、SSH サーバ ホスト アカウントの詳細が指定されていません。

**アクション:**

アクセス プロファイルのプロキシの詳細を追加または更新する際に、SSH サーバ ホスト アカウントの詳細を指定します。

CCA-PL-3525

**SSH パスワードが必要です**

**理由:**

アクセス プロファイルのプロキシの詳細を追加または更新する際に、SSH サーバ ホスト アカウントのパスワードが指定されていません。

**アクション:**

アクセス プロファイルのプロキシの詳細を追加または更新する際に、SSH サーバ ホスト アカウントのパスワードを指定します。

CCA-PL-3526

**SSH 確認用パスワードが必要です**

**理由:**

アクセス プロファイルのプロキシの詳細を追加または更新する際に、SSH サーバ ホスト アカウントの確認用パスワードが指定されていません。

**アクション:**

アクセス プロファイルのプロキシの詳細を追加または更新する際に、SSH サーバ ホスト アカウントの確認用パスワードを指定します。

CCA-PL-3527

**有効な接続タイムアウトを入力してください**

**理由:**

SSH アクセス プロファイルを更新または追加する際に、接続タイムアウトにアルファベットが含まれています。

**アクション:**

[接続タイムアウト] フィールドに数値を入力します。

CCA-PL-3530

**無効な電子メール アドレスです**

**理由:**

通知プロファイルの追加または更新時に、電子メール アドレスが指定されていないか、または無効な電子メール アドレスが指定されています。

**アクション:**

通知プロファイルの追加または更新時に有効な電子メール アドレスを指定します。

CCA-PL-3533

**デフォルト プロファイルは削除できません。選択したプロファイルを削除する前に、新しいデフォルト プロファイルを割り当てる必要があります**

**理由:**

選択したプロファイルのいずれかがデフォルトとしてマークされています。デフォルト プロファイルは削除できません。

**アクション:**

既存のデフォルト プロファイルを削除する前に新しいデフォルト プロファイルを割り当てるか、またはデフォルト プロファイルを除くその他のプロファイルを削除します。

## プロファイル エラー メッセージ

---

### CCA-PL-3534

入力したパスワードは一致しません。両方のパスワード フィールドにパスワードを再入力してください

**理由:**

パスワードと再入力したパスワード テキストが異なっています。

**アクション:**

[パスワード] フィールドと [パスワードの再入力] フィールドに同じ値を入力します。

### CCA-PL-3538

管理プロファイル <managementprofilename> はすでに存在します

**理由:**

この名前の管理プロファイルがすでに存在します。

**アクション:**

管理プロファイルに一意の名前を指定します。

### CCA-PL-3539

アクセス プロファイル <accessprofilename> はすでに存在します

**理由:**

この名前のアクセス プロファイルがすでに存在します。

**アクション:**

アクセス プロファイルに一意の名前を指定します。

CCA-PL-3540

通知プロファイル <Notificationprofilename> はすでに存在します

理由:

この名前の通知プロファイルが存在しています。

アクション:

通知プロファイルに一意の名前を指定します。

CCA-MP-3549

スケジュール済みの管理プロファイル <jobname> の実行が失敗しました。  
ユーザ <username> にこの操作を実行する権限がありません

理由:

管理プロファイルのスケジュール、リフレッシュ操作、あるいはスケジュール済みのサーバまたはサービス ディスカバリ操作を実行する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、管理プロファイルのスケジュール、リフレッシュ操作、あるいはスケジュール済みのサーバまたはサービス ディスカバリを実行します。

CCA-PL-3556

管理プロファイル <managementprofileuuid> は存在しません

理由:

データ移行操作でサーバをインポートする際に、CA Configuration Automation でアクセス プロファイルまたは管理プロファイルを利用できません。

アクション:

データ移行操作でサーバをインポートする前に、アクセス プロファイルまたは管理プロファイルを作成またはインポートします。

CCA-PL-3558

選択内容には自己登録アクセス プロファイルが含まれます。削除操作は実行できません

**理由:**

自己登録アクセス プロファイルは削除できません。

**アクション:**

選択リストから自己登録アクセス プロファイルを削除して、アクセス プロファイルを削除します。

CCA-PL-3559

<accessprofilename> 自己登録アクセス プロファイルを編集できません。

**理由:**

詳細は自動的に入力されるため、自己登録アクセス プロファイルを編集することはできません。

**アクション:**

プロファイルをコピーして、アクセス プロファイルを編集します。

CCA-PL-3565

スケジュールが失敗したため、管理プロファイル <managementprofilename> を更新できません。エラー メッセージ - <errormessage>

**理由:**

選択した頻度に対して無効な日数または時間が指定されています。

**アクション:**

選択した頻度に対して有効な日数または時間を指定します。

CCA-PL-3570

有効なファイル検索階層数入力してください

理由:

管理プロファイルのディスカバリ オプションに入力されたファイル検索階層数が数値ではありません。

アクション:

[ファイル検索階層数] フィールドに数値を入力します。

CCA-PL-3574

必要なフィールドに値がありません。

理由:

アクセスプロファイルの [アクセス モード] タブの必須フィールドが入力されていません。

アクション:

アクセスプロファイルの作成または更新時に [アクセス モード] タブにすべての詳細を入力します。

CCA-PL-3577

以下の無効な IP アドレスが見つかりました: <ipaddress>

理由:

サーバの追加時に指定した IP アドレスは、無効な IPv4 または IPv6 アドレスです。

アクション:

サーバの追加時に有効な IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。

CCA-PL-3582

IP アドレスは必須フィールドです。有効な IP アドレスを指定してください。

理由:

IPv4 または IPv6 アドレスが空です。

アクション:

サーバの追加または更新時に有効な IPv4 または IPv6 アドレスを指定します。

CCA-PL-3587

以下の無効な IP アドレス マスクが見つかりました: <IPaddressrange>

理由:

IP アドレスが IPv4 または IPv6 ではありません。

アクション:

有効な IP アドレスを指定します

CCA-PL-3589

プロファイル名が長すぎます。

理由:

管理プロファイルまたはネットワーク プロファイルを作成または更新する際に、プロファイル名に 200 を超える文字が含まれています。

アクション:

200 文字以下のプロファイル名を指定します。

CCA-PL-3590

無効なプロファイル名です。以下の文字は許可されません: " "

理由:

管理プロファイルの作成時に、管理プロファイル名に無効な文字 ("、') が見つかりました。

アクション:

二重引用符または一重引用符のない管理プロファイル名を指定します。

CCA-PL-3599

管理プロファイルが有効ではありません

理由:

管理プロファイルが無効です。

アクション:

管理プロファイルを有効にして、操作を再実行します。

CCA-PL-3605

ネットワーク スキャン ポリシー <policyname> はすでに存在しています。

理由:

同じ名前のネットワーク スキャン ポリシーが存在しています。

アクション:

ポリシーを作成する際に、一意のネットワーク スキャン ポリシーネームを指定します。

CCA-PL-3611

選択されたポリシーは削除できません。選択されたポリシーの 1 つ以上がネットワーク プロファイルに割り当てられています。

**理由:**

選択したポリシーがネットワーク プロファイルに割り当てられています。

**アクション:**

選択したポリシーを削除する前に、選択したネットワーク スキャン ポリシーがほかのどのネットワーク プロファイルにも割り当てられていないことを確認します。

CCA-PL-3615

CCA の組み込みのネットワーク スキャン ポリシーは削除できません。

**理由:**

CCA の組み込みのネットワーク スキャン ポリシーは削除できません。

**アクション:**

対処は不要です。

CCA-PL-3631

ネットワーク プロファイル <profilename> はすでに存在します。

**理由:**

同じ名前のネットワーク プロファイルが存在しています。

**アクション:**

ネットワーク プロファイルを作成する際に、一意のネットワーク プロファイル名を指定します。

CCA-PL-3620

インポートが失敗しました

理由:

ポリシーのインポート時に例外が発生しました。例外は SQLException、SecurityViolation、および XMLStream Exception です。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3621

[含める] および [含めない] リストに同じポートを指定することはできません:<ポートのリスト>

理由:

含めるポートと含めないポートに同じ値が選択されています。

アクション:

[含める] および [含めない] リストで、別のポートを指定します。

CCA-PL-3639

ノード <servername> のポート CA Portal 上の Network Discovery Gateway との通信が失敗しました

理由:

NDG から接続する際に RemoteException が発生しました。

アクション:

NDG サーバステータスで、NDG サーバが正しく応答しているかどうかを確認します。

CCA-PL-3641

ホスト <servername> が見つかりませんでした。ホスト名を修正するか、別の Network Discovery Gateway を選択し、再度実行してください。

**理由:**

新しいサーバを解決する際に不明なホスト例外が発生しました。

**アクション:**

有効なホスト名を指定するか、または別の Network Discovery Gateway を選択します。

CCA-PL-3642

ホスト <servername> が見つかりませんでした。ホスト名を修正して再度実行してください。

**理由:**

新しいサーバを解決する際に不明なホスト例外が発生しました。

**アクション:**

有効なホスト名を指定します。

CCA-PL-3643

IP アドレス <ipv4/ipv6> はホスト <servername> 用の有効なアドレスとして検出されませんでした。IP アドレスを修正して再度実行してください。

**理由:**

指定したアドレスが解決されたアドレスのリストにありません。

**アクション:**

有効な IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3650

スキャン タイプが必要です。

理由:

ネットワーク プロファイルの作成または更新時にスキャン タイプが選択されていません。

アクション:

スキャン タイプとして IPV4 または IPV6 を選択します。

CCA-PL-3651

ホスト名 <hostname> に無効な文字があります

理由:

ホスト名に無効な文字が含まれています。

アクション:

有効なホスト名を指定します。

CCA-PL-3652

TCP ポートに無効な文字があります。

理由:

TCP ポートに無効な文字が含まれています。

アクション:

有効な数値の TCP ポートを指定します。

CCA-PL-3653

エンジンタイプが ping スイープの場合は、ターゲットホスト名または IP アドレスが必要です。

理由:

ping スイープ エンジンタイプを含むネットワーク プロファイルを作成する際に、ターゲットホスト名または IP アドレスが指定されていません。

アクション:

ping スイープ エンジンタイプを含むプロファイルを作成する際に、ネットワーク プロファイルの包含リストにターゲット ホスト名または IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3654

グローバル ルーティング プレフィックス長が最小値の <minvalue> です

理由:

グローバル ルーティング プレフィックス長の値が <minvalue> 未満です。

アクション:

グローバル ルーティング プレフィックス長の値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3655

グローバル ルーティング プレフィックス長が最大値の <maxvalue> です

理由:

グローバル ルーティング プレフィックス長の値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

グローバル ルーティング プレフィックス長の値を <maxvalue> 以下にします。

CCA-PL-3656

グローバル ルーティング プレフィックス長が必要です。

理由:

ネットワーク プロファイルを作成する際にグローバル ルーティング プレフィックス長が指定されていません。

アクション:

ネットワーク プロファイルを作成する際にグローバル ルーティング プレフィックス長を指定します。

CCA-PL-3660

サブネット階層のすべてのレベル数の合計を 64 より大きくすることはできません - グローバル ルーティング プレフィックス長: <value>

理由:

サブネット階層のすべてのレベル数の合計が 64 <value> を超えています。

アクション:

サブネット階層のすべてのレベル数の合計を 64 <value> 以下にします。

CCA-PL-3661

サブネット階層レベルの長さが最小値の <minvalue> です

理由:

サブネット階層レベルの値が <minvalue> 未満です。

アクション:

サブネット階層レベルの値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3662

サブネット階層の下限値が最小値の <minvalue> です

理由:

サブネット階層の下限値が <minvalue> 未満です。

アクション:

サブネット階層の下限値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3663

サブネット階層の下限値が最大値(2 のビット数乗)になっています - 1

理由:

サブネット階層の下限値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

サブネット階層の下限値を <maxvalue> 以下にします。

CCA-PL-3664

サブネット階層の上限値が、指定された下限値の最小値です

理由:

サブネット階層の上限値が <minvalue> 未満です。

アクション:

サブネット階層の上限値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3665

サブネット階層の上限値が最大値(2 のビット数乗)になっています - 1

理由:

サブネット階層の上限値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

サブネット階層の上限値を <maxvalue> 以下にします。

## CCA-PL-3666

エンジンタイプが TCP 接続スキャンの場合は、ターゲット ホスト名または IP アドレスが必要です。

理由:

TCP 接続スキャンを含むネットワーク プロファイルを作成する際に、[包含] タブにホスト名または IP アドレスが指定されていません。

アクション:

TCP 接続スキャンを含むネットワーク プロファイルを作成する際に、[包含] タブにホスト名または IP アドレスを指定します。

## CCA-PL-3667

このエンジン タイプでは、IP アドレス包含フィルタが必要です。

理由:

Netflow スキャンを含むネットワーク プロファイルを作成する際に、[包含] タブに IP アドレスが指定されていません。

アクション:

Netflow スキャンを含むネットワーク プロファイルを作成する際に、[包含] タブに IP アドレスを指定します。

## CCA-PL-3668

SNMP 再試行数の値が最小値の <minvalue> です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、SNMP 再試行数の値が <minvalue> 未満です。

アクション:

SNMP 再試行数の値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3669

SNMP 再試行数の値が最大値の <maxvalue> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、SNMP 再試行数の値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

SNMP 再試行数の値を <maxvalue> 以下にします。

CCA-PL-3670

SNMP タイムアウトの値が最小値の <minvalue> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、SNMP タイムアウトの値が <minvalue> 未満です。

アクション:

SNMP タイムアウトの値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3671

SNMP タイムアウトの値が最大値の <maxvalue> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、SNMP タイムアウトの値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

SNMP タイムアウトの値を <maxvalue> 以下にします。

CCA-PL-3672

SNMP エンジンの値が最小値の <minvalue> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、SNMP エンジンの値が <minvalue> 未満です。

アクション:

SNMP エンジンの値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3673

SNMP エンジンの値が最大値の <maxvalue> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、SNMP エンジンの値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

SNMP エンジンの値を <maxvalue> 以下にします。

CCA-PL-3674

DNS サーバ IP アドレスが必要です。

理由:

DNS スキヤン ポリシーを含むネットワーク プロファイルを追加または更新する際に、DNS サーバ IP アドレスが指定されていません。

アクション:

DNS スキヤン ポリシーを含むネットワーク プロファイルを追加または更新する際に、DNS サーバ IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3675

CIDR (スラッシュ) 表記が有効ではありません。

理由:

CIDR (スラッシュ) 表記が無効です。

アクション:

有効な CIDR (スラッシュ) 表記を指定します。

CCA-PL-3676

IP アドレスに無効な文字があります。

理由:

IP アドレスが有効ではありません。

アクション:

有効な IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3677

DNS ドメインが必要です。

理由:

DNS スキャン ポリシーに DNS ドメインが指定されていません。

アクション:

DNS スキャン ポリシーに DNS ドメインを指定します。

CCA-PL-3678

実行日数の値が最小値の {0} です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、実行日数の値が <minvalue> 未満です。

アクション:

実行日数の値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3679

実行日数の値が最大値の {0} です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、実行日数の値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

SNMP の実行日数の値を <maxvalue> 以下にします。

CCA-PL-3680

実行時間数の値が最小値の {0} です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、実行時間数の値が <minvalue> 未満です。

アクション:

実行時間数の値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3681

実行時間数の値が最大値の {0} です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、実行時間数の値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

SNMP の実行時間数の値を <maxvalue> 以下にします。

CCA-PL-3682

実行分数の値が最小値の {0} です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、実行分数の値が <minvalue> 未満です。

アクション:

実行分数の値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3683

実行分数の値が最大値の {0} です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、実行分数の値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

SNMP の実行分数の値を <maxvalue> 以下にします。

CCA-PL-3684

統計情報レポート間隔の値が最小値の {0} です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、統計情報 レポート間隔の値が <minvalue> 未満です。

アクション:

統計情報 レポート間隔の値を <minvalue> 以上にします。

CCA-PL-3685

統計情報レポート間隔の値が最大値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、統計情報レポート間隔の値が最大値の <n> を超えています。

アクション:

<n> 以下の値を指定します。

CCA-PL-3686

キャッシュ ページ頻度の値が最小値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、キャッシュ ページ頻度の値が最小値の <n> 未満です。

アクション:

<n> 以上の値を指定します。

CCA-PL-3687

キャッシュ ページ頻度の値が最大値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、キャッシュ ページ頻度の値が最大値の <n> を超えています。

アクション:

<n> 以下の値を指定します。

CCA-PL-3688

関係パケット数しきい値の値が最小値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、関係パケット数しきい値が最小値の <n> 未満です。

アクション:

<n> 以上の値を指定します。

CCA-PL-3689

関係パケット数しきい値の値が最大値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、関係パケット数しきい値が最大値の <n> を超えています。

アクション:

<n> 以下の値を指定します。

CCA-PL-3690

ポートの値は数値である必要があります

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、ポートの値が指定されていないか、または数値以外の値が指定されています。

アクション:

有効なポートの値を指定します。

CCA-PL-3691

集約間隔の値が最小値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、集約間隔の値が最小値の <n> 未満です。

アクション:

<n> 以上の値を指定します。

CCA-PL-3692

集約間隔の値が最大値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、集約間隔の値が最大値の <n> を超えています。

アクション:

<n> 以下の値を指定します。

CCA-PL-3693

ping スイープ再試行数の値が最小値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、再試行数の値が最小値の <n> 未満です。

アクション:

<n> 以上の値を指定します。

CCA-PL-3694

ping スイープ再試行数の値が最大値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、再試行数の値が最大値の <n> を超えています。

アクション:

<n> 以下の値を指定します。

CCA-PL-3695

ping スイープ タイムアウトの値が最小値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、タイムアウトの値が最小値の <n> 未満です。

アクション:

<n> 以上の値を指定します。

CCA-PL-3696

ping スイープ タイムアウトの値が最大値の <n> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、タイムアウトの値が最大値の <n> を超えています。

アクション:

<n> 以下の値を指定します。

CCA-PL-3697

ping スイープ エンジン数の値が最小値の <n> です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、ping スイープ エンジン数の値が最小値の <n> 未満です。

アクション:

<n> 以上の値を指定します。

CCA-PL-3698

ping スイープ エンジン数の値が最大値の <n> です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、ping スイープ エンジン数の値が最大値の <n> を超えています。

アクション:

<n> 以下の値を指定します。

CCA-PL-3699

エンジン タイプが ping スイープの場合は、ターゲット IP アドレスが必要です。

理由:

[包含] ページにターゲット IP アドレスが指定されていません。

アクション:

有効なターゲット IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3700

エンジンタイプが TCP 接続スキャンの場合は、ターゲット IP アドレスが必要です。

理由:

[包含] ページにターゲット IP アドレスが指定されていません。

アクション:

有効なターゲット IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3701

<filename> プロファイルの追加中にエラーが発生しました

理由:

SDK またはコマンドラインユーティリティを使用してプロファイルを追加中に例外が発生しました。例外は `SecurityViolation`、`DuplicateObjectException`、`SQLException`、および `SDKException` です。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3702

<filename> プロファイルの取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK またはコマンドラインユーティリティを使用してプロファイルを取得中に例外が発生しました。例外は `SecurityViolation` と `SQLException` です。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3704

UUID <profileuuid> のプロファイルが見つかりません

理由:

SDK から取得したプロファイルの詳細に不正または無効な UUID が指定されています。

アクション:

有効なプロファイル UUID を指定します。

CCA-PL-3705

すべてのプロファイルを取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK またはコマンドラインユーティリティを使用してプロファイルを取得中に例外が発生しました。例外は `SecurityViolation` と `SQLException` です。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3706

ID が <profileuuid> で名前が <profilename> であるプロファイルを更新中にエラーが発生しました

エラー:

SDK またはコマンドラインユーティリティを使用してプロファイルを更新中に例外が発生しました。例外は `SecurityViolation`、`DuplicateObjectException`、`SQLException`、および `SDKExceptionException` です。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3707

プロファイル属性(タイプ = <profiletype>、名前 = <filename>、属性名 = <attributename>)を設定中にエラーが発生しました

エラー:

SDK またはコマンドラインユーティリティを使用してプロファイル属性を更新中に例外が発生しました。例外は `SecurityViolation`、`DuplicateObjectException`、`SQLException`、および `SDKException` です。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。 CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3708

プロファイル属性(タイプ = <profiletype>、名前 = <filename>、属性名 = <attributename>)を取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK またはコマンドラインユーティリティを使用してプロファイル属性を取得中に例外が発生しました。例外は `SecurityViolation` と `SQLException` です。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。 CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3712

ポートの値が必要です。

理由:

通信マッピングを作成する際にポートが指定されていません。

アクション:

通信マッピングを作成する際にポートの値を指定します。

CCA-PL-3713

通信名の値が必要です。

理由:

通信マッピングを作成する際に通信タイプが指定されていません。

アクション:

通信を作成する際に通信タイプを指定します。

CCA-PL-3715

通信マッピングがすでに存在します。

理由:

通信マッピングが存在しています。

アクション:

通信タイプに一意の値を指定します。

CCA-PL-3718

ポートの有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

理由:

通信マッピングの追加時に指定されたポートの値が、1 ~ 65535 の範囲外です。

アクション:

有効なポートの値を指定します。

CCA-PL-3719

このアプリケーション パスを持つアプリケーション マッピングはすでに存在します。

**理由:**

このアプリケーション パスを持つアプリケーション マッピングが存在しています。

**アクション:**

アプリケーション マッピングを作成する際に、一意のアプリケーション パスの値を指定します。

CCA-PL-3720

アプリケーション名の値が必要です。

**理由:**

アプリケーション マッピングを追加する際にアプリケーション名が指定されていません。

**アクション:**

アプリケーション マッピングを追加する際にアプリケーション名を指定します。

CCA-PL-3721

アプリケーション パスの値が必要です。

**理由:**

アプリケーション マッピングを追加する際にアプリケーション パスが指定されていません。

**アクション:**

アプリケーション マッピングを追加する際にアプリケーション パスを指定します。

CCA-PL-3726

同一のアプリケーション パスを持つアプリケーション マッピングがすでに存在します。

理由:

同一のアプリケーション パスを持つアプリケーション マッピングが存在しています。

アクション:

既存のアプリケーション マッピングをインポートする際に [既存のアプリケーション マッピングを上書き] フラグを選択します。

CCA-PL-3734

<profilename> 認証情報ポートの追加中にエラーが発生しました

理由:

SDK またはコマンドラインユーティリティを使用して認証情報を追加中に例外が発生しました。例外は SecurityViolation、DuplicateObjectException、SQLException、および SDKExceptionException です。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-PL-3736

ポートの値は数値である必要があります。

理由:

通信タイプまたは NDG サーバの詳細に入力されたポートの値が数値ではありません。

アクション:

有効なポート番号を指定します。

CCA-PL-3737

アカウントの長さは 20 文字未満である必要があります。

理由:

エージェント、SSH、またはプロキシアカウントの長さが 20 文字を超えていません。

アクション:

エージェント、SSH、またはプロキシアカウントの長さを 20 文字未満にします。

CCA-PL-3740

無効なターゲット IP アドレス - 単一のスキャンに多くのターゲットを指定しすぎています: <n>

理由:

CIDR 表記またはワイルドカード文字を含む IP アドレスがあまりにも多くのターゲットから構成されています。

アクション:

CIDR 表記またはワイルドカード文字を使用する際に、少ないターゲット数で IP アドレスを構成します。

CCA-PL-3741

[選択された IP アドレス]に対して、「\*」という Exclusion List Entry 値は使用できません。

理由:

Exclusion List Entry 値を指定する場合、ワイルドカード文字 \* は、10.144.37.\* などのように、文字列の一部としてのみ使用できます。

Exclusion List Entry 値を独立した \* に設定した場合、NDG ネットワークスキャンで検出された結果がすべて除外されます。

Action:

選択された IP アドレスに対して、Exclusion List Entry の独立した \* 値を指定しないでください。

---

[CCA-PL-3742](#)

[選択されたポート]に対して、「\*」という Exclusion List Entry 値は使用できません。

**理由:**

Exclusion List Entry 値を指定する場合、ワイルドカード文字 \* は、801\* などのように、文字列の一部としてのみ使用できます。Exclusion List Entry 値を独立した \* に設定した場合、NDG ネットワーク スキヤンで検出された結果がすべて除外されます。

**アクション:**

選択されたポートに対して、Exclusion List Entry の独立した \* 値を指定しないでください。

[CCA-PL-3800](#)

ping スイープ バースト サイズの値が最小値の <minvalue> です

**理由:**

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、ping スイープ バースト サイズの値が <minvalue> 未満です。

**アクション:**

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、<minvalue> の値以上の ping スイープ バースト サイズの値を指定します。

[CCA-PL-3801](#)

ping スイープ バースト サイズの値が最大値の <maxvalue> です

**理由:**

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、ping スイープ バースト サイズの値が <maxvalue> を超えています。

**アクション:**

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、<maxvalue> 以下の ping スイープ バースト サイズ値を指定します。

CCA-PL-3802

ローカル リンク再試行数の値が最小値の <minvalue> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、ローカル リンク再試行数の値が <minvalue> 未満です。

アクション:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、<minvalue> 以上のローカル リンク再試行数の値を指定します。

CCA-PL-3803

ローカル リンク再試行数の値が最大値の <maxvalue> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、ローカル リンク再試行数の値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、<maxvalue> 以下のローカル リンク再試行数の値を指定します。

CCA-PL-3804

ローカル リンク タイムアウトの値が最小値の <minvalue> です

理由:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、ローカル リンク タイムアウトの値が <minvalue> 未満です。

アクション:

ネットワーク スキヤン ポリシーの作成または更新時に、<minvalue> 以上のローカル リンク タイムアウトの値を指定します。

CCA-PL-3805

ローカルリンクタイムアウトの値が最大値の <maxvalue> です

理由:

ネットワークスキャンポリシーの作成または更新時に、ローカルリンクタイムアウトの値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

ネットワークスキャンポリシーの作成または更新時に、<maxvalue> 以下のローカルリンクタイムアウトの値を指定します。

CCA-PL-3806

ゲートウェイ IP アドレスが必要です。

理由:

ゲートウェイ IP アドレスが指定されていません。

アクション:

有効なゲートウェイ IP アドレスを指定します。

CCA-PL-3807

TCP 接続スキャンエンジン数の値が最小値の <minvalue> です

理由:

ネットワークスキャンポリシーの作成または更新時に、TCP 接続スキャンエンジン数の値が <minvalue> 未満です。

アクション:

ネットワークスキャンポリシーの作成または更新時に、<minvalue> 以上の TCP 接続スキャンエンジン数の値を指定します。

CCA-PL-3808

TCP 接続スキャン エンジン数の値が最大値の <maxvalue> です

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、ローカル リンク タイムアウトの値が <maxvalue> を超えています。

アクション:

ネットワーク スキャン ポリシーの作成または更新時に、<maxvalue> 以下のローカル リンク タイムアウトの値を指定します。

CCA-PL-3809

指定されたファイルに想定されるファイル ヘッダ <servername/ipaddress> が含まれていません

理由:

ファイル ヘッダにヘッダが含まれていません。

アクション:

ファイルの形式が正しいことを確認します。

CCA-PL-3811

指定されたファイルを読み取り中にエラーが発生しました。

理由:

ファイルからホストを追加する際に入出力例外が発生しました。

アクション:

ファイル形式とアクセシビリティを確認します。

CCA-PL-3817

無効なインストール ディレクトリです。

理由:

アクセス プロファイルの作成または更新時に、無効なインストール ディレクトリが指定されています。

アクション:

有効なインストール ディレクトリを指定します。

CCA-PL-3818

アクセス プロファイル <filename> が見つかりません。

理由:

コンテキスト内起動で表示するアクセス プロファイルが見つかりません。

アクション:

CA Configuration Automation サーバ内のアクセス プロファイルの可用性を確認します。

CCA-PL-3819

管理プロファイル <filename> が見つかりません。

理由:

コンテキスト内起動で表示する管理プロファイルが見つかりません。

アクション:

CA Configuration Automation サーバ内の管理プロファイルの可用性を確認します。

CCA-PL-3824

ドメインが必要です。

理由:

認証情報ボールト プロファイルの作成時にドメインが指定されていません。

アクション:

ドメイン名を指定します。

CCA-PL-3828

ポートの値が無効です。ポートの有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

理由:

指定した SSH ポートの値が 1 ~ 65535 の範囲にありません。

アクション:

有効なポートの値を指定します。

CCA-PL-3855

認証情報ボールト プロファイル <filename> はすでに存在します。

理由:

同じ名前の認証情報ボールト プロファイルが存在しています。

アクション:

認証情報ボールトを作成する際に、一意の認証情報ボールト プロファイル名を指定します。

CCA-PL-3856

選択されたプロファイルは削除できません。選択されたプロファイルの 1 つ以上がネットワーク プロファイルに割り当てられています。

理由:

選択されたプロファイルの 1 つ以上がネットワーク プロファイルに割り当てられています。

アクション:

選択したプロファイルを削除する前に、それらがいずれのネットワーク プロファイルにも割り当てられていないことを確認します。

CCA-PL-3858

認証情報が同一のユーザ ID がすでに存在します(以下の強調表示された行を参照してください)。

理由:

認証情報が同一のユーザ ID が存在しています。

アクション:

一意のユーザ ID とパスワードの組み合わせを指定します。

CCA-PL-3920

WMI アカウントを入力します。

理由:

WMI プロキシ サーバのアカウント情報が提供されません。

アクション:

WMI プロキシ サーバのアカウント情報を提供します。

CCCA-PL-3921

WMI パスワードが必要です

理由:

WMI プロキシ サーバのパスワードが指定されていません。

**アクション:**

WMI プロキシ サーバ用の有効なパスワードを指定します。

[CCA-PL-3922](#)

WMI 確認用パスワードが必要です

**理由:**

[パスワードの再入力] フィールドで値が指定されていないか、入力された値がパスワードと一致しません。

**アクション:**

[パスワード] フィールドで指定したパスワードをもう一度入力します。

[CCA-PL-3923](#)

FTP アカウントを入力します

**理由:**

FTP サーバのアカウント情報が指定されていません。

**アクション:**

FTP サーバのアカウント詳細を提供します。

[CCA-PL-3924](#)

FTP Root が必要です。

**理由:**

FTP サーバのホーム ディレクトリ情報が提供されていません。

**アクション:**

FTP サーバのホーム ディレクトリ詳細を提供します。

[CCA-PL-3925](#)

FTP パスワードが必要です

**理由:**

FTP サーバ用のパスワードは指定されていません。

**アクション:**

FTP サーバ用のパスワードを指定します。

[CCA-PL-3926](#)

FTP 確認用パスワードが必要です

**理由:**

FTP サーバに対して、`retype password` の値が指定されていません。

**アクション:**

プロキシ サーバのパスワードを確認します。

## プロパティ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でプロパティ操作を実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

[CCA-PY-6504](#)

プロパティ <propertyname> の値 <value> が数値ではありません。

**理由:**

値 <value> が数値ではありません。

**アクション:**

プロパティ <propertyname> に数値を指定します。

[CCA-PY-6505](#)

プロパティ <propertyname> の値 <value> が <min> から <max> の範囲にありません。

**理由:**

値 <value> が <min> から <max> の範囲にありません。

**アクション:**

<min> と <max> の範囲内の値を指定します。

[CCA-PY-6506](#)

プロパティ <propertyname> の値 <value> がリスト <allowableValues> にありません。

**理由:**

値 <value> が <allowableValues> リストにありません。

**アクション:**

<allowableValues> のいずれかの値を指定します。

[CCA-PY-6507](#)

入力したパスワードは一致しません。

**理由:**

パスワードと確認パスワードが一致していません。

**アクション:**

パスワードと確認パスワードの値が一致することを確認します。

[CCA-PY-6510](#)

プロパティのエクスポート中にセキュリティ違反エラーが発生しました。

**理由:**

プロパティをエクスポートする権限がありません。

**アクション:**

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、プロパティをエクスポートします。

#### CCA-PY-6511

プロパティ <propertyname> はすでに存在します。

**理由:**

上書きフラグを選択せずに、既存のプロパティをインポートしています。

**アクション:**

すでに利用可能なプロパティをインポートする際に上書きフラグを選択します。

## ルールコンプライアンス エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でルールコンプライアンス操作を実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

#### CCA-RC-8102

日付が必要です。

**理由:**

[日付] フィールドが空です。

**アクション:**

選択したルールコンプライアンス操作に必須である日付の値を入力します。

#### CCA-RC-8103

ルールコンプライアンスリクエストの追加中にエラーが発生しました

**理由:**

SDK を使用してルールコンプライアンスリクエストを追加中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-RC-8104](#)

**サーバ ルール コンプライアンス リクエストの実行中にエラーが発生しました**

**理由:**

SDK を使用してサーバ ルール コンプライアンス操作を実行中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-RC-8105](#)

**サービス ルール コンプライアンス リクエストの実行中にエラーが発生しました**

**理由:**

SDK を使用してサービス ルール コンプライアンス操作を実行中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-RC-8107](#)

**ルール コンプライアンス の実行中にエラーが発生しました**

**理由:**

SDK を使用してルール コンプライアンス結果を処理中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-RC-8108](#)

**失敗したルールを結果に追加中にエラーが発生しました**

**理由:**

SDK を使用して失敗したルールを結果に追加中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-RC-8109](#)

サービスのスナップショットが見つからないか、スナップショットにサーバがありません。サービス <servicename> に対するルール コンプライアンス操作は実行されません。

**理由:**

サービス スナップショットがありません。

**アクション:**

サービス <servicename> に必要なスナップショットを作成します。

[CCA-RC-8110](#)

サービス名が無効です。サービス <servicename> に対するルール コンプライアンス操作は実行されません。

**理由:**

サービス <servicename> が利用できません。

**アクション:**

サービス <servicename> を作成します。

CCA-RC-8111

サーバスナップショットが見つかりません。サーバ <servername> に対するルールコンプライアンス操作は実行されません。

理由:

サーバスナップショットがありません。

アクション:

サーバ <servername> に必要なスナップショットを作成します。

CCA-RC-8112

サーバ名が無効です。サーバ <servername> に対するルールコンプライアンス操作は実行されません。

理由:

サーバ <servername> が利用できません。

アクション:

サーバ <servername> を作成します

CCA-RC-8114

サービス ルールコンプライアンスに失敗しました。エラー メッセージ - <error>

理由:

ルールコンプライアンス操作中に例外が発生しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-RC-8125

サーバ <servername> は管理対象外状態です。ルールコンプライアンス操作は実行されません。

理由:

サーバ <servername> が管理対象外状態です。

**アクション:**

サーバ <servername> の状態を管理対象に変更します。

[CCA-RC-8126](#)

サーバ名が無効です。サービス <servicename> 内のサーバ <servername> に対するルールコンプライアンス操作は実行されません。

**理由:**

サーバ <servername> が利用できません。

**アクション:**

サービス <servicename> の一部としてサーバ <servername> を作成します。

[CCA-RC-8127](#)

サーバスナップショットがありません。サービス <servicename> 内のサーバ <servername> に対するルールコンプライアンス操作は実行されません。

**理由:**

サーバ <servername> のコンポーネントが、サービスデータの一部として利用できません。

**アクション:**

サーバ <servername> のコンポーネントが、サービスデータの一部として利用できることを確認します。

[CCA-RE-1625](#)

ブループリント <バージョンとブループリント名> に関するルール <ルール名> を持ったルール例外が、すでに存在します。

**理由:**

同じルール名とブループリント名を持ったルール例外が、CCA サーバに存在します。

**アクション:**

選択リストから既存のルールを削除し、他のルールを追加します。

CCA-RE-1634

ファイル構造クラス <filestructureclass 名> 上にルール <ルール名>を持ったルール例外が、すでに存在します。

**理由 :**

同じルール名とファイル構造クラス名を持ったルール例外が、CCA サーバに存在します。

**アクション :**

選択リストから既存のルールを削除し、他のルールを追加します。

CCA-RE-1642

サーバ <servername> でカスタム スクリプト <scriptname> を実行するときにエラーが発生しました。

**理由 :**

考えられる理由は以下のとおりです。

- カスタム スクリプトの構文が正しくありません。
- カスタム スクリプトで使用されている変数が正しくないか、または解決されません。

**Action:**

スクリプトで使用されている構文と変数を確認します。

CCA-RE-1641

ルール例外には、1つ以上のサーバまたはサービスが必要です。

**理由 :**

ルールを作成するには、サーバまたはサービスを選択します。

**アクション :**

サーバまたはサービスがルール例外に追加されたことを確認します。

## ルール エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でルール操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-RL-2509

ブループリント <blueprintname> によって定義されたルールの取得に失敗しました

**理由:**

SDK を使用してブループリントに定義された結果を取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## ルール グループ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でルール グループ操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-RG-1604

ルール グループ <groupname> はすでに存在します。

**理由:**

同じ名前 <groupname> のルール グループがすでに存在します。

**アクション:**

ルール グループ名が一意であることを確認します。ルール グループの追加または更新時に別の名前を指定します。

## ルール グループ エラー メッセージ

### [CCA-RG-1606](#)

**名前が必要です。**

**理由:**

サーバ グループの作成または更新時にルール グループ名が指定されていません。

**アクション:**

ルール グループ名を指定します。

### [CCA-RG-1619](#)

ルール グループを削除できません。1 つ以上の管理プロファイルで使用されています。

**理由:**

ルール グループが 1 つ以上の管理プロファイルで使用されています。

**アクション:**

ルール グループの削除操作を実行する前に、ルール グループがいずれの管理プロファイルも使用していないことを確認します。

### [CCA-RG-1620](#)

ルール グループを削除できません。1 つ以上のコンプライアンス ジョブで使用されています。

**理由:**

ルール グループが 1 つ以上のコンプライアンス ジョブで使用されています。

**アクション:**

ルール グループの削除操作を実行する前に、ルール グループがいずれのコンプライアンス ジョブも使用していないことを確認します。

## CCA-RG-1622

ルール <rulename> はすでに存在します。

理由:

同じ名前 <rulename> のルールがすでに存在します。

アクション:

ルール名が一意であることを確認します。 ルールの追加または更新時に別の名前を指定します。

## 修復ジョブ エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で修復ジョブを実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-RJ-8002

修復ジョブ名が必要です。

理由:

修復ジョブ名が指定されていません。

アクション:

修復ジョブ名を指定します。

### CCA-RJ-8003

この操作を実行するために 1 つ以上の修復ジョブを選択してください。

理由:

修復ジョブ操作の実行または削除を実行する対象の修復ジョブ操作が選択されていません。

アクション:

1 つ以上の修復ジョブを選択します。

### CCA-RJ-8014

修復ジョブ <jobname> はすでに存在します。

理由:

修復ジョブ <jobname> はすでに存在します。

アクション:

修復ジョブ <jobname> に新しい名前を指定します。

### CCA-RJ-8020

サーバ <server> が修復ジョブ <jobname> にすでに存在します

理由:

<server> が修復ジョブにすでに存在します。

アクション:

この <server> は修復ジョブにすでに存在するので、この <server> を再度含めないでください。

### CCA-RJ-8022

サーバ グループ <servergroup> が修復ジョブ <jobname> にすでに存在します

理由:

<servergroup> が修復ジョブにすでに存在します。

アクション:

この <servergroup> は修復ジョブにすでに存在するので、この <servergroup> を再度含めないでください。

CCA-RJ-8024

サービス <service> が修復ジョブ <jobname> にすでに存在します

理由:

サービス <service> が修復ジョブにすでに存在します。

アクション:

<service> は修復ジョブにすでに存在するので、<service> を再度含めないでください。

CCA-RJ-8026

修復ジョブ <jobname> からのサーバの削除が失敗しました。エラー メッセージ  
- <error>

理由:

修復ジョブから <server> を削除するときにエラーが発生しました。

アクション:

CCA 管理者または CCA アーキテクトとして CA Configuration Automation に  
ログインして、操作を実行します。必要に応じて、CA Technologies のテク  
ニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-RJ-8027

修復ジョブ <jobname> からのサーバグループの削除が失敗しました。エラー  
メッセージ - <error>

理由:

修復ジョブから <servergroup> を削除するときにエラーが発生しました。

アクション:

CCA 管理者または CCA アーキテクトとして CA Configuration Automation に  
ログインして、操作を実行します。必要に応じて、CA Technologies のテク  
ニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-RJ-8028

修復ジョブ <jobname> からのサービスの削除が失敗しました。エラー メッセージ - <error>

理由:

修復ジョブから <services> を削除するときにエラーが発生しました。

アクション:

CCA 管理者または CCA アーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、操作を実行します。必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

CCA-RJ-8029

ユーザに、修復ジョブ <jobname> をスケジュールする権限がありません。エラー メッセージ - <error>

理由:

修復ジョブの既存のスケジュールを削除する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、修復ジョブ <jobname> の既存のスケジュールを削除します。

## CCA-RJ-8031

ユーザに、修復ジョブ <jobname> をスケジュールする権限がありません。エラー メッセージ - <error>

理由:

修復ジョブを実行またはスケジュールする権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、修復ジョブ <jobname> を実行またはスケジュールします。

## CCA-RJ-8057

修復ジョブ <jobname> の通知が失敗しました。エラー メッセージ - <error>

理由:

修復ジョブの実行後に通知を送信する際にエラーが発生しました。

アクション:

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] ページで、"mail.to"、"mail.from"、"mail.server" プロパティが正しく設定されていることを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-RJ-8058

修復履歴の取り消し <jobname> の通知が失敗しました。エラー メッセージ - <error>

理由:

修復の取り消しジョブの実行後に通知を送信する際にエラーが発生しました。

アクション:

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] ページで、"mail.to"、"mail.from"、"mail.server" プロパティが正しく設定されていることを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-RJ-8059

修復履歴の再実行 <jobname> の通知が失敗しました。エラー メッセージ -  
<error>

理由:

修復ジョブの再実行後に通知を送信する際にエラーが発生しました。

アクション:

[環境管理] - [構成] - [プロパティ] ページで、"mail.to"、"mail.from"、"mail.server" プロパティが正しく設定されていることを確認します。必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

CCA-RJ-8067

修復ジョブ/修復履歴の取得中にエラーが発生しました。

理由:

SDK を使用して修復ジョブまたは履歴を取得中に例外が発生しました。

アクション:

例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。セキュリティ違反例外が発生している場合は、ログインユーザ権限を確認します。または、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

CCA-RJ-8071

修復ジョブは失敗して終了しました。

理由:

修復ジョブ <jobname> が失敗して終了しました。

アクション:

[ログ] タブで、失敗の原因となった対応する操作ログの詳細を確認します。

## CCA-RJ-8075

スケジュールが失敗したため、修復ジョブ <jobname> を作成できません。エラー メッセージ - <error>

**理由:**

修復ジョブの作成時にスケジューリング エラーが発生しました。

**アクション:**

エラー メッセージが「指定された時間がすでに経過しています。スケジュールはトリガされません。」と同様の場合は、スケジュールを修正して、修復ジョブ <jobname> の作成を終了します。その他のエラーについては、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-RJ-8076

スケジュールが失敗したため、修復ジョブ <jobname> を更新できません。エラー メッセージ - <error>

**理由:**

修復ジョブの更新時にスケジューリング エラーが発生しました。

**アクション:**

エラー メッセージが「指定された時間がすでに経過しています。スケジュールはトリガされません。」と同様の場合は、スケジュールを修正して、修復ジョブ <jobname> の更新を終了します。その他のエラーについては、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-RJ-8084

修復ジョブの追加/更新中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用して修復ジョブ <jobname> を追加または更新中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-RJ-8085

修復プロファイル UUID が必要です。

理由:

SDK を使用して修復ジョブを追加または更新するには、修復プロファイル UUID が必要です。

アクション:

SDK を使用して修復ジョブを作成または更新する際に、修復プロファイル UUID を使用します。

CCA-RJ-8086

修復ジョブの削除中にエラーが発生しました。

理由:

SDK を使用して修復ジョブ <jobname> を削除中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-RJ-8087

1 つ以上の修復ジョブで使用されているため、プロファイルを削除できません。

理由:

1 つ以上の修復ジョブで使用されているため、修復プロファイルを削除できません。

アクション:

ほかの修復プロファイルを使用するように修復ジョブを更新してから、プロファイルを削除します。

CCA-RJ-8088

修復ジョブ名が長すぎます。

理由:

ジョブ名が [ジョブ名] 列の長さを超えていました。

アクション:

ジョブ名の長さが 200 を超えないようにします。

## 修復プロファイル エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で修復プロファイル操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-RP-1003

修復プロファイル <profilename> はすでに存在します。

理由:

修復プロファイル <profilename> はすでに利用可能です。

アクション:

一意の修復プロファイル名を指定します。

CCA-RP-1010

修復プロファイル ステップ <stepname> はすでに存在します。

理由:

修復プロファイル ステップ <profilestep> はすでに利用可能です。

アクション:

一意の修復プロファイルステップ名を指定します。

## 修復履歴警告メッセージ

---

### CCA-RP-1028

新規レジストリ名が必要です。

**理由:**

ジョブステップを追加する際には新規レジストリ名が必要です。

**アクション:**

新規レジストリ名を指定します。

### CCA-RP-1035

修復プロファイル <profilename> が見つかりません。

**理由:**

修復プロファイルのコンテキスト起動の実行中に、<profilename> が存在していません。プロファイルが削除されているか、または誤ったプロファイル名が指定されています。

**アクション:**

CCA に存在するプロファイル名を指定します。

## 修復履歴警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で修復履歴操作を実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-RH-1001

この操作を実行するために 1 つ以上の修復履歴レコードを選択してください。

**理由:**

修復履歴が選択されていません。

**アクション:**

1 つ以上の修復履歴を選択します。

## リモート エージェント インストール エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でリモート エージェント インストールを実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-RI-1411

リモート エージェント インストールが失敗しました。エラー メッセージ: リモート エージェント インストールがタイムアウトしました。インストール プロセスが応答していません。

理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- リモート エージェント インストールの実行中にターゲット サーバとの通信が切断された
- ネットワーク 遅延により、エージェント ビルドによるターゲット サーバでのコピーに時間がかかるており、指定された時間内に応答が CA Configuration Automation サーバに到達していない

アクション:

ネットワーク 設定を確認します。CA Configuration Automation サーバとエージェントをインストールする必要があるターゲット マシンの間で通信が正しく行われていることを確認します。

### CCA-RI-1412

リモート エージェント インストールが失敗しました。エラー メッセージ: リモート インストール処理がタイムアウトしました。リモート システム上に Java VM が存在しないことが原因として考えられます。アクセス プロファイルで 'JVM のインストール' オプションを 'はい' に設定して、インストールを再実行してみてください。

#### 理由:

Java 仮想マシンがターゲット マシン上で利用できないか、または "PATH" 環境変数に Java 仮想マシンが含まれていません。

#### アクション:

システム PATH 変数に JAVA\_HOME\bin ディレクトリを追加します（まだ追加されていない場合）。JAVA\_HOME 変数が有効な Java 仮想マシンを指していることを確認します。

### CCA-RI-1413

リモート エージェント インストールが失敗しました。エラー メッセージ: OS プラットフォームがリモート エージェント インストールでサポートされていません。

#### 理由:

CA Configuration Automation が、リモート エージェント インストールが試行されているターゲット マシンのオペレーティング システム プラットフォームをサポートしていません。

#### アクション:

CA Configuration Automation がターゲット マシンのオペレーティング システムをサポートしていることを確認します。サポートされている エージェント プラットフォームの詳細については、「リリース ノート」を参照してください。

CCA-RI-1416

アカウント プロファイル <AccessProfileName> で 'システム アカウント' が指定されていません。リモート エージェントのインストールでは、'システム アカウント' が必要です。

**理由:**

ターゲット サーバに割り当てられているアクセス プロファイルの [システム アカウント] フィールドが空です。

**アクション:**

[システム アカウント] フィールドを確認します。アクセス プロファイルの [システム アカウント] フィールドにターゲット マシンの有効なユーザ名を指定し、インストールを再試行します。

CCA-RI-1417

アカウント プロファイル <AccessProfileName> で 'システム パスワード' が指定されていません。リモート エージェントのインストールでは、'システム パスワード' が必要です。

**理由:**

ターゲット サーバに割り当てられているアクセス プロファイルの [システム パスワード] フィールドが空です。

**アクション:**

アクセス プロファイルの [システム パスワード] テキスト フィールドを確認します。ターゲット マシンの有効なパスワードを指定し、インストールを再試行します。

### CCA-RI-1418

リモート エージェント インストールが失敗しました。エラー メッセージ: Java VM がリモート システムの PATH 環境変数に見つかりませんでした。アクセス プロファイルで指定されたユーザについて、リモート システム上の Java VM が PATH 環境変数に見つかるようにしてください。

#### 理由:

Java 仮想マシンがターゲット マシン上で利用できないか、または PATH 環境変数に Java 仮想マシンが含まれていません。

#### アクション:

システム PATH 変数に JAVA\_HOME¥bin ディレクトリを追加します（まだ追加されていない場合）。JAVA\_HOME 変数が有効な Java 仮想マシンを指していることを確認します。

### CCA-RI-1419

リモート エージェント インストールが失敗しました。エラー メッセージ: リモート システムに見つかった Java VM バージョン <version> は最小要件を満たしていません。アクセス プロファイルで 'JVM のインストール' オプションを 'はい' に設定して、インストールを再実行してみてください。

#### 理由:

リモート エージェント インストールを行うには、1.4.2 以降の Java バージョンが必要です。ターゲット マシンの Java バージョンが 1.4.2 より前のバージョンの場合、このエラー メッセージがスローされます。

#### アクション:

バージョン 1.4.2 以降の Java 仮想マシンをターゲット マシンにインストールし、リモート エージェント インストールを再試行します。

### CCA-RI-1420

リモート エージェント インストールが失敗しました。エラー メッセージ：グリッド ノード <Grid Node Name> 上で <PlatformName> プラットフォーム用のエージェント インストーラ <InstallerFileName> が見つかりませんでした。サーバ/グリッド ノードのインストール中に、無効またはアクセス不可能なディレクトリが指定された可能性があります。

#### 理由：

考えられる理由は以下のとおりです。

- CA Configuration Automation サーバのインストール時にエージェント インストーラ ディレクトリが指定されていない。
- 現在、エージェント インストーラ ディレクトリにアクセスできない。

#### アクション：

CA Configuration Automation サーバの <CCA Server Install path>¥Agent\_Installers ディレクトリを確認します。それぞれのプラットフォームのエージェント インストーラが利用可能か、またはアクセス可能かを確認します。リモート エージェント インストールが動作するためには、<CCA Server Install path>¥Agent\_Installers ディレクトリにすべてのエージェント インストーラが含まれている必要があります。

### CCA-RI-1421

エージェントをリモートでインストールできません。ターゲット サーバにエージェント インストーラを配置できません

#### 理由：

ユーザの権限不足のために SFTP セッションの確立中に問題が発生したか、またはターゲット マシンの SFTP サブシステムで問題が発生しています。

#### アクション：

アクセス プロファイルで指定されているユーザが、SFTP を介してターゲット マシンにファイルをコピーできることを確認します。

### CCA-RI-1422

エージェントをリモートでインストールできません。ターゲット サーバへの SSH 接続を確立できません

**理由:**

CA Configuration Automation サーバからターゲット サーバへの SSH 接続が機能していません。

**アクション:**

アクセス プロファイルで指定されているユーザが、SSH を使用してターゲット マシンに接続できることを確認します。

### CCA-RI-1423

エージェントをリモートでアンインストールできません。ターゲット サーバでエージェントのアンインストールを実行できません

**理由:**

ユーザの権限不足のために SFTP セッションの確立中に問題が発生したか、またはターゲット マシンの SFTP サブシステムで問題が発生しています。

**アクション:**

アクセス プロファイルで指定されているユーザが、SFTP を介してターゲット マシンにファイルをコピーできることを確認します。

### CCA-RI-1424

エージェントをリモートでアンインストールできません。ターゲット サーバへの SSH 接続を確立できません

**理由:**

CCA サーバからターゲット サーバへの SSH 接続が機能していません。

**アクション:**

アクセス プロファイルで指定されているユーザが、SSH を使用してターゲット マシンに接続できることを確認します。

### CCA-RI-1425

インストールは正常に完了しましたが、リモート エージェントのインストール中にサーバ <ServerName> へのテスト サーバ操作が失敗しました。

#### 理由:

エージェント アクセス プロファイルで指定されているポートが使用中か、またはターゲット マシンで実行されているファイアウォールがエージェントへの受信リクエストをブロックしています。

#### アクション:

ファイアウォールを確認します。ファイアウォールの設定で、エージェント ポートが正しく設定されていることを確認します。

### CCA-RI-1426

サーバ <ServerName> でのリモート エージェントのアンインストールが失敗しました。エラー: リモート システムにエージェントが検出されませんでした。

#### 理由:

ターゲット マシンにエージェントがインストールされていないか、またはリモート エージェント インストールの実行中に正しくないアクセス プロファイルがサーバに割り当てられている可能性があります。

#### アクション:

エージェントをアンインストールするサーバに、アクセス プロファイルが正しく割り当てられていることを確認します。

### CCA-RI-1427

サーバ <ServerName> でリモート エージェント インストールが失敗しました。ログオン失敗: 不明なユーザ名または不正なパスワードです。

#### 理由:

アクセス プロファイルで指定されている正しくないユーザ名またはパスワードが、ターゲット サーバに割り当てられています。

#### アクション:

アクセス プロファイルに有効なユーザ名またはパスワードを指定し、操作を再試行します。

### CCA-RI-1428

サーバ <ServerName> でリモート エージェント インストールが失敗しました。ポート番号がすでに使用されています。

#### 理由:

アクセス プロファイルで指定されているポート番号が、ターゲット マシンですでに使用されています。

#### アクション:

アクセス プロファイル内のポート番号を別の値に変更し、操作を再試行します。

CCA-RI-1429

サーバ <ServerName> でリモート エージェント インストールが失敗しました。  
ポート番号が無効です。

**理由:**

アクセス プロファイルで指定されているポート番号が無効です。

**アクション:**

アクセス プロファイル内のポート番号を有効な番号に変更します。利用可能なポート番号は 1024 より大きい番号である必要があります。

CCA-RI-1430

サーバ <ServerName> でリモート エージェント インストールが失敗しました。より新しいバージョンのエージェントがすでにインストールされています。古いバージョンをインストールするには、インストール済みのバージョンを先にアンインストールしてください。

**理由:**

新しいバージョンのエージェントがターゲット マシンにインストールされています。

**アクション:**

古いバージョンを手動でアンインストールし、操作を再試行します。

## [リモート エージェント インストール エラー メッセージ](#)

---

### [CCA-RI-1431](#)

サーバ <ServerName> でリモート エージェント インストールが失敗しました。インストール先が無効です。

#### **理由:**

アクセス プロファイルで指定されているインストール場所がターゲット マシンに存在しません。

#### **アクション:**

ターゲット マシンで利用可能およびアクセス可能な有効なインストール 場所を指定します。

### [CCA-RI-1432](#)

サーバ <ServerName> でリモート エージェント インストールが失敗しました。次の場所に十分なディスク容量がありません: <Install Location>

#### **理由:**

アクセス プロファイルで指定されているインストール ディレクトリに十分な空き容量がありません。

#### **アクション:**

アクセス プロファイルで指定されているインストール ディレクトリに、エージェント インストール用の十分な空き容量があることを確認します。

CCA-RI-1433

リモート エージェント インストールが失敗しました。エラー メッセージ: Java VM がリモート システムに見つかりましたが、インストーラの要件を満たしていません。アクセス プロファイルで 'JVM のインストール' オプションを 'はい' に設定して、インストールを再実行してみてください。

理由:

エージェント インストーラにより、installAnywhere と互換性のある Java 仮想マシンのバージョンがチェックされます。Java 仮想マシンと installAnywhere との非互換性が検出されると、エラーがスローされます。

アクション:

ターゲット マシンの Java 仮想マシンを、エージェント インストーラと互換性のある有効な Java 仮想マシンに変更します。Java 仮想マシンのバージョンは 1.4.2 以降である必要があります。

CCA-RI-1434

ホストで提供されたパスワードで <username> を認証できませんでした

理由:

アクセス プロファイルで指定されているユーザ パスワードが正しくありません。

アクション:

正しいパスワードを指定し、操作を再試行します。

### CCA-RI-1435

アクセス プロファイル<アクセス プロファイル名前>は、インストール ディレクトリで指定した環境変数 <Variable 名> を指定します。しかし、この変数値を、サーバ<ターゲット サーバ名>に解決できませんでした。

環境変数がターゲット サーバで定義されていることを確認してください。

#### 理由:

リモート エージェントをターゲット サーバにインストールする前に、アクセス プロファイルに記述されている環境変数が解決されます。環境変数がターゲット マシンで定義されていない場合、リモート エージェント のインストールは失敗します。

#### アクション

アクセス プロファイルに記述されている環境変数がターゲット サーバで定義されていること、およびその環境変数がリモート エージェントのインストール プロセスで使用できることを確認します。

## レポート エラー メッセージ

このセクションでは、レポート操作の実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-RT-6011

レポート名が必要です。

#### 理由:

レポートの作成、更新、または実行中にレポート名が指定されていません。

#### アクション:

レポート名を指定します。

CCA-RT-6019

ユーザは、以下の操作を行う権限がありません: <operation>。

理由:

インスタンスの所有者のみレポート インスタンスの共有または共有解除ができます。

アクション:

レポート インスタンスの所有者として CA Configuration Automation にログインして、レポート インスタンスを共有または共有解除します。

CCA-RT-6020

現在のステータスが含まれる以下のレポート インスタンスを表示できません: <currentstatus>。

理由:

現在のステータスが失敗のレポート インスタンスは表示できません。

アクション:

ステータスが完了のレポート インスタンスをクリックします。

CCA-RT-6023

レポート パラメータが無効です。管理者にお問い合わせください。

理由:

コンテキスト内起動 URL に無効なパラメータが指定されています。

アクション:

有効なレポート インスタンス ID および形式を指定します。

### CCA-RT-6025

選択したレポートの一部でタスクのサブミットが失敗しました。詳細については [ログ] タブを参照してください。

**理由:**

考えられる例外はセキュリティ違反です。

**アクション:**

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、保存済みのレポートを実行します。

### CCA-RT-6031

日付範囲が無効です。

**理由:**

[日付範囲] フィールドが空です。

**アクション:**

[日付範囲] フィールドに数値を入力します。

### CCA-RT-6032

サービスが必要です

**理由:**

レポートの作成、更新、または実行中にサービス データが指定されていません。

**アクション:**

サービス データを指定します。

CCA-RT-6033

**サーバが必要です。**

**理由:**

レポートの作成、更新、または実行中にサーバデータが指定されていません。

**アクション:**

サーバデータを指定します。

CCA-RT-6034

**検索テキストが必要です。**

**理由:**

パターン検索サービス レポートの作成、更新、または実行中に検索テキストが指定されていません。

**アクション:**

検索テキストを指定します。

CCA-RT-6035

**ブループリントが必要です。**

**理由:**

ルール定義ブループリント レポートの作成、更新、または実行中にブループリント名が指定されていません。

**アクション:**

ブループリント名を指定します。

## レポート エラー メッセージ

---

### CCA-RT-6037

パスワードと確認用パスワードが一致する必要があります。

**理由:**

デスティネーション フォルダのパスワードと確認用パスワードの値が一致していません。

**アクション:**

パスワードと確認用パスワードの値を一致させます。

### CCA-RT-6038

サーバが必要です。

**理由:**

レポートの作成、更新、または実行中に [ターゲット] タブまたは [デスティネーション] タブにサーバデータが指定されていません。

**アクション:**

サーバ名を指定します。

### CCA-RT-6039

パスが必要です

**理由:**

[デスティネーション] タブの [パス] フィールドが空です。

**アクション:**

レポート結果ファイルがコピーされる場所のパスを指定します。

CCA-RT-6040

**ファイル名が必要です**

**理由:**

[デスティネーション] タブの [ファイル名] フィールドが空です。

**アクション:**

レポート結果ファイルを作成するために使用されるファイル名を指定します。

CCA-RT-6042

**パスワードが必要です。**

**理由:**

レポートの実行または保存の過程で、[デスティネーション] タブでパスワードが指定されていません。

**アクション:**

パスワードを指定してください。

CCA-RT-6041

**ユーザまたはログインが必要です。**

**理由:**

[デスティネーション] タブの [ユーザ] または [ログイン] フィールドが空です。

**アクション:**

ユーザ名を指定します。

## レポート エラー メッセージ

---

### CCA-RT-6043

パスワードと確認用パスワードが一致する必要があります。

理由:

デスティネーション フォルダのパスワードと確認用パスワードが一致していません。

アクション:

パスワードと確認用パスワードの値を一致させます。

### CCA-RT-6046

レポート <reportname> はすでに存在します。

理由:

<reportname> がすでに存在します。

アクション:

新しい保存済みレポートを作成する際に別のレポート名を指定します。

CCA-RT-6047

レポートインスタンスの取得が失敗しました。- <errormessage>

**理由:**

考えられる理由は以下のとおりです。

- [CCA Properties] タブの [BO group] 内の以下のプロパティに無効な値が設定されています。
  - http.port
  - http.server
  - admin.user
  - admin.password
- CABI サーバがインストールされているセントラル設定マネージャの下でサービスが実行されていない。
- CA Configuration Automation から CABI サーバへの接続が確立されていない。

**アクション:**

- 以下のプロパティに正しい値が設定されていることを確認します。
  - http.port
  - http.server
  - admin.user
  - admin.password
- セントラル設定マネージャの下のサービスがすべて実行されていることを確認します。
- また、Universe Designer で CCA から CABI サーバへのテスト接続を確認し、サーバが CCA アプリケーションに応答していることを確認します。サーバが応答していない場合は、CABI 管理者にお問い合わせください。

## レポート エラー メッセージ

---

CCA-RT-6052

スナップショットが必要です

理由:

レポートの作成、更新、または実行中に、 [ターゲット] タブでスナップショットが選択されていません。

アクション:

[ターゲット] タブでスナップショットを選択します。

---

CCA-RT-6053

レポート <reportname> の実行が失敗しました。- <errormessage>

理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- 以下のプロパティに無効な値が設定されている。
  - http.port
  - http.server
  - admin.user
  - admin.password
- CABI サーバがインストールされているセントラル設定マネージャの下でサービスが実行されていない。
- CCA から CABI サーバへの接続が確立されていない。

アクション:

- 以下のプロパティに正しい値が設定されていることを確認します。
  - http.port
  - http.server
  - admin.user
  - admin.password
- セントラル設定マネージャの下のサービスがすべて実行されていることを確認します。
- Universe Designer で CA Configuration Automation から CABI サーバへのテスト接続を確認します。
- サーバが CA Configuration Automation アプリケーションに応答していることを確認します。サーバが応答していない場合は、CABI 管理者にお問い合わせください。

CCA-RT-6058

レポート <reportname> が保存されましたが、レポートのスケジュールは失敗しました。 - <errormessage>

**理由:**

指定されたスケジュール時刻を過ぎました。スケジュールはトリガされません

**アクション:**

スケジュール時刻を変更し、スケジュール時刻が現在の時刻よりも後であることを確認します。

CCA-RT-6061

ソース サーバが必要です。

**理由:**

レポートの実行、作成、または更新時に、[ターゲット] タブでソース サーバが選択されていません。

**アクション:**

[ターゲット] タブでソース サーバを選択します。

CCA-RT-6063

ターゲット サーバが必要です。

**理由:**

レポートの実行、作成、または更新時に、[ターゲット] タブでターゲット サーバが選択されていません。

**アクション:**

[ターゲット] タブでターゲット サーバを選択します。

## CCA-RT-6066

タイプ <reporttype> のレポート <reportname> を追加中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用してレポートを追加中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-RT-6067

レポート <reportname> を削除中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用して保存済みレポート <reportname> を削除中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-RT-6068

レポート <reportname> を取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用して保存済みレポート <reportname> を取得中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-RT-6069

レポートを取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用して保存済みレポート <reportname> を取得中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-RT-6070

レポート <reportname> を更新中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用して保存済みレポート <reportname> を更新中に例外が発生しました。

アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-RT-6071

修復ジョブが必要です。

理由:

修復ジョブ（サービス）レポートの作成、更新、または実行中に修復ジョブが選択または指定されていません。

アクション:

修復ジョブを指定または選択します。

CCA-RT-6072

サーバまたはサーバ グループが必要です。

理由:

ルール コンプライアンス サーバ レポートの作成、更新、または実行中にサーバまたはサーバ グループが選択または指定されていません。

アクション:

サーバまたはサーバ グループを指定または選択します。

CCA-RT-6073

ドメイン名が必要です。

理由:

サーバ ドメイン メンバシップ レポートの作成、更新、または実行中にドメイン名が選択または指定されていません。

アクション:

ドメイン名を指定または選択します。

CCA-RT-6074

パッチ名が必要です。

理由:

サーバ パッチ配布 レポートの作成、更新、または実行中にパッチ名が選択または指定されていません。

アクション:

パッチ名を指定または選択します。

### CCA-RT-6078

スケジュール済みレポート <reportname> の実行が失敗しました。 -  
<errormessage>。

#### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- [CCA Properties] タブの [BO group] 内の以下のプロパティに無効な値が設定されています。
  - http.port
  - http.server
  - admin.user
  - admin.password
- CABI サーバがインストールされているセントラル設定マネージャでサービスが実行されていない。
- CA Configuration Automation から CABI サーバへの接続が確立されていない。

#### アクション:

- 以下のプロパティに有効な値が設定されていることを確認します。
  - http.port
  - http.server
  - admin.user
  - admin.password
- セントラル設定マネージャの下のサービスがすべて実行されていることを確認します。
- また、Universe Designer で CA Configuration Automation から CABI サーバへのテスト接続を確認します。
- サーバが CA Configuration Automation アプリケーションに応答していることを確認します。サーバが応答していない場合は、CABI 管理者にお問い合わせください。

[CCA-RT-6082](#)

"\"開始日\" が入力された場合は \"終了日\" が必要です。"

**理由:**

SDK を使用してレポートを作成、更新、または実行する際に [開始日] は指定されていますが、 [終了日] が指定されていません。

**アクション:**

[開始日] と [終了日] を指定します。

[CCA-RT-6083](#)

"\"終了日\" が入力された場合は \"開始日\" が必要です。"

**理由:**

SDK を使用してレポートを作成、更新、または実行する際に [終了日] は指定されていますが、 [開始日] が指定されていません。

**アクション:**

[終了日] と [開始日] の値を指定します。

[CCA-RT-6084](#)

"[終了日] は [開始日] 以降である必要があります"

**理由:**

SDK を使用してレポートを作成、更新、または実行する際に、 [終了日] の値が [開始日] の値よりも前になっています。

**アクション:**

[終了日] の値が [開始日] の値の以降であることを確認します。

## レポート エラー メッセージ

---

### CCA-RT-6088

コンポーネントが必要です。

理由:

コンポーネント詳細サーバ レポートまたはコンポーネント詳細サービス レポートの作成、更新、または実行中に、コンポーネントが指定または選択されていません。

アクション:

コンポーネントデータを指定または選択します。

### CCA-RT-6089

レポート名が長すぎます。

理由:

レポート名の長さが 200 を超えています。

アクション:

レポート名の長さが 200 以下であることを確認します。

### CCA-RT-6090

コンポーネントが見つからないか、または存在しません。

理由:

コンポーネント詳細サーバまたはサービス レポートの実行中に、コンポーネントが削除されているか、または存在していません。

アクション:

指定したコンポーネントが対応するサーバまたはサービスに存在することを確認します。

CCA-RT-6091

ブループリント、ブループリント カテゴリ、またはブループリント グループが必要です。

**理由:**

ブループリント ソースの詳細レポートの作成、更新、または実行中にブループリント、ブループリント カテゴリ、またはブループリント グループが選択されていません。

**アクション:**

ブループリント、ブループリント カテゴリ、またはブループリント グループを選択します。

CCA-RT-6097

選択したレポートに関する問題があり、ロードできません。別のレポートを選択してください。

**理由:**

選択したレポートをロードできません。

**アクション:**

別のレポートを選択します。

CCA-RT-6098

パスワードの再入力が必要です。

**理由:**

レポートの実行または保存の過程で、[デスティネーション] タブの [パスワードの再入力] フィールドにパスワードが指定されていません。

**アクション:**

[パスワードの再入力] フィールドに確認用のパスワードを入力してください。

## スクリプト エラー メッセージ

---

### CCA-RT-6099

ターゲット サーバまたはターゲット サーバ グループが必要です。

理由:

これは通知目的です。

Action:

ターゲット サーバまたはターゲット サーバ グループを指定または選択します。

## スクリプト エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でスクリプト操作を実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

### CCA-SE-1004

スクリプト <scriptname> はすでに存在します。

理由:

<scriptname> と同じ名前を持つスクリプトはすでに存在します。

Action:

スクリプト名が一意であることを確認します。スクリプトの追加または更新時に別の名前を指定します。

### CCA-SE-1006

名前が必要です。

理由:

スクリプトの作成または更新時にスクリプト名が指定されていません。

Action:

スクリプト名を指定します。

CCA-SE-1008

スクリプトが必要です。

理由:

スクリプト エディタで検証ボタンまたは実行ボタンをクリックしたときに、スクリプトが指定されていませんでした。

Action:

スクリプト エディタで検証ボタンまたは実行ボタンをクリックする前に、スクリプト テキスト ボックスにスクリプトが指定されていることを確認します。

CCA-SE-1010

スクリプトの解析時に例外が発生しました。

理由:

スクリプトの作成または更新時にスクリプトは正しく指定されています。

Action:

スクリプトを更新します。

CCA-SE-1011

修復の取り消しスクリプトを選択するには、修復スクリプトが必要です。

理由:

修復スクリプトが選択されていない状態で、修復の取り消しスクリプトが選択されています。

Action:

修復の取り消しスクリプトを選択する前に、修復スクリプトを指定します。

### CCA-SE-1012

無効な変数名です。グローバル変数またはコンポーネントのパラメータで定義された変数であるかどうかを確認します。

#### 理由:

解決できない、グローバル変数またはコンテキスト変数への参照がスクリプトに含まれています。

#### Action:

変数がグローバル変数である場合は、その変数がグローバル変数で定義されていることを確認します。変数がコンテキスト変数である場合は、正常に解決されるように、適切なオブジェクト（ファイル/レジストリ/サービス/グループ ポリシー）で定義されたルールにスクリプトが割り当てられていることを確認します。

### CCA-SE-1017

スクリプトを削除できません。スクリプトは 1 つ以上のルールで使用されています。

#### 理由:

スクリプトを削除できません。スクリプトは 1 つ以上のルールで使用されています。

#### Action:

いずれのルールもこのスクリプトを使用していないことを確認してから、操作を実行します。

## CCA-SE-1023

スクリプト <scriptname> 用の XML をファイルストリームに書き込み中にエラーが発生しました。

### 理由:

パーサ <scriptname> 用の XML をファイルストリームに書き込み中にエラーが発生しました。

### Action:

以下を実行します。

- ファイルシステムに書き込むための必要な権限を持っていることを確認する。
- システムには十分な空きディスク容量があることを確認する。

必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-SE-1024

スクリプト <scriptname> 用の XML をファイルストリームに書き込み中に IO エラーが発生しました。

### 理由:

パーサ <scriptname> 用の XML をファイルストリームに書き込み中に IO エラーが発生しました。

### Action:

以下を実行します。

- ファイルシステムに書き込むための必要な権限を持っていることを確認する。
- システムには十分な空きディスク容量があることを確認する。

必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-SE-1026

スクリプトのエクスポート中にセキュリティ違反エラーが発生しました。

理由:

この操作を実行する権限がありません。

Action:

管理者として CA Configuration Automation にログインします。

CCA-SE-1033

グローバル変数またはコンテキスト変数を含むスクリプトを実行できません。

理由:

スクリプトには値に解決されないグローバル変数またはコンテキスト変数があります。したがって、サーバ上で直接実行することができません。

Action:

スクリプトを実行する前に、スクリプトエディタ内でグローバル変数またはコンテキスト変数に実際の値を代入します。

CCA-SE-1034

スクリプトを実行するサーバを選択してください。

理由:

スクリプトを実行するサーバが選択されていません。

Action:

ドロップダウンリストから、スクリプトを実行するサーバを選択します。

## SDK エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で SDK 操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-AU-9681

ccautil ジョブのスケジュール中にエラーが発生しました

理由:

SDK scheduleAcutilJob API でのジョブをスケジュールする際に例外が発生しました。

アクション:

セキュリティ違反の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

### CCA-CI-9621

タイプ <Cltype> の項目を取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK API またはコマンドラインユーティリティを使用して CCA から構成アイテム (CI) の詳細を取得中に、例外が発生しました。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

### CCA-CI-9622

タイプ <Cltype> の項目を削除中にエラーが発生しました

理由:

SDK API またはコマンドラインユーティリティを使用して CCA から構成アイテム (CI) の詳細を削除中に、例外が発生しました。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-CI-9624

CI の更新中にエラーが発生しました

理由:

SDK API またはコマンドラインユーティリティを使用して構成アイテム (サーバ/サーバ グループ/サービス) の詳細を更新中に、例外が発生しました。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-CI-9625

渡された値が NULL または無効です

理由:

API を呼び出すために SDK API またはコマンドラインユーティリティに送信された値が NULL または空です。

アクション:

SDK API およびコマンドラインユーティリティ API に有効な引数を渡します。

CCA-CI-9626

サーバの状態が無効です。サーバの追加中は、[新規] または [管理対象] のみが許可されます。

理由:

SDK を使用してターゲットサーバを追加する際に、サーバの状態が [新規] でも [管理対象] でもありません。

アクション:

SDK を使用してターゲットサーバを追加する際に、ターゲットサーバの状態を [新規] または [管理対象] に指定または設定します。

## CCA-OP-9644

SDK 機能が有効ではありません

理由:

[環境管理] タブで、Sdk.enabled フラグは false に設定されています。

アクション:

SDK API を有効にするために、[環境管理] タブで sdk.enabled フラグの値を true に設定します。

## CCA-OP-9645

<discovery/management/refresh> 操作は、管理対象状態のサーバ上でのみ実行できます。

理由:

管理対象状態でないサーバで、ディスカバリ、リフレッシュ、または管理操作を実行しています。

アクション:

サーバの状態を管理対象に変更し、ディスカバリ、リフレッシュ、または管理操作を実行します。

## CCA-RT-9651

レポート ターゲット詳細が必要です。

理由:

カスタマイズ済みレポートを追加または更新する際に、レポート ターゲットの詳細が指定されていません。

アクション:

SDK から addcustomizedreport または updatecustomizedreport API を呼び出す際に、ターゲット（サーバまたはサービス）の詳細を指定します。

CCA-RT-9652

スナップショット日付が必要です。

理由:

指定された日付のスナップショット タイプ [最新スナップショット] に対して、SDK を使用してカスタマイズ済みレポートを追加または更新する際に、ソースまたはターゲットスナップショットの日付が指定されていません。

アクション:

指定された日付のスナップショット タイプ [最新スナップショット] に対して、SDK から add または updatecustomizedreport API を呼び出す際に、ソースまたはターゲットスナップショットの日付を指定します。

CCA-RT-9653

<date> は無効な日付です。指定された日付が MM/DD/YYYY 形式ではありません

理由:

指定された日付のスナップショット タイプ [最新スナップショット] に対して、SDK またはコマンドラインユーティリティ API を使用してカスタマイズ済みレポートを追加または更新する際に、ソースまたはターゲットスナップショットの日付が MM/DD/YYYY 形式で指定されていません。

アクション:

指定された日付のスナップショット タイプ [最新スナップショット] に対して、SDK またはコマンドラインユーティリティ API から add または updatecustomizedreport API を呼び出す際に、ソースまたはターゲットスナップショットの日付を MM/DD/YYYY 形式で指定します。

## CCA-RT-9654

<date> は無効な日付です。指定された日付が MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式ではありません

理由:

SDK またはコマンドラインユーティリティ API を使用してカスタマイズ済みレポートを追加または更新する際に、日付範囲（`fromDate` または `toDate`）が MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定されていません。

アクション:

SDK またはコマンドラインユーティリティ API から `add` または `updatecustomizedreport` API を呼び出す際に、日付範囲を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定します。

## CCA-CR-9671

関係を取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK またはコマンドラインユーティリティ API を使用して、通信関係または構成関係を取得中に例外が発生しました。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-CR-9672

サーバ <servername> のパブリック IP アドレスを取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK API を使用して指定されたサーバのパブリック IP アドレスを取得中に例外が発生しました。

アクション:

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。または、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## [サーバ エラー メッセージ](#)

---

### [CCA-CR-9673](#)

ストレージ システム マネージャ取得中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してストレージ システム マネージャを取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

セキュリティ違反例外の場合は、ユーザ権限を確認します。 CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## [サーバ エラー メッセージ](#)

このセクションでは、CA Configuration Automation でサーバ操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### [CCA-SR-1009](#)

サーバ <servername> はすでに存在します。

**理由:**

サーバ <servername> はすでに利用可能です。

**アクション:**

対処は不要です。

### [CCA-SR-1011](#)

サーバを削除できません。サービス内に存在します。

**理由:**

サーバが 1 つ以上のサービスに存在しています。

**アクション:**

サーバを削除する前に、サービスからサーバを削除します。

CCA-SR-1013

名前または IP アドレスが必要です。

理由:

名前または IP の値が指定されていません。

アクション:

サーバ名または IP アドレスを指定します。

CCA-SR-1017

サーバを追加するには CSV ファイルを選択します。

理由:

CSV ファイルが指定されていません。

アクション:

サーバを追加するための CSV ファイルを選択します。

CCA-SR-1024

同じ名前のサーバまたは IP アドレスがすでにデータベース内に存在します。

理由:

サーバは、データベース内ですでに利用可能です。

アクション:

対処は不要です。

CCA-SR-1047

サーバ <servername> の管理プロファイルの実行が失敗しました。

理由:

割り当てられたアクセス プロファイルを使用してサーバ <servername> への接続を確立できません。

**アクション:**

割り当てられたアクセス プロファイルに正しいアクセス モードおよびその他の必要な値を設定します。 テストサーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

[CCA-SR-1049](#)

ファイルのサーバ追加用の形式が無効です。

**理由:**

CSV ファイルの形式が無効です。

**アクション:**

有効な CSV ファイルを指定します。

[CCA-SR-1053](#)

選択サーバの 1 つ以上がサービスの一部であり、管理対象外にできません。

**理由:**

選択されたサーバの 1 つ以上がサービスの一部です。

**アクション:**

管理対象外操作を実行する前にサービスからサーバを削除します。

[CCA-SR-1054](#)

選択サーバの 1 つ以上がサーバ グループの一部であり、管理対象外にできません。

**理由:**

選択されたサーバの 1 つ以上がサーバ グループの一部です。

**アクション:**

管理対象外にする前にサーバ グループからサーバを削除します。

[CCA-SR-1060](#)

サーバを削除できません。1 つ以上の管理プロファイルで使用されています。

**理由:**

サーバが 1 つ以上の管理プロファイルで使用されています。

**アクション:**

サーバを削除する前に管理プロファイルからそのサーバを削除します。

[CCA-SR-1061](#)

サーバを削除できません。1 つ以上のアクセス プロファイルで使用されています。

**理由:**

サーバが 1 つ以上のアクセス プロファイルで使用されています。

**アクション:**

サーバを削除する前にアクセス プロファイルからそのサーバを削除します。

[CCA-SR-1067](#)

ホスト <hostname> への接続が失敗しました。

**理由:**

ホスト <hostname> に接続できません。

**アクション:**

ホスト <hostname> が ping 可能なことを確認します。

[CCA-SR-1068](#)

<hostname> へのアクセス モード <accessmode> が応答しません。

**理由:**

割り当てられたアクセス モード <accessmode> を使用して、ホスト <hostname> にアクセスできません。

### アクション:

割り当てられたアクセス プロファイルに正しいアクセス モードおよびその他の必要な値を設定します。 テストサーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

## CCA-SR-1069

ホスト <hostname> のテストを試行中にエラーが発生しました。

### 理由:

割り当てられたアクセス モード <accessmode> を使用して、ホスト <hostname> にアクセスできません。

### アクション:

ホスト <hostname> が ping 可能なことを確認します。 割り当てられたアクセス プロファイルに正しいアクセス モードおよびその他の必要な値を設定します。 テストサーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

## CCA-SR-1070

サーバの管理ステータスを更新中にエラーが発生しました。

### 理由:

SDK を使用してサーバの管理ステータスを更新中に例外が発生しました。

### アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。 必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

## CCA-SR-1071

タイプ <profile type> のプロファイルを <CI type> に割り当て中にエラーが発生しました。

### 理由:

SDK を使用して、タイプ <profile type> のプロファイルを <CI type> に割り当て中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-SR-1072](#)

サーバ <servername> の追加中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してサーバ <servername> を追加中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-SR-1073](#)

すべてのサーバを取得中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してすべてのサーバを取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-SR-1074](#)

サーバ <server> の取得中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用して、サーバ名または IP アドレスでサーバ <servername> を取得中に例外が発生しました。

### アクション:

サーバ名または IP アドレスが有効で、CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-SR-1075

UUID <uuid> のサーバの取得中にエラーが発生しました

### 理由:

SDK を使用して UUID <uuid> のサーバを取得中に例外が発生しました。

### アクション:

サーバ UUID <uuid> が有効で、CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-SR-1076

UUID <uuid> のサーバが見つかりません

### 理由:

サーバ <uuid> が CCA に存在していません。

### アクション:

有効なサーバ UUID を指定します。

## CCA-SR-1077

UUID <uuid> のサーバスナップショットの取得中にエラーが発生しました

### 理由:

サーバ UUID<uuid> を使用して、サーバスナップショットを取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

サーバ UUID <uuid> が有効で、CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

**CCA-SR-1078**

サーバ <servername> のサーバ アクティビティの取得中にエラーが発生しました

**理由:**

サーバ <servername> のサーバ アクティビティを取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

**CCA-SR-1079**

エージェントの保護中にエラーが発生しました。

**理由:**

エージェントの保護中に例外が発生しました。

**アクション:**

アクセス モード タイプ [エージェント] または [保護エージェント] が選択されたサーバに割り当てられており、割り当てられたアクセス プロファイルに必要な値が設定されていることを確認します。テスト サーバ 操作のステータスが成功であることを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

**CCA-SR-1088**

OS ファミリーが無効です。

**理由:**

リモート エージェントをインストール中に無効なオペレーティング システムが見つかりました。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

**CCA-SR-1094**

サーバを削除できません。1つ以上のネットワーク プロファイルで使用されています。

**理由:**

サーバが 1つ以上のネットワーク プロファイルで使用されています。

**アクション:**

ネットワーク プロファイルからサーバを削除します。

**CCA-SR-1098**

Network Discovery Gateway を作成中にエラーが発生しました: <error>

**理由:**

Network Discovery Gateway サービスが実行されていないか、または互換性のない Network Discovery Gateway のバージョンが検出されました。

**アクション:**

互換性のある Network Discovery Gateway のバージョンのサービスが実行されていることを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

**CCA-SR-1102**

不正な形式のエクスポート ファイルです - サーバ名が見つかりません。

**理由:**

サーバをインポートするために、破損した JAR ファイルが使用されています。

**アクション:**

CA Configuration Automation からエクスポートした元の JAR ファイルを使用して、サーバをインポートします。

**CCA-SR-1109**

Network Discovery Gateway <ndgservername> が、現在 1 つ以上のサーバに割り当てられます。

**理由:**

1 つ以上のサーバに割り当てられている Network Discovery Gateway <ndgservername> を削除しようとしています。

**アクション:**

Network Discovery Gateway <ndgservername> がいずれのサーバにも割り当てられていないことを確認します。 Network Discovery Gateway <ndgservername> を削除する前に、別の Network Discovery Gateway をすべてのサーバに割り当てます。

**CCA-SR-1110**

Network Discovery Gateway <ndgservername> が、現在 1 つ以上のネットワークプロファイルに割り当てられます。

**理由:**

1 つ以上のネットワーク プロファイルに割り当てられている Network Discovery Gateway <ndgservername> を削除しようとしています。

**アクション:**

Network Discovery Gateway <ndgservername> がいずれのネットワーク プロファイルにも割り当てられていないことを確認します。 Network Discovery Gateway <ndgservername> を削除する前に、別の Network Discovery Gateway を作成して、すべてのネットワーク プロファイルに割り当てます。

**CCA-SR-1111**

最後の Network Discovery Gateway は削除できません。

**理由:**

存在する Network Discovery Gateway は 1 つのみであるため、削除できません。

**アクション:**

新しい Network Discovery Gateway を作成して使用し、古い Network Discovery Gateway を削除します。

[CCA-SR-1112](#)

Network Discovery Gateway をそれ自身に割り当てるることはできません。

**理由:**

Network Discovery Gateway をそれ自身に割り当てるることはできません。

**アクション:**

別の Network Discovery Gateway を割り当てます。

[CCA-SR-1124](#)

有効なポート番号を入力してください。

**理由:**

自動特定操作を実行中にユーザが指定したエージェント ポート番号がマイナスの値であるか、数値以外の値になっています。

**アクション:**

有効なエージェント ポートの値を指定してください。

[CCA-SR-1125](#)

サーバ <servername> / <ipaddress> が見つかりません。

**理由:**

コンテキスト内起動操作でエラーが発生しました。 サーバ <servername> または <ipaddress> が CCA 内で利用できません。

**アクション:**

コンテキスト内起動 URL に有効な <servername> または <IPaddress> を指定します。

[CCA-SR-1130](#)

リモート エージェントインストールが失敗しました。 エラーメッセージ: Windows 以外のサーバから Windows エージェントをインストールできません。

**理由:**

Windows 以外のサーバにインストールされている CCA サーバから Windows CCA エージェントをインストールしています。

**アクション:**

Windows サーバにインストールされている CCA サーバから Windows CCA エージェントをインストールします。

[CCA-SR-1131](#)

サーバ <servername1> は、サーバ <servername2> によってすでに使用されている IP <ipaddress> と関連付けられています。サーバ <servername2> 上で IP の調整またはサーバの削除操作を実行してから、サーバの作成操作を再試行してください。

**理由:**

サーバ <servername1> は、サーバ <servername2> によって使用されている IP <ipaddress> と関連付けられています。

**アクション:**

サーバ <servername2> 上で IP の調整またはサーバの削除操作を実行してから、サーバの作成操作を再試行します。

[CCA-SR-1132](#)

無効なジョブ名です。

**理由:**

ジョブ名が無効です。

**アクション:**

有効なジョブ名を指定します。

[CCA-SR-1134](#)

ネットワーク レルム <realmname> で重複した IP アドレス <ipaddress> が見つかりました。サーバ <servername> のネットワーク レルムの設定が失敗しました。

**理由:**

ネットワーク レルム <realmname> には、同じ IP アドレス <ipaddress> のサーバがすでに 1 つあります。

**アクション:**

サーバ <servername> に別のネットワーク レルムを設定します。

[CCA-SR-1135](#)

ネットワーク レルム <realmname> で重複した IP アドレス <ipaddress> が見つかりました。サーバ <servername> の追加が失敗しました。

**理由:**

ネットワーク レルム <realmname> には、同じ IP アドレス <ipaddress> のサーバがすでに 1 つあります。

**アクション:**

サーバ <servername> に別のネットワーク レルムを設定します。

[CCA-SR-1136](#)

ネットワーク レルム <realmname> で重複した IP アドレス <ipaddress> が見つかりました。

**理由:**

ネットワーク レルム <realmname> には、同じ IP アドレス <ipaddress> のサーバがすでに 1 つあります。

**アクション:**

サーバ <ipaddress> に別のネットワーク レルムを設定します。

[CCA-SR-1140](#)

デフォルトの自己登録アクセス プロファイルが利用できません。

**理由:**

自己登録アクセス プロファイルが利用できません。

**アクション:**

エージェント モードが [自己登録されたエージェント] の自己登録アクセス プロファイルを作成し、[エージェント ログ] オプションと [サーバ ping] オプションを有効にします。

[CCA-SR-1142](#)

サーバ <servername> のディスカバリが失敗しました。管理オプション ジョブの実行をスキップします。

**理由:**

割り当てられたアクセス プロファイルを使用してサーバ <servername> への接続を確立できません。

**アクション:**

適切なアクセス モードが設定されたアクセス プロファイルがサーバ <servername> に割り当てられていることを確認します。サーバ <servername> のテスト サーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

[CCA-SR-1143](#)

サーバ <servername> のリフレッシュが失敗しました。管理オプション ジョブの実行をスキップします。

**理由:**

割り当てられたアクセス プロファイルを使用してサーバ <servername> への接続を確立できません。

### アクション:

適切なアクセス モードが設定されたアクセス プロファイルがサーバ <servername> に割り当てられていることを確認します。 サーバ <servername> のテスト サーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

## CCA-SR-1144

サービス <servicename> のディスカバリが失敗しました。管理オプション ジョブの実行をスキップします。

### 理由:

サーバに割り当てられたアクセス プロファイルを使用して、サービス <servicename> 内の 1 つ以上のサーバへの接続を確立できません。

### アクション:

適切なアクセス モードが設定されたアクセス プロファイルがサービス <servicename> 内のサーバに割り当てられていることを確認します。 サービス <servicename> 内のサーバに対するテスト サーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

## CCA-SR-1145

サービス <servicename> のリフレッシュが失敗しました。管理オプション ジョブの実行をスキップします。

### 理由:

サーバに割り当てられたアクセス プロファイルを使用して、サービス <servicename> 内の 1 つ以上のサーバへの接続を確立できません。

### アクション:

適切なアクセス モードが設定されたアクセス プロファイルがサービス <servicename> 内のサーバに割り当てられていることを確認します。 サービス <servicename> 内のサーバに対するテスト サーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

## CCA-SR-1148

サーバ <servername> の検出/比較/ルール コンプライアンスの変更が失敗しました。スナップショット作成をスキップします。

**理由:**

サーバ <servername> の検出/比較/ルール コンプライアンスの変更が失敗しました。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-SR-1153](#)

UUID<uuid> のサーバを削除できません。

**理由:**

サーバ UUID はサービスの一部ではありません。

**アクション:**

サーバ <uuid> がサービスの一部であることを確認します。

[CCA-SR-1154](#)

サーバを削除できません。修復ジョブの一部です。

**理由:**

サーバは修復ジョブの一部です。

**アクション:**

修復ジョブからサーバを削除します。

[CCA-SR-1158](#)

ジョブ名が必要です。

**理由:**

ジョブ名が指定されていません。

**アクション:**

ジョブ名を指定します。

[CCA-SR-1159](#)

ジョブ名が長すぎます。

**理由:**

SDK 検証エラー。ジョブ名が [ジョブ名] 列の長さを超えてています。

**アクション:**

ジョブ名の長さが 200 を超えないようにします。

[CCA-SR-1162](#)

サーバ <servername> の調整が失敗しました。

**理由:**

Network Discovery Gateway が応答していません。

**アクション:**

Network Discovery Gateway サービスが実行されていることを確認します。  
Network Discovery ゲートウェイのテストのステータスが応答中であることを確認します。

[CCA-SR-1163](#)

OS 名は必須フィールドです。有効な OS 名を選択してください。

**理由:**

サーバを追加する際にオペレーティング システムが選択されていません。

**アクション:**

有効なオペレーティング システムを選択します。

## CC-SR-1171

サーバ <ServerName> は、エイリアス名 <エイリアス ホスト名> が付けられた CCA サーバにすでに追加されています。目的のホスト名が付けられたサーバを管理するには、サーバ テーブルから既存のエイリアス ホストを削除してください。

**理由:**

NDG オプションを使用してサーバを作成しながら、別のエイリアス名を持つ既存のサーバを追加しています。

**アクション:**

以下のいずれかを実行します。

- エイリアス名で使用可能な既存のサーバを削除し、実際のホスト名を持つサーバを追加します。
- サーバ テーブル内ですでに使用可能状態になっているため、エイリアス名を持つ既存サーバを使用します。

## 構造クラス エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で構造クラス操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-SC-5007

名前が必要です。

**理由:**

構造クラスを作成する際にファイル構造クラス名が指定されていません。

**アクション:**

ファイル構造クラス名を指定します。

CCA-SC-5012

ファイル構造クラス <fscname> を削除できません。このブループリントで使用されています。

理由:

ファイル構造クラス <fscname> はブループリントで使用されています。

アクション:

別の FSC を使用するようにブループリントを更新するか、またはファイル構造クラス <fscname> の使用を停止して、<fscname> を削除します。

CCA-SC-5014

選択されたファイル構造クラスを削除できません。1 つ以上のブループリントで使用されています。

理由:

ファイル構造クラス <fscname> は 1 つ以上のブループリントで使用されています。

アクション:

別の FSC を使用するようにすべてのブループリントを更新するか、またはファイル構造クラス <fscname> の使用を停止して、<fscname> を削除します。

CCA-SC-5015

CCA の組み込みのファイル構造クラスは削除できません。

理由:

組み込みの構造クラスは削除できません。

アクション:

対処は不要です。

CCA-SC-5020

構造クラスを保存してから続行してください。変更を加えずにキャンセルするには[キャンセル]をクリックします。

**理由:**

最初に構造クラスを保存してから、 [完了] ボタンをクリックします。

**アクション:**

構造クラスを保存してから、 [完了] をクリックします。

CCA-SC-5022

無効な値のリストです。値はカンマ区切りである必要があります(例: 1, 4, 3)。

**理由:**

無効な値のリストが指定されています。 値はカンマ区切りの整数である必要があります。

**アクション:**

有効な値のリストを指定します。

CCA-SC-5023

整数の範囲が無効です。最小値と最大値との間にダッシュが必要です(例: 1-11)。

**理由:**

整数範囲は、ダッシュで区切られた最小値と最大値の有効な値として指定する必要があります。

**アクション:**

有効な整数範囲を指定します。

CCA-SC-5026

バージョンが必要です。

理由:

構造クラスのバージョンが指定されていません。

アクション:

構造クラスのバージョンを指定します。

CCA-SC-5027

名前が必要です。

理由:

構造クラス名が指定されていません。

アクション:

構造クラス名を指定します。

CCA-SC-5028

構造クラスはすでに存在します。[名前, バージョン]および[表示名, バージョン]が一意である必要があります。

理由:

構造クラスがすでに存在します。

アクション:

別の名前またはバージョンを使用して、構造クラスを保存します。

CCA-SC-5032

構造クラスはすでに存在します。

理由:

構造クラスはすでに存在します。

アクション:

構造クラスをインポートして既存の構造クラスを上書きするには、[既存の構造クラスを上書き] を選択します。

CCA-SC-5034

選択されたファイル構造クラスでパーサが指定されていません。

理由:

ファイル構造クラスにパーサ情報がありません。

アクション:

[サーバの参照] ダイアログ ボックス ウィンドウを閉じます。パーサを選択して参照します。

CCA-SC-5035

無効な構造クラス名です。以下の文字は使用できません: < > ; : " " = ¥¥ | ?

理由:

構造クラス名に次の特殊文字を含めることはできません: < > ; : " " = ¥¥ | ?。

アクション:

構造クラスに無効な文字を使用しないようにします。

CCA-SC-5036

無効なバージョンです。以下の文字は使用できません: <>;: " " +=¥¥ / | ?

理由:

バージョンに次の特殊文字を含めることはできません: <>;: " " +=¥¥ / | ?。

アクション:

バージョンに無効な文字を使用しないようにします。

CCA-SC-5037

パラメータ <parametername> を上に移動させることができません。これが先頭のパラメータです。

理由:

<parametername> はすでに先頭のパラメータです。

アクション:

対処は不要です。

CCA-SC-5038

グループ <groupname> を上に移動させることができません。これが先頭のグループです。

理由:

<groupname> はすでに先頭のグループです。

アクション:

対処は不要です。

CCA-SC-5039

パラメータ <parametername> を下に移動させることができません。これが末尾のパラメータです。

理由：

<parametername> はすでに末尾のパラメータです。

アクション：

対処は不要です。

CCA-SC-5040

グループ <groupname> を下に移動させることができません。これが末尾のグループです。

理由：

<groupname> はすでに末尾のグループです。

アクション：

対処は不要です。

CCA-SC-5051

以下の FSC のインポート中にセキュリティ違反が発生しました: <fsc name>

理由：

この操作を実行する権限がありません。

アクション：

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

CCA-SC-5052

以下の FSC のインポート中に重複オブジェクトの例外が発生しました: <fsc name>

理由 :

ファイル構造クラスがすでに存在します。

アクション :

既存の FSC を上書きするために [既存の構造クラスを上書き] を選択していることを確認します。

CCA-SC-5056

パーサ <parser name> 用の XML をファイルストリームに書き込み中にエラーが発生しました。

理由 :

パーサ <parser name> 用の XML をファイルストリームに書き込み中にエラーが発生しました。

アクション :

以下を実行します。

ファイルシステムに書き込むための必要な権限を持っていることを確認する。

システムには十分な空きディスク容量があることを確認する。  
必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-SC-5057

パーサはすでに存在します

理由 :

パーサのインポート時にパーサがすでに存在します。

アクション :

既存のパーサを上書きするために [既存の構造クラスを上書き] を選択します。

## CCA-SC-5058

以下のパーサのインポート中に重複オブジェクトの例外が発生しました:  
<parser name>

理由:

パーサがすでに存在します。

以下の点を確認します。

既存のパーサを上書きするために [既存の構造クラスを上書き] を選択している。

## CCA-SC-5060

以下のパーサのインポート中にセキュリティ違反が発生しました:

理由:

この操作を実行する権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインします。

# サーバ グループ エラー メッセージ

このセクションでは、サーバ グループ操作の実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

## CCA-SG-1504

サーバ グループ <groupname> はすでに存在します。

理由:

同じ名前 <groupname> のサーバ グループがすでに存在します。

アクション:

サーバ グループ名は一意である必要があります。 サーバ グループの追加または更新時に別の名前を指定します。

[CCA-SG-1506](#)

**名前が必要です。**

**理由:**

サーバ グループの作成または更新時にサーバ グループ名が指定されていません。

**アクション:**

サーバ グループ名を指定します。

[CCA-SG-1510](#)

サーバ グループ <groupname> の追加中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してサーバ グループを作成中に重複の例外が発生しました。

**アクション:**

サーバ グループ名は一意である必要があります。別のサーバ グループ名を指定します。SDK 例外スタック トレースを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

[CCA-SG-1515](#)

**動的サーバ グループにフィルタが必要です。**

**理由:**

動的サーバ グループの作成時にフィルタが選択されていません。

**アクション:**

動的サーバ グループを作成するためのフィルタを選択します。

CCA-SG-1517

UUID <groupuuid> のサーバ グループが見つかりません

理由:

SDK を使用してサービスにサーバ グループを追加する際に、無効なサーバ グループ UUID <groupuuid> が指定されています。

アクション:

CA Configuration Automation で利用可能な有効なサーバ グループ UUID を指定します。

CCA-SG-1518

UUID <groupuuid> のサーバ グループを削除できません。

理由:

SDK を使用してサービスからサーバ グループを削除する際に、無効なサーバ グループ UUID <groupuuid> が指定されています。

アクション:

CA Configuration Automation で利用可能な有効なサーバ グループ UUID を指定します。

CCA-SG-1519

サーバ グループ <groupuuid> の入力で指定したサーバを追加できません。  
サーバが存在しません。

理由:

SDK を使用して、サーバ グループ <groupuuid> に無効なサーバ オブジェクトを追加しています。

アクション:

サーバ グループの更新時に有効なサーバ オブジェクトをサーバ グループ に設定します。

## [セキュリティ証明書エラー メッセージ](#)

---

### CCA-SG-1520

ServerGroup <groupuuid> の入力で指定したサーバ <servername> を追加できません。サーバが存在しません。

#### 理由:

拒否状態のサーバ <servername> を追加しているか、またはグループ <groupid> に新しいサーバを追加しています。サーバグループには、管理対象状態のサーバのみ許可されます。

#### アクション:

サーバ グループに追加する前に、サーバの状態を管理対象に変更します。

### CCA-SG-1521

サーバ グループを削除できません。サービスの一部です。

#### 理由:

サーバ グループがサービスの一部です。

#### アクション:

サーバ グループを削除する前に、サービスからサーバ グループを削除します。

### CCA-SG-1524

サーバ グループのエクスポート中にセキュリティ違反エラーが発生しました。

#### 理由:

エクスポート操作を実行する権限がありません。

#### アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、エクスポート操作を実行します。

## [セキュリティ証明書エラー メッセージ](#)

このセクションでは、CA Configuration Automation でセキュリティ証明書操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

[CCA-CT-9409](#)

**サーバが必要です**

**理由:**

証明書を作成するためのサーバ名が指定されていません。

**アクション:**

証明書を作成するためのサーバ名を指定します。

[CCA-CT-9410](#)

**証明書パスワードが必要です**

**理由:**

証明書を作成するための証明書パスワードが指定されていません。

**アクション:**

証明書を作成するための証明書パスワードを指定します。

[CCA-CT-9412](#)

**認証局パスワードが必要です**

**理由:**

証明書を作成するための認証局パスワードが指定されていません。

**アクション:**

証明書を作成するための認証局パスワードを指定します。

[CCA-CT-9413](#)

**パスワードが必要です**

**理由:**

パスワードが指定されていません。

**アクション:**

パスワードを指定します。

## セキュリティ証明書エラー メッセージ

---

### CCA-CT-9414

パスワードは 6 文字以上である必要があります

理由:

パスワードの長さが 6 文字未満です。

アクション:

6 文字以上のパスワードを指定します。

### CCA-CT-9415

エージェント証明書パスワードが必要です

理由:

エージェント証明書パスワードが指定されていません。

アクション:

エージェント証明書パスワードを指定します。

### CCA-CT-9427

サーバ証明書パスワードが必要です

理由:

サーバ証明書パスワードが指定されていません。

アクション:

サーバ証明書パスワードを指定します。

### CCA-CT-9428

HTTPS 証明書パスワードが必要です

理由:

HTTPS 証明書パスワードが指定されていません。

アクション:

HTTPS 証明書パスワードを指定します。

CCA-CT-9434

証明書データをエージェントに送信することができませんでした。

理由:

認証局の作成時に例外が発生しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9436

証明書の目的が無効です。

理由:

証明書の目的が有効ではありません。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9438

エージェント証明書ファイルを作成することができませんでした。

<errormessage>

理由:

エージェント証明書ファイルの作成時に例外が発生しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## セキュリティ証明書エラー メッセージ

---

### CCA-CT-9440

認証局ディレクトリ <CADirectoryname> 内の一部のファイルを作成できませんでした。

**理由:**

CA ディレクトリの作成時に例外が発生しました。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください

### CCA-CT-9441

操作が失敗しました。認証局パスワードを確認してください

**理由:**

認証局パスワードが有効ではありません。

**アクション:**

有効な認証局パスワードを指定します。

### CCA-CT-9443

OpenSSL の操作を実行できませんでした。

**理由:**

OpenSSL の操作を実行中に例外が発生しました。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9446

keytool を実行できませんでした。

理由:

keytool の実行が失敗しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9448

keytool の実行ファイル <executablenamewithpath> がインストール ファイル中にありません。

理由:

keytool の実行可能ファイルがありません。

アクション:

利用可能な JRE ライブラリから keytool.exe ファイルをコピーします。

CCA-CT-9450

Tomcat 設定ファイル <configurationfilenamewithpath> を更新できませんでした。

理由:

Tomcat 設定ファイルの更新時に例外が発生しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9453

OpenSSL の設定ファイルを生成できませんでした。

理由:

OpenSSL の実行可能ファイルの設定ファイルの作成時に例外が発生しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9454

証明書ファイル <certificatefilenameWithPath> は以降使用できません。再生成してください

理由:

証明書ファイル <configurationfilenameWithPath> を利用できません。

アクション:

証明書ファイルを再生成します。

CCA-CT-9456

OpenSSL の実行ファイル <OpenSSLExecutablenameWithPath> がサーバのインストール ファイル中にありません。

理由:

OpenSSL の実行可能ファイルがパス <OpenSSLExecutablenameWithPath> にありません。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9457

操作を完了できませんでした。使用している Solaris インストールが /dev/random をサポートしていることを確認してください。詳細については、<http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-25-27606-1> を参照してください。¥n

理由:

Solaris インストールが /dev/random をサポートしていません。

アクション:

Solaris インストールが /dev/random をサポートしていることを確認します。Solaris インストールの詳細については、Solaris インストールのドキュメントを参照してください。

CCA-CT-9458

操作が失敗しました。証明書パスワードを確認してください

理由:

HTTPS パスワードまたは信頼ストア パスワードが指定されていません。

アクション:

HTTPS パスワードまたは信頼ストア パスワードの値を指定します。

CCA-CT-9461

理由:

認証局の破棄中に例外が発生しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## セキュリティ証明書エラー メッセージ

### CCA-CT-9462

**認証局が存在しません**

**理由:**

認証局を利用できないのに、証明書を作成しようとしています。

**アクション:**

認証局を作成してから、証明書を作成するか、または **HTTPS** を有効にします。

### CCA-CT-9463

**ディレクトリ <content> を削除できませんでした**

**理由:**

認証局の破棄中にディレクトリを削除できませんでした。

**アクション:**

ディレクトリを手動で削除します。

### CCA-CT-9464

**ファイル <content> を削除できませんでした**

**理由:**

認証局の破棄中にファイルを削除できませんでした。

**アクション:**

ファイルを手動で削除します。

CCA-CT-9465

サーバ <servername> の <certificatepurpose> 証明書がすでに存在します

理由:

サーバ <servername> の <certificatepurpose> 証明書がすでに存在します。

アクション:

同じ証明書がすでに存在するので、同じ目的の新しい証明書を作成しないでください。

CCA-CT-9466

入力したパスワードが一致しません

理由:

パスワードと確認パスワードが一致していません。

アクション:

パスワードと確認パスワードに同じ値を指定します。

CCA-CT-9468

ファイルの読み取り中にエラーが発生しました。

理由:

キーストアまたは信頼ストア コンテンツを読み取る際に例外が発生しました。

アクション:

CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9470

<failurecount> 個のエージェントを保護できませんでした

**理由:**

エージェントにアクセスできないか、またはエージェントはすでに保護されています。

**アクション:**

エージェントがアクセス可能で、保護されていないことを確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9472

無効な引数です

**理由:**

ca またはサーバ パスワードが有効ではありません

**アクション:**

有効な ca またはサーバ パスワードを指定します。

CCA-CT-9474

CCA セキュリティ証明書をロードできませんでした。

**理由:**

インストール フォルダ内で必要な証明書を検索できません。作成または取得しようとしている証明書に問題がある可能性があります。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-CT-9487

EEM 管理者ユーザ名が必要です。

理由:

ユーザ名が指定されていません。

アクション:

EEM 管理者ユーザ名を指定します。

CCA-CT-9488

EEM 管理者パスワードが必要です。

理由:

パスワードが指定されていません。

アクション:

EEM 管理者パスワードを指定します。

CCA-CT-9489

無効な EEM 管理者認証情報。<errormessage>

理由:

EEM 管理者ユーザ名またはパスワードが有効ではありません。

アクション:

有効な EEM 管理者ユーザ名およびパスワードを指定します。

CCA-CT-9490

目的が「クライアント認証」である証明書を選択してください。

理由:

選択された証明書の目的がクライアント認証ではありません。

アクション:

目的がクライアント認証の証明書を選択します。

CCA-CT-9492

クライアント認証は EEM サーバではサポートされていません。最新の EEM (バージョン 12 以降)にアップグレードしてください。

理由:

EEM サーバのバージョンが 12.0 以降ではありません。

アクション:

EEM サーバを最新の EEM バージョン (12 以降) にアップグレードします。

CCA-CT-9493

クライアント認証は EEM SDK API ではサポートされていません。最新の EEM SDK API (バージョン 12 以上)にアップグレードしてください。

理由:

EEM SDK API のバージョンが 12.0 以降ではありません。

アクション:

EEM SDK API を最新の EEM SDK API バージョン (12 以降) にアップグレードします。

CCA-CT-9495

ユーザ <username> がユーザストア内に存在しないか、またはアプリケーションインスタンス CCA にユーザが割り当てられていません。アプリケーションユーザの詳細を確認してください

理由:

ユーザ <username> がユーザストア内に存在しないか、または Configuration Automation のアプリケーションインスタンスにユーザが割り当てられていません。

アクション:

EEM でユーザを作成し、ユーザ用の CCA としてアプリケーションインスタンスを指定します。

## CCA-CT-9497

ユーザー <username> 用の <certificatepurpose> 証明書がすでに存在します。

理由:

サーバ <servername> の <certificatepurpose> 証明書がすでに存在します。

アクション:

同じ証明書がすでに存在するので、同じ目的の証明書を作成しないでください。

## サービス エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でサービス操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-SV-2008

サービス <servicename> はすでに存在します。

理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- CCA サーバに存在する CA Cohesion からサービス <servicename> をインポートしようとしている。
- CCA サーバに存在する新規サービス <servicename> を作成しようとしている。

アクション:

以下のいずれかの操作を実行します。

- サービス <servicename> をインポートする前に、既存のサービス <servicename> を削除するか、または既存のサービス名 <servicename> を更新します。
- サービスを作成する際に別の名前を使用します。

### CCA-SV-2012

名前が必要です。

**理由:**

サービス名が指定されていません。

**アクション:**

サービス名を指定します。

[CCA-SV-2027](#)

サービス <servicename> に割り当てられたサーバがありません。

**理由:**

サーバが追加されていないときに、ディスカバリを実行しようしているか、またはサービス <servicename> をリフレッシュしています。

**アクション:**

サービス <servicename> にサーバを追加します。

[CCA-SV-2029](#)

ディスカバリを実行できません。ディスカバリがサービス <servicename> で無効です。

**理由:**

サービス <servicename> に対するディスカバリが無効です。

**アクション:**

サービス <servicename> のディスカバリ オプションを有効にします。

[CCA-SV-2030](#)

管理操作を実行できません。管理がサービス <servicename> で無効です。

**理由:**

サービス <servicename> に対する管理オプションが無効です。

**アクション:**

サービス <servicename> の管理オプションを有効にします。

[CCA-SV-2034](#)

サービスを削除できません。1つ以上の管理プロファイルで使用されています。

**理由:**

選択された 1つ以上のサービスが、1つ以上の管理プロファイルで使用されています。

**アクション:**

サービスを削除する前に、選択されたサービスを管理プロファイルから削除します。

[CCA-SV-2040](#)

サービス <servicename> の追加中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してサービス <servicename> を追加中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

[CCA-SV-2041](#)

サービス <servicename> の取得中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してサービス名 <servicename> のサービスを取得中に例外が発生しました。

### アクション:

サービスが CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタックトレース、および[ログ]タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-SV-2042

すべてのサービスを取得中にエラーが発生しました。

### 理由:

SDK を使用してすべてのサービスを取得中に例外が発生しました。

### アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-SV-2043

UUID <uuid> のサービスの取得中にエラーが発生しました

### 理由:

SDK を使用して UUID <uuid> のサービスを取得中に例外が発生しました。

### アクション:

サービス UUID <uuid> が CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-SV-2044

UUID <uuid> のサービスが見つかりません。

### 理由:

CCA サーバに存在しない無効なサービス UUID <uuid> です。

### アクション:

CCA サーバに存在する有効なサービス UUID <uuid> を指定します。

## CCA-SV-2045

UUID <uuid> のサービス スナップショット内のサーバの取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用してサービス スナップショット UUID <uuid> のサービス スナップショット内のサーバを取得中に例外が発生しました。

アクション:

サービス スナップショット UUID <uuid> が CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-SV-2046

サービス <servicename> サーバの取得中にエラーが発生しました

理由:

SDK を使用して <servicename> 内のすべてのサーバを取得中に例外が発生しました。

アクション:

サービス <servicename> が CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-SV-2047

UUID <uuid> のサービス スナップショットの取得中にエラーが発生しました。

理由:

SDK を使用してサービス UUID <uuid> のサービス スナップショットを取得中に例外が発生しました。

### アクション:

サービス UUID <uuid> が CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-SV-2048

サーバをサービスに追加中にエラーが発生しました。

### 理由:

SDK を使用してサーバをサービスに追加中に例外が発生しました。

### アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-SV-2051

サービス <servicename> のロック解除が失敗しました。エラーが発生しました: <error>。

### 理由:

SDK を使用して管理操作を実行中に例外が発生しました。

### アクション:

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## CCA-SV-2058

不正な形式のエクスポート ファイルです - サービス名が見つかりません。

### 理由:

サービスをインポートするために、破損した JAR ファイルが使用されています。

**アクション:**

CA Configuration Automation からエクスポートした元の JAR ファイルを使用します。

[CCA-SV-2061](#)

サービス <servicename> が見つかりません。

**理由:**

コンテキスト内起動 URL 内に、CA Configuration Automation に存在しない不正なサービス <servicename> が指定されています。

**アクション:**

コンテキスト内起動 URL に有効なサービス <servicename> を指定します。

[CCA-SV-2064](#)

サービス <servicename> の管理プロファイルの実行が失敗しました。

**理由:**

サービスにサーバが存在しないか、または割り当てられたアクセス プロファイルを使用してサーバ <servername> への接続を確立できません。

**アクション:**

サービスにサーバが存在することを確認し、アクセス プロファイルに適切なアクセス モードを割り当てます。テストサーバ操作のステータスが成功であることを確認します。

[CCA-SV-2065](#)

サーバグループをサービスに追加中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してサーバグループをサービスに追加中に例外が発生しました。

**アクション:**

SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-SV-2066

サービス <servicename> サーバ グループの取得中にエラーが発生しました。

理由:

SDK を使用してサービス <servicename> のサーバ グループを取得中に例外が発生しました。

アクション:

サービス <servicename> が CCA に存在することを確認します。SDK 例外スタックトレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。

CCA-SV-2067

サービス <servicename> 内のサーバを削除できません。<currentactivity>。

理由:

ディスカバリまたは管理操作がサービス <servicename> 上で実行されています。

アクション:

サービス <servicename> 上のアクティビティ <currentactivity> が完了するまで待機します。

CCA-SV-2068

サービス <servicename> 内のサーバ グループを削除できません。<currentactivity>。

理由:

ディスカバリまたは管理操作がサービス <servicename> 上で実行されています。

アクション:

サービス <servicename> 上のアクティビティ <currentactivity> が完了するまで待機します。

CCA-SV-2073

ファイルのサービスインポート用の形式が無効です。

**理由:**

インポートされている Services.csv ファイルにデータが含まれていません。

**アクション:**

Services.csv ファイルに有効なサービス定義データが含まれていることを確認します。

CCA-SV-2074

CSV ファイルのサービスインポート用の形式が無効です。

**理由:**

インポートされている Services.csv ファイルに必要以上の列ヘッダが含まれています。

**アクション:**

Services.csv ファイルに有効な列リストが含まれていることを確認します。

CCA-SV-2078

サービス名が長すぎます。

**理由:**

サービス名が最大文字数を超えています。

**アクション:**

サービス名が 200 文字を超えないようにしてください。

## サービス プロファイル エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でサービスプロファイル操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

## [スナップショット エラー メッセージ](#)

---

### CCA-SVCP-1004

仮想化フィルタおよびサーバ状態以外のフィルタ条件を選択してください

**理由:**

仮想化フィルタおよびサーバ状態フィルタのみ選択されています。

**アクション:**

仮想化フィルタおよびサーバ状態フィルタ以外のフィルタを選択します。

## [スナップショット エラー メッセージ](#)

このセクションでは、CA Configuration Automation でスナップショット操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-ST-3023

スナップショット名に値を入力してください。

**理由:**

[スナップショット名] フィールドに値が入力されていません。

**アクション:**

有効なスナップショット名を入力します。

### CCA-ST-3031

名前 <snapshotname> の <snaptype> スナップショットを作成中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してサーバまたはサービス スナップショットを作成中に例外が発生しました。

**アクション:**

サーバまたはサービスに検出済みコンポーネントがあることを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

**CCA-ST-3032**

UUID <uuid> の <snaptype> スナップショットを取得中にエラーが発生しました。

**理由:**

SDK を使用してスナップショット UUID <uuid> のスナップショットを取得中に例外が発生しました。

**アクション:**

指定したスナップショット UUID <uuid> が CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

**CCA-ST-3033**

UUID <uuid> の <snaptype> スナップショットの指定ステータスを <designation> に更新中にエラーが発生しました

**理由:**

SDK を使用して UUID <uuid> のスナップショットの指定を更新中に例外が発生しました。

**アクション:**

UUID <uuid> のスナップショットが CCA サーバに存在することを確認します。SDK 例外スタック トレース、および [ログ] タブ内の対応する操作ログの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

**CCA-ST-3035**

スナップショットをインポートできません。サーバ <servername> は存在しません。

## [スナップショット エラー メッセージ](#)

---

### 理由:

サーバ <servername> が存在していません。

### アクション:

サーバ <servername> を作成します。

## [CCA-ST-3037](#)

スナップショットをインポートできません。サービス <servicename> は存在しません。

### 理由:

サービス <servicename> が存在していません。

### アクション:

サービス <servicename> を作成します。

## [CCA-ST-3041](#)

別の競合する操作がサーバ上で実行されているため、このサービス <servicename> 上でスナップショットを作成できませんでした。

### 理由:

サービス <servicename> が別の操作によってロックされています。

### アクション:

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

## [CCA-ST-3043](#)

スナップショットを作成できません - サービス <servicename> のロックを取得できませんでした。エラーが発生しました: <error>。

### 理由:

タイムアウトまたは SQL 例外が発生したために、サービス <servicename> をロックできません。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

**CCA-ST-3045**

サーバ <servername> 上でのスナップショット ジョブのサブミットが失敗しました。エラーが発生しました: <error>。

**理由:**

スナップショットの作成中に例外が発生しました。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

**CCA-ST-3050**

インポートが失敗しました。コンポーネント <componentname> のブループリントが同期していません。

**理由:**

コンポーネント <componentname> のブループリントが更新されていて、その更新がスナップショット内のコンポーネントと同期していません。

**アクション:**

古いブループリントを使用するか、またはブループリントの変更をリセットします。

**CCA-ST-3058**

サービス <servicename> 上でのスナップショット削除ジョブのサブミットが失敗しました。エラーが発生しました: <error>。

**理由:**

スナップショットの削除中に例外が発生しました。

**アクション:**

CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

### CCA-ST-3082

サーバ “<servername>” の選択されたスナップショット “<snapshotname>” は指定が設定されているため削除できません。¥n 指定を削除してから、削除を試みてください。

#### 理由:

ゴールド基準、ベースライン、シルバー基準、ブロンズ基準などの指定が設定されているスナップショットの削除中に例外が発生しました。

#### アクション:

スナップショットの削除アクションを開始する前に、スナップショットの指定を削除します。

### CCA-ST-3083

サービス “<servicename>” の選択されたスナップショット “<snapshotname>” は指定が設定されているため削除できません。¥n 指定を削除してから、削除を試みてください。

#### 理由:

ゴールド基準、ベースライン、シルバー基準、ブロンズ基準などの指定が設定されているスナップショットの削除中に例外が発生しました。

#### アクション:

スナップショットの削除アクションを開始する前に、スナップショットの指定を削除します。

## テナント エラー メッセージ

このセクションでは、テナント操作の実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

CCA-TN-9971

1つ以上のテナントを選択してください。

理由:

テナントが選択されていません。

アクション:

1つ以上のテナントを選択します。

CCA-TN-9980

テナント エイリアス <alias name> (製品 <product name> 用) はすでに存在します。

理由:

製品用のテナント エイリアス <alias name> がすでに存在します。

アクション:

新しいテナント エイリアス名を指定します。

CCA-TN-9983

テナント エイリアス名 <alias name> (製品 <product name> 用) が見つかりません。

理由:

テナント エイリアス名を削除できません。

アクション:

テナント エイリアス名が存在することを確認し、操作を実行します。

## テーブル ビュー エラー メッセージ

---

### CCA-TN-9984

テナント UUID <tenant uuid> が見つかりません。

理由:

テナント UUID が存在しません。削除されているか、または無効なテナント UUID が指定されています。

アクション:

テナントが存在することを確認し、操作を実行します。

### CCA-TN-9985

テナント <tenant name> はすでに存在します。

理由:

テナント <tenant name> がすでに存在します。

アクション:

一意のテナント名を指定します。

### CCA-TN-9987

テナント グループ名 <group name> はユーザ名と同一にはできません。

理由:

テナント グループ名とユーザ名は同一にできません。

アクション:

新しいテナント グループ名を指定します。

## テーブル ビュー エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でテーブル ビュー操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-TV-7003

テーブル ビュー <viewname> はすでに存在します。

理由:

この名前のテーブル ビューがすでに存在します。

アクション:

一意のテーブル ビュー名を指定します。

CCA-TV-7010

並べ替え列は選択した列ではありません。

理由:

並べ替えに選択した列がテーブル ビューにありません

アクション:

テーブル ビューに並べ替え列を追加するか、または並べ替え列に別の列を使用します。

CCA-TV-7011

名前が必要です。

理由:

テーブル ビュー名が指定されていません。

アクション:

テーブル ビュー名を指定します。

## テーブル ビュー エラー メッセージ

---

### CCA-TV-7012

テーブル ビューはデフォルト ビューです。削除できません。

理由:

テーブル ビューは現在のビューです。

アクション:

テーブル ビューを削除する前に、テーブル ビューがデフォルトでも現在のビューでもないことを確認します。

### CCA-TV-7015

テーブル ビュー <viewname> はすでに存在します。

理由:

この名前のテーブル ビューがすでに存在します。

アクション:

既存のテーブル ビュー情報をインポートする際に [既存のテーブル ビューを上書き] フラグを選択します。

### CCA-TV-7018

無効なテーブル ビュー名です。以下の文字は使用できません: <>;;"'"\*+=  
¥¥/|?

理由:

テーブル ビュー名に無効な文字があります。

アクション:

次の文字を使用せずに、テーブル ビュー名を指定します。<>;;"'"\*+=  
¥¥/|?。

## CCA-TV-7021

テーブル ビューのエクスポート中にセキュリティ違反エラーが発生しました。

理由:

テーブル ビューをエクスポートする権限がありません。

アクション:

管理者またはアーキテクトとして CA Configuration Automation にログインして、テーブル ビューをエクスポートします。

## タスク ウィザード エラー メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でタスク ウィザード操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

### CCA-TW-1011

ジョブはエラーを発生して終わりました

理由:

タスク ウィザードでコンプライアンス ジョブ/ネットワークの検出/サービスの検出を実行中にエラーが発生しました。

アクション:

対応する操作の [ログ] タブでエラーの詳細を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。



# 第3章: 警告メッセージ

---

CA Configuration Automation の操作時に、以下の警告メッセージが表示される場合があります。警告メッセージは潜在的なエラー状況について警告するものであり、何らかのアクションが必要になる場合があります。

## エージェント警告メッセージ

このセクションでは、エージェント操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-AG-5707

エージェントがデータベース接続を確立できませんでした。TNS-リスナは、接続記述子で指定されている SID を現在知ることができません。コンポーネントブループリント <blueprintname>。サーバ <servername>

理由:

Oracle データベースへの接続中にエラーが発生しました。Oracle での関連するエラーは以下のとおりです。

ORA-12505: TNS listener does not currently know of SID given in connect descriptor

アクション:

Oracle データベースとの接続に関するエラーの詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

### CCA-AG-5708

エージェントがデータベース接続を確立できませんでした。TNS-リスナなし。コンポーネントブループリント <blueprintname>。サーバ <servername>

#### 理由:

Oracle データベースへの接続中にエラーが発生しました。Oracle での関連するメッセージは以下のとおりです。

ORA-12541: TNS no listener

#### アクション:

Oracle データベースとの接続に関するエラーの詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

### CCA-AG-5709

エージェントがデータベース接続を確立できませんでした。ユーザ名またはパスワードが無効なため、ログインは拒否されました。コンポーネントブループリント <blueprintname>。サーバ <servername>

#### 理由:

データベースへの接続中にエラーが発生しました。関連するデータベース エラーは以下のとおりです。

ユーザ名またはパスワードが無効なため、ログインは拒否されました。

#### アクション:

データベースへ接続する権限があるかどうかを確認します。

## CCA-AG-5710

エージェントがデータベース接続を確立できませんでした。ユーザ名またはパスワードが無効なため、ログインは拒否されました。コンポーネントブループリント <blueprintname>。サーバ <servername>

**理由:**

データベースへの接続中にエラーが発生しました。関連するデータベースエラーは以下のとおりです。

ユーザ名またはパスワードが無効なため、ログインは拒否されました。

**アクション:**

データベースへ接続する権限があるかどうかを確認します。

## CCA-AG-5711

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> のデータベース接続を確立できませんでした

**理由:**

データベース接続を確立できません。

**アクション:**

ODBCデータベース クライアントからデータベースに接続できることを確認します。

## CCA-AG-5712

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> のデータベース接続を確立できませんでした。正しいデータベース接続値を指定してください

**理由:**

不正なデータベース接続値がコンポーネント パラメータ セクションで指定されています。

**アクション:**

正しいデータベース接続値を指定します。問題が解決されない場合は、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-AG-5717

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> のデータベース接続を確立できませんでした。接続できないか、実行しているデータベースがありません

理由:

データベース接続を確立できません。

アクション:

ODBC データベース クライアントからデータベースに接続できることを確認します。

CCA-AG-5719

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> のデータベース接続を確立できませんでした。TNS: 指定された接続 ID を解決できません

理由:

Oracle データベースへの接続中にエラーが発生しました。Oracle での関連するデータベース エラーは以下のとおりです。

ORA-12514: TNS:listener does not currently know of service requested in connect descriptor.

アクション:

Oracle データベース エラーの詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

## CCA-AG-5720

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> のデータベース接続を確立できませんでした。TNS: リスナは、接続記述子でリクエストされたサービスを現在知ることができません

**理由:**

Oracle データベースへの接続中にエラーが発生しました。Oracle での関連するデータベース エラーは以下のとおりです。

ORA-12514: TNS:listener does not currently know of service requested in connect descriptor

**アクション:**

Oracle データベース エラーの詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

## CCA-AG-5721

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> のデータベース接続を確立できませんでした。Oracle の IMMEDIATE シャットダウンを実行中です - 操作は受け付けられません

**理由:**

Oracle データベースへの接続中にエラーが発生しました。Oracle での関連するデータベース エラーは以下のとおりです。

ORA-01089: immediate shutdown in progress - no operations are permitted

**アクション:**

Oracle データベース エラーの詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

### CCA-AG-5722

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> でデータベースに接続しました。管理されたテーブルがないか、テーブル名の大文字/小文字が一致していない可能性があります

#### 理由:

ターゲット サーバにデータベース テーブルがありません。

#### アクション:

検出されたコンポーネントが組み込みの CA Configuration Automation ブループリント用である場合は、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。そうでない場合は、ターゲット サーバのデータベースにテーブルがあることを確認します。

### CCA-AG-5723

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> でデータベースに接続しました。1 つ以上のクエリが実行されませんでした

#### 理由:

クエリを実行できませんでした。

#### アクション:

検出されたコンポーネントが組み込みの CA Configuration Automation ブループリント用である場合は、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。そうでない場合は、ターゲット サーバの ODBC データベース クライアントを使用してクエリが実行されていることを確認します。

## CCA-AG-5724

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> でデータベースに接続しました。エージェントから結果の一部が返されたか、または結果が返されませんでした

**理由:**

データベースからデータの一部を取得できません。

**アクション:**

検出されたコンポーネントが組み込みの CA Configuration Automation ブループリント用である場合は、CA Technologies の技術サポートにお問い合わせください。そうでない場合は、ターゲットサーバの ODBC データベース クライアントを使用してクエリが実行され、データが取得されたことを確認します。

## CCA-AG-5725

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> でデータベースに接続しました。ユーザ アカウントがロックされています

**理由:**

Oracle データベースへの接続中にエラーが発生しました。Oracle での関連するデータベース エラーは以下のとおりです。

ORA-28000: the account is locked

**アクション:**

Oracle データベース エラーの詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

## ブループリント警告メッセージ

---

### CCA-AG-5726

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> のデータベース接続を確立できませんでした。TNS: プロトコルアダプタをロードできません

#### 理由:

Oracle データベースへの接続中にエラーが発生しました。Oracle での関連するデータベース エラーは以下のとおりです。

ORA-12557: TNS:protocol adapter not loadable when access Designer

#### アクション:

Oracle データベース エラーの詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

### CCA-AG-5727

エージェントが、サーバ <servername> のブループリント <blueprintname> でデータベースに接続しました。NLS データファイルにアクセスできないか、または無効な環境が指定されました。データは返されませんでした

#### 理由:

Oracle データベースへの接続中にエラーが発生しました。Oracle での関連するデータベース エラーは以下のとおりです。

ORA-12705: Cannot access NLS data files or invalid environment specified.

#### アクション:

Oracle データベース エラーの詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

## ブループリント警告メッセージ

このセクションでは、ブループリント操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-BP-4048

この操作を実行するために1つ以上のブループリントを選択してください。

理由:

以下の操作を実行するためのブループリントが選択されていません。

- インポート
- 削除
- 有効化
- 無効化
- エクスポート

アクション:

これらの操作を実行するには、ブループリントを1つ以上選択します。

CCA-BP-4049

この操作を実行するためにブループリントを1つ選択してください。

理由:

コピー操作を実行するためのブループリントが選択されていません。

アクション:

コピー操作を実行するためのブループリントを選択します。

## ブループリント警告メッセージ

---

### CCA-BP-4050

この操作を実行するためにブループリントを1つだけ選択してください。

理由:

コピー操作を実行するために複数のブループリントが選択されています。

アクション:

コピー操作を実行するためのブループリントを1つだけ選択します。

### CCA-BP-4184

ファイル <file name> を上に移動させることができません。これが先頭のファイルです。

理由:

ファイル <file name> はすでに先頭の行にあります。

アクション:

対処は不要です。

### CCA-BP-4185

ディレクトリ <directory> を上に移動させることができません。これが先頭のディレクトリです。

理由:

ディレクトリ <directory> はすでに先頭の行にあります。

アクション:

対処は不要です。

CCA-BP-4186

値 <value> を上に移動させることができません。これが先頭の値です。

理由:

値 <value> はすでに先頭の行にあります。

アクション:

対処は不要です。

CCA-BP-4187

キー <key name> を上に移動させることができません。これが先頭のキーです。

理由:

キー <key name> はすでに先頭の行にあります。

アクション:

対処は不要です。

CCA-BP-4188

ファイル <file name> を下へ移動させることができません。これが末尾のファイルです。

理由:

ファイル <file name> はすでに末尾の行にあります。

アクション:

対処は不要です。

CCA-BP-4189

ディレクトリ <directory> を下へ移動させることができません。これが末尾のディレクトリです。

理由:

ディレクトリ <directory> はすでに末尾の行にあります。

アクション:

対処は不要です。

CCA-BP-4190

値 <value> を下へ移動させることができません。これが末尾の値です。

理由:

値 <value> はすでに末尾の行にあります。

アクション:

対処は不要です。

CCA-BP-4191

キー <key name> を下へ移動させることができません。これが末尾のキーです。

理由:

キー <key name> はすでに末尾の行にあります。

アクション:

対処は不要です。

CCA-BP-4196

並べ替えるフィルタを 1 つ以上選択してください。

理由:

フィルタが選択されていません。

アクション:

1 つ以上のフィルタを選択し、並べ替え（上へ移動または下へ移動）操作を実行します。

CCA-BP-4197

並べ替えるグループを 1 つ以上選択してください。

理由:

フィルタが選択されていません。

アクション:

1 つ以上のフィルタを選択し、並べ替え（上へ移動または下へ移動）操作を実行します。

CCA-BP-4198

並べ替えるパラメータを 1 つ以上選択してください。

理由:

フィルタが選択されていません。

アクション:

1 つ以上のフィルタを選択し、並べ替え（上へ移動または下へ移動）操作を実行します。

## ブループリント警告メッセージ

---

### CCA-BP-4207

これは製品で管理されるブループリントです。このブループリントのコピーは許可されません。

#### 理由:

これは製品で管理されるブループリントであるため、このブループリントのコピーは許可されません。

#### アクション:

対処は不要です。

### CCA-BP-4244

この操作を実行するには、1つ以上のディレクトリを選択してください。

#### 理由:

[フィルタの管理] タブからフィルタの設定または削除を行う際にディレクトリが選択されていません。

#### Action:

ファイルフィルタを管理するために1つ以上のディレクトリを選択します。

### CCA-BP-4245

この操作を実行するには1つ以上のファイルを選択してください。

#### 理由:

[フィルタの管理] タブからフィルタの設定または削除を行う際にファイルが選択されていません。

#### Action:

ファイルフィルタを管理するために1つ以上のファイルを選択します。

CCA-BP-4416

削除するステップを選択してください。

理由:

ステップが選択されていません。

アクション:

削除するステップを選択します。

CCA-BP-4417

編集するステップを選択してください。

理由:

ステップが選択されていません。

アクション:

編集するステップを選択します。

CCA-BP-4418

削除するパラメータを選択してください。

理由:

パラメータが選択されていません。

アクション:

削除するパラメータを選択します。

## ブループリント警告メッセージ

---

### CCA-BP-4422

この操作を実行するためにブループリントを1つ選択してください。

理由：

ブループリントの検索操作を実行するために、複数のブループリントが選択されているか、またはブループリントが選択されていません。

アクション：

ブループリントの検索操作を実行するには、ブループリントを1つだけ選択します。

### CCA-BP-4426

このコンポーネントに対するディスカバリ/リフレッシュジョブが実行中のため、ブループリント参照を削除できません。

理由：

コンポーネントに対するディスカバリジョブまたはリフレッシュジョブの実行中には、ブループリント参照を削除することはできません。

アクション：

ディスカバリジョブまたはリフレッシュジョブが完了した後にブループリント参照を削除します。

### CCA-BP-4425

この操作を実行するために1つ以上のブループリント参照を選択してください。

理由：

ブループリント参照を削除する操作の際に、ブループリントが選択されていません。

アクション：

ブループリント参照に対する削除操作を実行するには、ブループリントを1つ以上選択します。

CCA-BP-4427

テストディスカバリデータが見つかりました。テストディスカバリブラウザ ウィンドウを閉じて、リフレッシュを実行してください。

理由:

テストディスカバリデータが見つかりました。テストディスカバリブラウザ ウィンドウを閉じます。

アクション:

テストディスカバリブラウザ ウィンドウを閉じた後に、ブループリント参照を削除します。

## ブループリント グループ警告メッセージ

このセクションでは、ブループリント グループ操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-BG-4512

ブループリント グループ <blueprint group> のインポート中にブループリント <blueprint name> が見つかりませんでした。

理由:

JAR ファイルで利用可能なブループリント <blueprint name> が、CA Configuration Automation アプリケーションに存在しません。

アクション:

組み込みの CA Configuration Automation ブループリントが見つからない場合は、以下の場所からブループリントをダウンロードし、そのブループリントをインポートします。

[http://techweb.ca.com/r11impcd/cca\\_updates/cca\\_frame.htm](http://techweb.ca.com/r11impcd/cca_updates/cca_frame.htm)

## コンプライアンス ジョブ警告メッセージ

---

### CCA-BG-4508

この操作を実行するために1つ以上のブループリントグループを選択してください。

**理由:**

ブループリント グループが選択されていません。

**アクション:**

1つ以上のブループリント グループを選択して、操作を実行します

## コンプライアンス ジョブ警告メッセージ

このセクションでは、コンプライアンス ジョブの実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-CM-9000

この操作を実行するために1つ以上のコンプライアンス ジョブを選択してください。

**理由:**

コンプライアンス ジョブが選択されていません。

**アクション:**

1つ以上のコンプライアンス ジョブを選択します。

### CCA-CM-9026

この操作を実行するために1つ以上の履歴レコードを選択してください。

**理由:**

履歴レコードが選択されていません。

**アクション:**

1つ以上の履歴レコードを選択します。

## Catalyst ジョブ警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でルール Catalyst ジョブを実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

CCA-CJ-9900

この操作を実行するために 1 つ以上の Catalyst ジョブを選択してください。

理由:

Catalyst ジョブを削除または実行する操作の際に、Catalyst ジョブが選択されていません。

アクション:

Catalyst ジョブを選択して、操作を実行します。

## Catalyst プロファイル警告メッセージ

このセクションでは、Catalyst プロファイル操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-PL-3908

Catalyst 属性プロファイルはすでに存在します。

理由:

プロファイル <profile name> がすでに存在します。

アクション:

プロファイル <profile name> を置換するには、上書きオプションを選択します。

## 変更検出および比較警告メッセージ

---

### CCA-PL-3909

この操作を実行するために 1 つ以上の Catalyst 属性プロファイルを選択してください。

**理由:**

選択した Catalyst 属性プロファイルをインポートする操作で、Catalyst 属性プロファイルが選択されていません。

**アクション:**

1 つ以上の Catalyst 属性プロファイルを選択します。

### CCA-PL-3910

選択されたプロファイルは削除できません。選択されたプロファイルの 1 つ以上が管理プロファイルまたは catalyst ジョブに割り当てられています。

**理由:**

選択されたプロファイルの 1 つ以上が管理プロファイルまたは Catalyst ジョブに割り当てられているため、選択されたプロファイルを削除できません。

**アクション:**

選択されたプロファイルがいずれの管理プロファイルまたは Catalyst ジョブでも使用されていないことを確認してから、プロファイルを削除します。

## 変更検出および比較警告メッセージ

このセクションでは、変更検出および比較操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-DF-9145

サービスの変更検出に同一のスナップショットが使用されています。サービス <servicename> で差分は検出されませんでした。

**理由:**

サービスの変更検出に同一のスナップショットが使用されています。

**アクション:**

対処は不要です。

[CCA-DF-9146](#)

サービスの比較に同一のスナップショットが使用されています。サービス <servicename1> と <servicename2> との間で差分は検出されませんでした。

**理由:**

サービスの比較に同一のスナップショットが使用されています。

**アクション:**

対処は不要です。

[CCA-DF-9147](#)

サーバの変更検出に同一のスナップショットが使用されています。サーバ <servername> で差分は検出されませんでした。

**理由:**

サーバの変更検出に同一のスナップショットが使用されています。

**アクション:**

対処は不要です。

[CCA-DF-9148](#)

サーバの比較に同一のスナップショットが使用されています。サーバ <servername1> と サーバ <servername2> との間に相違が見つかりません。

**理由:**

サーバの比較に同一のスナップショットが使用されています。

**アクション:**

対処は不要です。

[CCA-DF-9183](#)

管理対象コンポーネントがないか、すべてのコンポーネントが変更検出から除外されています。サーバ <servername> での差分は見つかりません

**理由:**

選択されたソース データおよびターゲット データでコンポーネントが検出されませんでした。

**アクション:**

対処は不要です。

[CCA-DF-9184](#)

管理対象コンポーネントがないか、すべてのコンポーネントが比較から除外されています。サーバ <servername1> とサーバ <servername2> との間に相違が見つかりません。

**理由:**

選択されたソース データおよびターゲット データでコンポーネントが検出されませんでした。

**アクション:**

対処は不要です。

[CCA-DF-9185](#)

管理対象コンポーネントがないか、すべてのコンポーネントがサーバ <Servername> のソース スナップショットで除外されています。

**理由:**

選択されたソース データでコンポーネントが検出されませんでした。

**アクション:**

対処は不要です。

[CCA-DF-9186](#)

管理対象コンポーネントがないか、すべてのコンポーネントがサーバ <Servername> のターゲット スナップショットで除外されています。

**理由:**

選択されたターゲット データでコンポーネントが検出されませんでした。

**アクション:**

対処は不要です。

## 一般的なスケジュール警告メッセージ

このセクションでは、一般的なスケジュール操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-SH-9008

現在のスケジュールを以下に示します。スケジュールへの変更はプロファイルに反映されます。

**理由:**

頻度が選択されていません。現在のスケジュールを更新しています。

**アクション:**

対処は不要です。

### CCA-SH-9017

<nextfiretime> 上のグループ <jobgroup> のスケジュール済みジョブ <jobname> がスキップされました。このジョブのインスタンスはすでに実行中です。

**理由:**

このジョブのインスタンスはすでに実行中です。

**アクション:**

対処は不要です。

## コンポーネント警告メッセージ

---

### CCA-SH-9018

<nextfiretime> 上のグループ <jobgroup> のスケジュール済みジョブ <jobname> はスケジュールされた始動時刻に実行されず、今起動しました。

#### 理由:

理由はありません。

#### アクション:

対処は不要です。

## コンポーネント警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でコンポーネント操作を実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-CM-9301

この操作を実行するために 1 つ以上のコンポーネントを選択してください

#### 理由:

コンポーネントを削除、表示、またはリフレッシュする操作に対して、コンポーネントが選択されていません。

#### アクション:

コンポーネントを削除、表示、またはリフレッシュする操作を実行するには、1 つ以上のコンポーネントを選択します。

### CCA-CM-9310

コンポーネント <componentname,versionand currentactivity> を削除できません

#### 理由:

コンポーネントのリフレッシュを実行中です。

#### アクション:

リフレッシュ操作が完了してからコンポーネントを削除します。

## ディスカバリおよびリフレッシュ警告メッセージ

このセクションでは、ディスカバリおよびリフレッシュ操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-DIS-8543

サーバ <servername> でロックを解除できませんでした

理由:

サーバ <servername> のロックを解除する際に例外が発生しました。

アクション:

対処は不要です。「discover.lock.timeout」プロパティでタイムアウトを設定した後、ロックは自動的にクリアされます。

### CCA-DIS-8545

サービス <servicename> でロックを解除できませんでした

理由:

サービス <servicename> のロックを解除する際に例外が発生しました。

アクション:

対処は不要です。「discover.lock.timeout」プロパティでタイムアウトを設定した後、ロックは自動的にクリアされます。

CCA-DIS-8555

サーバ <servername> で、エラーが発生してディスカバリが終了しました - <0> 個のコンポーネントが検出されました。

**理由:**

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバに無効なプラットフォームが設定されている。
- ディスカバリ操作を実行中に、サーバ <servername> との通信が切断された。
- サービス (エージェント/SSH/Telnet/WMI) が応答していないか、または実行中でない。

**アクション:**

以下を実行します。

- サーバ <servername> に正しいプラットフォームが設定されていることを確認します。
- 割り当てられたアクセス モードに対応するサービス (エージェント /SSH/Telnet/WMI) がターゲット サーバ <servername> 上で実行されていることを確認します。
- アクセス モード タイプがエージェントの場合は、最新の CA Configuration Automation エージェント バージョンを使用します。
- テスト サーバ操作が成功することを確認します。

## CCA-DIS-8556

サーバ <servername> で、エラーが発生してリフレッシュが終了しました - <0> 個のコンポーネントがリフレッシュされました。

### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- リフレッシュ操作を実行中に、サーバ <servername> との通信が切断された。
- サービス (エージェント/SSH/Telnet/WMI) が応答していないか、または実行中でない。

### アクション:

以下を実行します。

- 割り当てられたアクセス モードに対応するサービス (エージェント /SSH/Telnet/WMI) がターゲット サーバ <servername> 上で実行されていることを確認します。
- アクセス モード タイプがエージェントの場合は、最新の CCA エージェント バージョンを使用します。
- テスト サーバ操作が成功することを確認します。

## CCA-DIS-8577

サーバ <servername> 上のコンポーネント ブループリント <blueprintname> のディスカバリで JDBC ドライバ <drivername> が必要です。このドライバをインストールしてください。

### 理由:

JDBC ドライバ <drivername> が以下の場所にありません。

<CCAIinstalledDirectory>¥tomcat¥webapps¥ROOT¥WEB-INF¥lib

### アクション:

実際の製品または Web から JDBC ドライバ <drivername> を入手して、以下の場所へコピーします。

<CCAIinstalledDirectory>¥tomcat¥webapps¥ROOT¥WEB-INF¥lib

CCA-DIS-8578

サーバ <servername> 上のコンポーネント ブループリント <blueprintname> のリフレッシュで JDBC ドライバ <drivername> が必要です。このドライバをインストールしてください。

理由:

JDBC ドライバ <drivername> が以下の場所にありません。

<CCAIinstalledDirectory>¥tomcat¥webapps¥ROOT¥WEB-INF¥lib

アクション:

実際の製品または Web から JDBC ドライバ <drivername> を入手して、以下の場所へコピーします。

<CCAIinstalledDirectory>¥tomcat¥webapps¥ROOT¥WEB-INF¥lib

CCA-DIS-8579

サーバ <servername> 上のコンポーネント ブループリント <blueprintname> のディスカバリ中にリモート データベースへの接続が失敗しました。エラー メッセージ - <error>。

理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバ <servername> に対して ping が実行できない。
- データベース サービスが停止している。
- データベース サーバ名、データベース名、ユーザ名、およびパスワードなど、無効な情報がデータベース接続に対して指定されている。

アクション:

以下を実行します。

- サーバ <servername> に対して ping が実行でき、データベース サーバ サービスが実行されていることを確認します。
- データベース サーバ名、データベース名、ユーザ名、およびパスワードが有効であることを確認してから、ディスカバリ操作を再度実行します。

## CCA-DIS-8580

サーバ <servername> 上のコンポーネント ブループリント <blueprintname> のリフレッシュ中にリモート データベースへの接続が失敗しました。エラー メッセージ - <error>。

### 理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- サーバ <servername> に対して ping が実行できない。
- データベース サービスが停止している。
- データベース サーバ名、データベース名、ユーザ名、およびパスワードなど、無効な情報がデータベース接続に対して指定されている。

### アクション:

サーバ <servername> に対して ping が実行でき、データベース サーバ サービスが実行されていることを確認します。データベース サーバ名、データベース名、ユーザ名、およびパスワードが有効であることを確認してから、リフレッシュ操作を再度実行します。

## CCA-DIS-8581

サーバ <servername> 上のコンポーネント ブループリント <blueprintname> のディスカバリ中にリモート データベースでのクエリの実行が失敗しました。エラー メッセージ - <error>。

### 理由:

クエリのデータまたは構文が無効です。

### アクション:

カスタマイズしたブループリントを使用している場合は、ブループリントに追加されたクエリの構文を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-DIS-8582

サーバ <servername> 上のコンポーネントブループリント <blueprintname> のリフレッシュ中にリモート データベースでのクエリの実行が失敗しました。エラーメッセージ - <error>。

理由:

クエリのデータまたは構文が正しくありません。

アクション:

カスタマイズしたブループリントを使用している場合は、クエリ文字列を確認します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

CCA-DIS-8587

サーバ <servername> でのコンポーネントのリフレッシュがエラーを発生して終了しました - <0> 個のコンポーネントがリフレッシュされました。

理由:

考えられる理由は以下のとおりです。

- コンポーネントのリフレッシュ操作の実行中にサーバ <servername> との通信が切断された。
- サービス (エージェント/SSH/Telnet) が応答していないか、または実行中でない。

アクション:

以下を実行します。

- 割り当てられたアクセス モードに対応するサービス (エージェント /SSH/Telnet/WMI) がターゲットサーバ <servername> 上で実行されていることを確認します。
- テストサーバ操作のステータスが成功であることを確認します。
- アクセス モード タイプがエージェントの場合は、最新の CA Configuration Automation エージェントを使用します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカルサポートにお問い合わせください。

## CCA-DIS-8600

ブループリント <blueprintname> は他のサーバ/サービス管理プロファイルで管理されています。ディスカバリは、サーバ <servername> 上のコンポーネント <blueprintname> (<path>)を無視します。

**理由:**

ブループリント <blueprintname> はほかのサーバ/サービス管理プロファイルで管理されています。

**アクション:**

対処は不要です。

## CCA-DIS-8606

サーバ <servername> では sudo は使用できません。sudo は使用されません。

**理由:**

サーバ <servername> では sudo は使用できません。

**アクション:**

サーバ <servername> で sudo を使用可能にし、適切に設定します。sudo の設定方法の詳細については、CA Configuration Automation のドキュメントの「UNIX および Linux Softagent ディスカバリの sudo の設定」を参照してください。

## CCA-DIS-8610

コンポーネント ディスカバリは、関係データの追加中にサーバ <IPAddress> を解決できませんでした。

**理由:**

名前が変更されたためにサーバが応答していないか、サーバが使用できない状態です。

**アクション**

対処は不要です。

CCA-DIS-8611

コンポーネント ディスカバリは、一意でない IP 参照を含む関係を検出しました。IP アドレス <ipaddress> は以下のサーバ上で見つかりました: <serverlist>。

理由:

サーバ <serverlist> で重複した IP アドレスが見つかりました。

アクション:

サーバ <serverlist> に対して調整操作を実行します。

CCA-DIS-8612

コンポーネント ディスカバリは、ネットワーク レルム <networkrealm> 内に一意でない IP 参照を含む関係を検出しました。IP アドレス <ipaddress> は以下のサーバ上で見つかりました: <serverlist>。

理由:

ネットワーク レルム <networkrealm> 内のサーバ <serverlist> に重複した IP アドレスが見つかりました。

アクション:

ネットワーク レルム <networkrealm> 内のサーバ <serverlist> に対して調整操作を実行します。

CCA-DIS-8643

ファイルおよびレジストリのルートが一意に決まらないため、コンポーネント ブループリント <ブループリント名> は現在のディスカバリ ジョブから破棄されます。ファイル インジケータとレジストリ インジケータの両方を定義するのではなく、いずれかを定義するようにこのブループリントを変更してください。

理由:

ログは、ブループリントの root が一意に決まらないために、ディスカバリ操作で破棄されたことを示しています。

アクション:

ファイルまたはレジストリのいずれかのインジケータを持つように、ブループリントを変更します。

CCA-DIS-8644

管理サーバ <サーバ名> 上のブループリント(<ブループリント名>)のファイルインジケータ <ファイル インジケータ名> をディスカバリ ジョブが見つけられませんでした

**理由:**

ログは、ファイルインジケータが見つからないことを示しています。ターゲットマシンでコンポーネントが使用できないか、またはブループリントインジケータのいずれかが見つかりません。

**アクション:**

ブループリントを検出するソフトウェアをインストールするか、またはブループリントを更新します。

CCA-DIS-8645

管理サーバ <サーバ名> 上のブループリント(<ブループリント名>)のレジストリインジケータ <レジストリ インジケータ名> をディスカバリ ジョブが見つけられませんでした

**理由:**

ログは、レジストリインジケータが見つからないことを示しています。ターゲットマシンでコンポーネントが使用できないか、またはブループリントインジケータのいずれかが見つかりません。

**アクション:**

ブループリントを検出するソフトウェアをインストールするか、またはブループリントを更新します。

CCA-DIS-8654

サーバ<サーバ名>上の<アクセス モード>と通信できません。アクセス プロファイルで指定されたユーザ名およびパスワードが正しくない可能性があります。または、プロキシアクションがある WMI の場合は、プロファイルで指定されているプロキシ/FTP サーバ認証情報を確認してください。リフレッシュが終了しました。

**理由:**

サーバリフレッシュ操作が、指定されたアクセス プロファイル詳細を備えるターゲットサーバに接続できませんでした。

**アクション:**

以下を確認してください。

- アクセス プロファイルで、有効なアクセス プロファイル認証情報が指定されている。
- アクセス プロファイルが WMI-プロキシを対象にしている場合は、プロキシおよびFTP サーバの認証情報。
- FTP サーバに、FTP ホーム ディレクトリが存在する。
- FTP ホーム ディレクトリがアクセス プロファイルで指定された FTP ホーム ディレクトリと同様である。

CCA-DIS-8655

サーバ<Server Name>上の<Access Mode>と通信できません。アクセス プロファイルで指定されたユーザ名およびパスワードが正しくない可能性があります。または、アクセス プロファイルがプロキシ アクションを持つ WMI の場合は、アクセス プロファイルで指定されたプロキシ/FTP サーバ認証情報を確認します。ディスカバリは中止されます。

**理由:**

サーバディスカバリ操作が、指定されたアクセス プロファイル詳細を備えるターゲットサーバに接続できませんでした。

**Action:**

以下の詳細を検証します。

- アクセスプロファイルで、有効なアクセスプロファイル認証情報が指定されている。
- アクセスプロファイルが WMI-プロキシを対象にしている場合は、プロキシおよびFTPサーバの認証情報。
- FTPサーバに、FTPホームディレクトリが存在する。
- FTPホームディレクトリがアクセスプロファイルで指定されたFTPホームディレクトリと同様である。
- FTPユーザには読み取り許可しか設定されていません。

**CCA-DIS-8653**

現在のディスカバリジョブで、管理サーバ<サーバ名>上のブループリント(<ブループリント名>)のインジケータが見つかりませんでした。

ログステートメントは、現在のディスカバリジョブで、指定されたブループリントに対してインジケータ(ファイル/レジストリ)が見つからなかつたことと示しています。

**理由:**

ログは、ディスカバリ操作で、指定されたブループリントに対してファイルまたはレジストリインジケータが見つからなかつたことを指定しています。

**アクション:**

ブループリントで指定されたインジケータが、検出されたターゲットサーバで使用可能かどうかを確認します。インジケータが使用可能な場合は、ブループリントを確認し、それを更新します。

## データ移行警告メッセージ

このセクションでは、データ移行操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

## グローバル変数警告メッセージ

---

### CCA-DM-7537

ブループリント <blueprintname> バージョン [<blueprintversion>] コンポーネント バージョン <componentversion> はインポートされません。ブループリントがすでに存在します。

**理由:**

ブループリント <blueprintname>、バージョン <blueprintversion>、およびコンポーネント バージョン <componentversion> がすでに存在しています。

**アクション:**

対処は不要です。

### CCA-DM-7576

グローバル変数 <globalvariable> はすでに存在します。

**理由:**

グローバル変数 <globalvariable> は、すでに CA Configuration Automation に存在します。

**アクション:**

対処は不要です。

## グローバル変数警告メッセージ

このセクションでは、グローバル変数操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-GV-5505

削除する変数を 1 つ以上選択してください。

**理由:**

グローバル変数が選択されていません。

**アクション:**

1 つ以上のグローバル変数を選択して、削除操作を実行します。

## グラフ警告メッセージ

このセクションでは、グラフ操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-GR-9814

この操作を実行するために 1 つ以上のグラフを選択してください。

**理由:**

選択項目をインポートする操作の際に、JAR 内の利用可能なグラフからグラフが選択されていません。

**アクション:**

選択項目をインポートする操作を実行するには、1 つ以上のグラフを選択します。

## 一般警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で一般的なタスクを実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-LN-1002

結果を UTF-8 エンコーディングに変換するためのコンバータがサーバ <servername> に見つかりません。デフォルトで UTF-8 を使用して結果をデコードします。このサーバのオペレーティング システムの詳細が正しく設定されているか確認してください。

**理由:**

このサーバに設定されているオペレーティング システムの詳細が正しくありません。

**アクション:**

[サーバ] タブで正しいオペレーティング システムの詳細を手動で設定します。必要に応じて、CA Technologies のテクニカル サポートにお問い合わせください。

CCA-LA-1002

この操作を実行するために1つ以上のログ アーカイブを選択してください。

理由:

削除操作を実行するアーカイブ ファイルが選択されていません。

アクション:

アーカイブ ファイルを選択し、削除操作を実行します。

CCA-LA-1006

ログ アーカイブ <アーカイブ ファイル名> は削除できません。ファイルが使用中です。

理由:

<アーカイブ ファイル名> は使用中で、削除できません。

アクション:

使用中のアーカイブ ファイルを閉じて、削除操作を実行します。

CCA-LA-1008

使用中のファイルを除き、選択したログ アーカイブが削除されました。

理由:

1つ以上のログ アーカイブが使用中のため、削除操作を実行できません。

アクション:

アーカイブ ファイルを削除するため、アーカイブ ファイルをすべて閉じます。

## NDG ディスカバリ警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で NDG ディスカバリ操作を実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

## CCA-ND-8066

ノード <NDGservername> 上の Network Discovery Gateway は、IP アドレスが競合する以下のサーバを検出しました: <serverIP>。

**理由:**

同じ IP アドレスを持つサーバが 2 台検出されました。

**アクション:**

サーバを調整します。

## CCA-ND-8067

ノード <NDGservername> 上の Network Discovery Gateway は、ネットワーク レルム <networkrealm> で IP アドレスが競合する以下のサーバを検出しました: <serverIP>。

**理由:**

ネットワーク レルム内で同じ IP アドレスを持つサーバが 2 台検出されました。

**アクション:**

別のネットワーク レルムを使用して、競合する IP アドレスを切り離します。

## CCA-ND-8069

ノード <NDGservername> 上の Network Discovery Gateway は、レルム整合性の問題を検出しました。次のサーバが存在するネットワーク レルムは、ネットワーク プロファイル <networkfilename> 内のネットワーク プロファイル レルム <networkrealm> と一致しません: <servermultirealm>。

**理由:**

あるネットワーク レルム内にすでに存在するターゲット サーバをほかのネットワーク レルムに追加しようとしています。

**アクション:**

1 つのネットワーク レルムに利用可能なサーバが 1 台属するようにします。

## ネットワークスキャン警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でネットワークスキャン操作を実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-NS-7304

この操作を実行するためにポリシーを 1 つ選択してください。

理由:

ネットワークスキャンポリシーを削除、コピー、またはエクスポートする操作に対して、ポリシーが選択されていません。

アクション:

ネットワークスキャンポリシーの削除、コピー、またはエクスポートを実行するには、1 つ以上のポリシーを選択します。

## プロファイル警告メッセージ

このセクションでは、プロファイル操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-PL-3514

削除するプロファイルを 1 つ以上選択してください。

理由:

削除操作を実行するためのプロファイルが選択されていません。

アクション:

1 つ以上のプロファイルを選択します。

CCA-PL-3515

デフォルトに設定するプロファイルを 1 つ選択してください。

理由:

デフォルトとして設定するプロファイルが選択されていません。

アクション:

デフォルトとして設定するプロファイルを 1 つ選択します。

CCA-PL-3516

デフォルトに設定するプロファイルを 1 つだけ選択してください。

理由:

デフォルトとして設定するプロファイルが複数選択されています。

アクション:

デフォルトに設定するプロファイルを 1 つだけ選択します。

CCA-PL-3520

選択されたプロファイル <profilename> は削除できません。1 つ以上のサーバに割り当てられています

理由:

選択したプロファイルが 1 つ以上のサーバに割り当てられています。

アクション:

プロファイル <profilename> が割り当てられているサーバを特定し、そのサーバプロファイルを変更した後、プロファイルを削除します。

CCA-PL-3521

選択されたプロファイルは削除できません。選択されたプロファイルの 1 つ以上がサーバに割り当てられています

**理由:**

選択されたプロファイルの 1 つ以上がサーバに割り当てられています

**アクション:**

プロファイルが割り当てられているサーバを特定し、そのサーバプロファイルを変更した後、プロファイルを削除します。

CCA-PL-3528

有効化するプロファイルを 1 つ以上選択してください。

**理由:**

プロファイルを有効化する操作に対して、管理プロファイルまたはネットワーク プロファイルが選択されていません。

**アクション:**

プロファイルを有効化する操作を実行するには、1 つ以上の管理プロファイルまたはネットワーク プロファイルを選択します。

CCA-PL-3529

無効化するプロファイルを 1 つ以上選択してください。

**理由:**

プロファイルを無効化する操作に対して、管理プロファイルまたはネットワーク プロファイルが選択されていません。

**アクション:**

プロファイルを無効化する操作を実行するには、1 つ以上の管理プロファイルまたはネットワーク プロファイルを選択します。

CCA-PL-3542

選択されたプロファイルは削除できません。選択されたプロファイルの 1 つ以上がサーバに割り当てられています。

**理由:**

選択した通知プロファイルが 1 つ以上のサーバまたは操作に割り当てられています。

**アクション:**

選択した通知プロファイルがいずれのサーバまたは操作にも割り当てられていないことを確認してから、削除操作を実行します。

CCA-PL-3552

この操作を実行するために 1 つ以上のプロファイルを選択してください

**理由:**

プロファイルのインポート中に削除、インポート、選択操作を実行するためのプロファイルが選択されていません。

**アクション:**

プロファイルのインポート中に認証情報ポールトの削除、インポート、選択操作を実行するには、プロファイルを選択します。

CCA-PL-3557

プロファイルを選択してください。

**理由:**

ネットワークの検出、サービスの検出のタスク ウィザード、および修復の操作を実行するための、管理、アクセス、通知、またはネットワーク プロファイルが選択されていません。

**アクション:**

ネットワークの検出、サービスの検出、および修復の操作を実行するには、対応するプロファイルを選択します。

CCA-PL-3562

正常に更新されました。エージェントポートを確認してください。同様の変更をエージェント側でも行う必要があります。これを行わないと通信は行えません。

**理由:**

サーバに割り当てられているアクセスプロファイルを自己登録エージェントから非自己登録エージェントに変更すると、両方のプロファイルのポート番号に差異が生じます。

**アクション:**

エージェントポートを確認します。通信が行えるように、エージェント側、または新しく割り当てられたアクセスプロファイルで変更を行います。

CCA-PL-3572

この操作を実行するためにプロファイルを1つ選択してください。

**理由:**

コピー操作に対して複数のプロファイルが選択されています。

**アクション:**

プロファイルのコピー操作を実行するには、プロファイルを1つだけ選択します。

CCA-PL-3573

このアクションは有効なプロファイルにのみ適用されます。

**理由:**

選択した管理プロファイルは無効です。

**アクション:**

管理プロファイルを実行する前に、選択した管理プロファイルが有効であることを確認します。

CCA-PL-3575

選択されたネットワーク プロファイル <filename> を有効にしてから実行して下さい。

**理由:**

ネットワーク プロファイルが無効です。

**アクション:**

ネットワーク プロファイルを実行する前に、選択したネットワーク プロファイルが有効であることを確認します。

CCA-PL-3576

同時に実行できるのは 1 つのネットワーク プロファイルのみです

**理由:**

ネットワーク プロファイル操作を実行するために、複数のネットワーク プロファイルが選択されています。

**アクション:**

この操作を実行するには、一度に 1 つのネットワーク プロファイルを選択します。

CCA-PL-3579

選択されたプロファイル <filename> は削除できません。1 つ以上のネットワーク プロファイルに割り当てられています

**理由:**

選択したアクセス プロファイルは、1 つ以上のネットワーク プロファイルに割り当てられています。

**アクション:**

選択したアクセス プロファイルを削除する前に、選択したアクセス プロファイルがいずれのネットワーク プロファイルにも割り当てられていないことを確認します。

CCA-PL-3580

選択されたプロファイルは削除できません。選択されたプロファイルの 1 つ以上がネットワーク プロファイルに割り当てられています

理由:

選択した管理プロファイルまたはアクセス プロファイルの 1 つ以上がネットワーク プロファイルに割り当てられています

アクション:

選択した管理プロファイルまたはアクセス プロファイルを削除する前に、選択した管理プロファイルまたはアクセス プロファイルがいずれのネットワーク プロファイルにも割り当てられていないことを確認します。

CCA-PL-3581

選択されたプロファイルは削除できません。選択されたプロファイルの 1 つ以上がサーバまたはサービスに割り当てられています

理由:

選択した管理プロファイルの 1 つ以上がサーバまたはサービスに割り当てられています

アクション:

選択した管理プロファイルを削除する前に、選択した管理プロファイルがいずれのサーバまたはサービスにも割り当てられていないことを確認します。

CCA-PL-3585

選択したプロファイルの 1 つ以上が無効化され実行できません。

理由:

選択された管理プロファイルの 1 つ以上が無効になっています。

アクション:

選択した管理プロファイルを有効にしてから、管理プロファイルを実行します。

CCA-PL-3588

選択されたプロファイルは実行できません。選択されたプロファイルの 1 つ以上がサーバまたはサービスに割り当てられていません。

**理由:**

選択されたプロファイルの 1 つ以上がサーバまたはサービスに割り当てられていません。

**アクション:**

選択したプロファイルをサーバまたはサービスに割り当ててから、管理プロファイルのディスカバリまたはリフレッシュ操作を実行します。

CCA-PL-3622

このアクションは **Softagent** を使用するスキャンポリシーがあるプロファイルにのみ適用可能です。

**理由:**

**Softagent** スキャンポリシーなしで、再実行プロファイルアクションを実行しています。

**アクション:**

ネットワークディスカバリを再実行する前に、**Softagent** スキャンポリシー プロファイルを選択します。

CCA-PL-3919

動的プロファイルは削除できません。選択したプロファイルを削除する前に、新しい動的プロファイルを割り当てる必要があります。

**理由:**

動的プロファイルは削除できません。

**アクション:**

新しい動的プロファイルを設定し、このプロファイルを削除します。

CCA-PL-3606

削除するポリシーを1つ以上選択してください。

理由:

削除操作に対して、ネットワークスキャンポリシーが選択されていません。

アクション:

削除操作を実行するには、1つ以上のポリシーを選択します。

CCA-PL-3612

この操作を実行するために1つ以上のネットワークスキャンポリシーを選択してください。

理由:

インポートを実行するためのネットワークスキャンポリシーが選択されていません。

アクション:

インポートを実行するには、1つ以上のネットワークスキャンポリシーを選択します。

CCA-PL-3614

コピーするポリシーを1つだけ選択してください。

理由:

ポリシーが複数選択されています。

アクション:

コピー操作を実行するには、ポリシーを1つだけ選択します。

CCA-PL-3709

この操作を実行するために通信マッピングを 1 つ選択してください。

理由:

削除操作を実行するための通信マッピングが選択されていません。

アクション:

削除操作を実行するには、1 つ以上の通信マッピングを選択します。

CCA-PL-3725

この操作を実行するためにアプリケーション マッピングを 1 つ以上選択してください。

理由:

削除またはエクスポート操作に対して、アプリケーション マッピングが選択されていません。

アクション:

削除またはエクスポート操作を実行するには、1 つ以上のアプリケーション マッピングを選択します。

CCA-PL-3730

並べ替えるアプリケーション マッピングを 1 つ以上選択してください。

理由:

アプリケーションが選択されていません。

アクション:

1 つ以上のアプリケーション マッピングを選択します。

CCA-PL-3731

アプリケーション マッピング <applicationname> を上に移動させることができます。これが先頭のアプリケーション マッピングです。

理由:

選択したアプリケーション マッピングは先頭のアプリケーション マッピングです。

アクション:

対処は不要です。

CCA-PL-3732

アプリケーション マッピング <applicationname> を下に移動させることができます。これが末尾のアプリケーション マッピングです。

理由:

選択したアプリケーション マッピングは末尾のアプリケーション マッピングです。

アクション:

対処は不要です。

CCA-PL-3649

キャンセルするネットワーク プロファイルを 1 つ選択してください。

理由:

ジョブをキャンセルするネットワーク プロファイルが選択されていません。

アクション:

ジョブをキャンセルするネットワーク プロファイルを選択します。

[CCA-PL-3657](#)

グローバル ルーティング プレフィックスが 64 文字未満の場合は、1 以上のサブネット階層レベルが必要です。

**理由:**

グローバル ルーティング プレフィックス長が 64 未満であるときに、すべてのレベルを削除しようとしています。

**アクション:**

グローバル ルーティング プレフィックス長の値が 64 未満の値 <value> である場合は、サブネット フィルタリング パネルに 1 つ以上のレベルが必要です。同じものは削除できません。

[CCA-PL-3658](#)

サブネット階層のレベル数の合計を 64 より大きくすることはできません - グローバル ルーティング プレフィックス長: <value>

**理由:**

サブネット階層にデフォルトの 64-<value> より多いレベルを追加しようとしています。

**アクション:**

サブネット階層内のレベルの合計数が 64 <value> 以下になるようにします。

[CCA-PL-3659](#)

サブネット階層の各レベルの値を 64 より大きくすることはできません - グローバル ルーティング プレフィックス長: <value>

**理由:**

サブネット階層の各レベルに 64-<value> を超える値を追加しようとしています。

**アクション:**

サブネット階層の各レベルの値が 64 <value> 以下になるようにします。

## 修復ジョブ警告メッセージ

---

### CCA-BP-4423

選択されたブループリント参照を削除してもよろしいですか?

理由:

削除操作の確認。

アクション:

確認が必要です。

### CCA-PL-3814

コピーするプロファイルを 1 つだけ選択してください。

理由:

プロファイルが複数選択されています。

アクション:

コピー操作を実行するプロファイルを 1 つだけ選択します。

### CCA-PL-3823

通知プロファイルはすでに存在します。

理由:

同じ名前の通知プロファイルが存在します。

アクション:

既存の通知プロファイルを更新するには、上書きオプションを選択します。

## 修復ジョブ警告メッセージ

このセクションでは、修復ジョブの実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-RJ-8003

この操作を実行するために1つ以上の修復ジョブを選択してください。

理由:

修復ジョブ操作の実行または削除を実行する対象の修復ジョブ操作が選択されていません。

アクション:

1つ以上の修復ジョブを選択します。

CCA-RJ-8064

修復プロファイルが必要です。

理由:

修復ジョブの作成時に修復プロファイルが指定されていません。

アクション:

既存のプロファイルを選択するか、または新しい修復プロファイルを作成して、新しい修復ジョブの作成時にこれを選択します。

CCA-RJ-8069

修復ジョブに割り当てられているサーバはありません。

理由:

アドホック修復ジョブの実行時に、サーバが選択されていません。

アクション:

1台以上のサーバを選択して、アドホック修復ジョブを実行します。

## 修復プロファイル警告メッセージ

このセクションでは、修復プロファイル操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-RP-1013

削除するステップを 1 つ以上選択してください。

理由:

修復ステップが選択されていません。

アクション:

1 つ以上の修復ステップを選択します。

CCA-RP-1020

並べ替えるステップを 1 つ以上選択してください。

理由:

並べ替えるステップが選択されていません。

アクション:

並べ替える修復ステップを 1 つ以上選択します。

CCA-RP-1021

ステップ <stepname> を上に移動させることができません。これが先頭のステップです。

理由:

この修復ステップはすでに先頭のステップです。

アクション:

対処は不要です。

## CCA-RP-1022

ステップ <stepname> を下に移動させることができません。これが末尾のステップです。

**理由:**

この修復ステップはすでに末尾のステップです。

**アクション:**

対処は不要です。

## CCA-RP-1039

コンポーネント名のブループリントが見つかりません: <component> ; バージョン: 修復プロファイル <profilename> のインポート中の <version>: ステップ <stepname>。ステップはインポートされませんでした。

**理由:**

<componentname> の検出に使用するブループリントが存在しません。この修復ステップは修復プロファイルのインポート時にスキップされます。

**アクション:**

組み込みの CCA ブループリントがない場合は、以下の場所から同じものをダウンロードして、その修復プロファイルをインポートします。

[http://techweb.ca.com/r11impcd/cca\\_updates/cca\\_frame.htm](http://techweb.ca.com/r11impcd/cca_updates/cca_frame.htm)

## CCA-RP-1040

マクロが見つかりません: 修復プロファイル <profilename> のインポート中の <macro>: ステップ <stepname>。ステップはインポートされませんでした。

**理由:**

修復プロファイルのインポート時にマクロ <macro> が見つかりませんでした。この修復ステップは修復プロファイルのインポート時にスキップされます。

**アクション:**

組み込みの CCA ブループリントがない場合は、以下の場所から同じものをダウンロードして、その修復プロファイルをインポートします。

[http://techweb.ca.com/r11impcd/cca\\_updates/cca\\_frame.htm](http://techweb.ca.com/r11impcd/cca_updates/cca_frame.htm)

### CCA-RP-1041

パラメータ名のファイル構造クラス パラメータが見つかりません:  
<parametername>; クラス名: 修復プロファイル <filename> のインポート中の <classname>: ステップ <stepname>。ステップはインポートされませんでした。

理由:

<componentname> の検出に使用するファイル構造クラスが存在しません。この修復ステップは修復プロファイルのインポート時にスキップされます。

アクション:

組み込みの CCA ブループリントがない場合は、以下の場所から同じものをダウンロードして、その修復プロファイルをインポートします。

[http://techweb.ca.com/r11impcd/cca\\_updates/cca\\_frame.htm](http://techweb.ca.com/r11impcd/cca_updates/cca_frame.htm)

### CCA-RP-1042

オーバーレイが見つかりません: 修復プロファイル <filename> のインポート中の <overlay>: ステップ <stepname>。ステップはインポートされませんでした。

理由:

修復プロファイルのインポート時にオーバレイ <overlay> が見つかりません。この修復ステップは修復プロファイルのインポート時にスキップされます。

アクション:

組み込みの CCA ブループリントがない場合は、次の場所から同じものをダウンロードして、その修復プロファイルをインポートします:

[http://techweb.ca.com/r11impcd/cca\\_updates/cca\\_frame.htm](http://techweb.ca.com/r11impcd/cca_updates/cca_frame.htm)

## ルール警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でルール操作の実行中に、表示されるエラー メッセージについて説明します。

CCA-RL-2508

この操作を実行するために 1 つ以上のルールを選択してください。

理由:

ルールが選択されていません。

アクション:

削除操作を実行するには、1 つ以上のルールを選択します。

## ルール コンプライアンス警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でルール操作の実行中に、表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-RE-1628

この操作を実行するために 1 つ以上のルールの例外を選択してください。

理由:

ルール例外を削除または管理するルールが選択されていません。

アクション:

ルール例外を削除または管理するには、ルールを 1 つ以上選択してください。

CCA-RE-1630

ルール例外に追加するサーバおよびサービスが選択されていません。

理由:

ルール例外に追加するサーバまたはサービスが選択されていません。

アクション:

ルール例外を追加するために、サーバまたはサービスを選択します。

## ルール グループ警告メッセージ

このセクションでは、ルール グループ操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-RG-1609

この操作を実行するために 1 つ以上のルール グループを選択してください。

理由:

ルール グループのエクスポート、インポート、削除操作に対して、ルール グループが選択されていません。

アクション:

エクスポート、インポート、削除操作を実行するには、1 つ以上のルール グループを選択します。

### CCA-RG-1617

ルール グループ <groupname> のインポート中にルール <rulename> が見つかりませんでした。

理由:

ルール <rulename> が作成されていないか、ルール <rulename> が削除されています。

アクション:

対処は不要です。

### CCA-RG-1621

追加するルールが選択されていません。

理由:

カテゴリが選択されていますが、ルール グループの作成時にルールが選択されていません。

アクション:

1 つ以上のルールを選択します。

CCA-RG-1623

<count> ルールはルール グループ <groupname> に追加されました。しかし、  
<dupcount> の重複したルールがスキップされました。

**理由:**

一部のルールがルール グループ <rulegroup> に存在していたため、スキップされました。

**アクション:**

対処は不要です。

## レポート警告メッセージ

このセクションでは、レポート操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-RT-6017

1つ以上のインスタンスを選択する必要があります。

**理由:**

削除、共有、または共有解除するレポートインスタンスが選択されていません。

**アクション:**

削除、共有、または共有解除するレポートインスタンスを1つ以上選択します。

## スクリプト警告メッセージ

---

### CCA-RT-6044

このアクションを実行するには、1つ以上のレポートを選択している必要があります。

#### 理由:

レポートを実行または削除する操作に対して、レポートが選択されていません。

#### アクション:

レポートを実行または削除するには、1つ以上のレポートを選択します。

### CCA-RT-6096

<formattype> 形式では、添付ファイルによるレポートはサポートされていません。

#### 理由:

Crystal Reports 形式では、添付ファイルはサポートされていません。

#### アクション:

レポートを添付ファイルにするには、Crystal Reports 以外の形式を選択します。

## スクリプト警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でスクリプト操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-SE-1013

この操作を実行するために1つ以上のスクリプトを選択してください。

#### 理由:

スクリプトが選択されていません。

#### Action:

1つ以上のスクリプトを選択します。

CCA-SE-1030

この操作を実行するには、スクリプトを選択してください。

理由:

コピー操作を実行するためのスクリプトが選択されていません。

Action:

コピー操作を実行するためのスクリプトを選択します。

CCA-SE-1031

この操作を実行するにはスクリプトを 1 つだけ選択してください。

理由:

コピー操作を実行するために複数のスクリプトが選択されています。

Action:

コピー操作を実行するためのスクリプトを 1 つだけ選択します。

## サーバ警告メッセージ

このセクションでは、サーバ操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-SR-1012

この操作を実行するために 1 つ以上のサーバを選択してください。

理由:

サーバが選択されていません。

アクション:

1 つ以上のサーバを選択します。

CCA-SR-1016

この操作を実行するために 2 つ以上のサーバを選択してください。

理由:

比較操作を実行するには、2 つ以上のサーバが必要です。

アクション:

比較操作を実行するには、2 つ以上のサーバを選択します。

CCA-SR-1023

このアクションは管理対象状態のサーバに適用されます。

理由:

選択されたサーバの 1 つ以上が管理対象外状態です。

アクション:

選択したサーバの状態を管理対象に変更します。

CCA-SR-1048

コンポーネントがないサーバのスナップショットは作成できません。

理由:

選択されたサーバの 1 つ以上に検出されたコンポーネントがありません。

アクション:

サーバのコンポーネントを検出します。

CCA-SR-1055

エージェントインストールコマンドはエージェントタイプ以外のアクセスモードのサーバには適用されません。

理由:

選択したサーバの 1 つ以上でアクセスモードタイプがエージェントではありません。

**アクション:**

選択したサーバのアクセス モード タイプをエージェントに変更します。

[CCA-SR-1057](#)

サーバ <servername> 上でディスカバリを実行できません。サーバに割り当てられた管理プロファイルがありません。

**理由:**

管理プロファイルがサーバ <servername> に割り当てられていません。

**アクション:**

サーバ <servername> に管理プロファイルを割り当てます。

[CCA-SR-1058](#)

サーバ <server> 上で管理プロファイルを実行できません。サーバに割り当てられた管理プロファイルがありません。

**理由:**

管理プロファイルがサーバ <servername> に割り当てられていません。

**アクション:**

サーバ <servername> に管理プロファイルを割り当てます。

[CCA-SR-1059](#)

サーバ <servername> 上でリフレッシュを実行できません。サーバに割り当てられた管理プロファイルがありません。

**理由:**

管理プロファイルがサーバ <servername> に割り当てられていません。

**アクション:**

サーバ <servername> に管理プロファイルを割り当てます。

### CCA-SR-1062

サーバ <servername> 上でディスカバリを実行できません。割り当てられた管理プロファイルが無効になっています。

#### 理由:

サーバ <servername> に割り当てられている管理プロファイルが無効になっています。

#### アクション:

サーバ <servername> に割り当てられている管理プロファイルを有効にします。

### CCA-SR-1065

[エージェントの保護]コマンドはアクセスモードが[エージェント]または[保護エージェント]であるサーバにのみ適用されます。

#### 理由:

選択したサーバの 1 つ以上でアクセスモードタイプがエージェントまたは保護エージェントではありません。

#### アクション:

選択したサーバのアクセスモードをエージェントまたは保護エージェントにします。

### CCA-SR-1082

管理対象状態ではないので、このアクションはサーバ <servername> 上で実行できません。

#### 理由:

サーバ <servername> が管理対象状態ではありません。

#### アクション:

サーバ <servernamne> の状態を管理対象に変更します。

### CCA-SR-1091

管理対象状態ではないサーバ上ではこのアクションは実行できません。

**理由:**

選択したサーバが管理対象状態ではありません。

**アクション:**

選択したサーバの状態を管理対象に変更します。

[CCA-SR-1096](#)

サーバ <servername> 上でリフレッシュを実行できません。割り当てられた管理プロファイルが無効になっています。

**理由:**

サーバ <servername> に割り当てられている管理プロファイルが無効になっています。

**アクション:**

サーバ <servername> に割り当てられている管理プロファイルを有効にします。

[CCA-SR-1097](#)

サーバ <servername> 上で管理プロファイルを実行できません。割り当てられた管理プロファイルが無効になっています。

**理由:**

サーバ <servername> に割り当てられている管理プロファイルが無効になっています。

**アクション:**

サーバ <servername> に割り当てられている管理プロファイルを有効にします

[CCA-SR-1114](#)

ディスカバリはサーバ <servername> 上で実行できません。サーバが "管理対象" 状態ではありません。

**理由:**

サーバ <servername> が管理対象状態ではありません。

**アクション:**

サーバ <servernamne> の状態を管理対象に変更します。

[CCA-SR-1115](#)

管理プロファイルはサーバ <servername> 上で実行できません。サーバが "管理対象" 状態ではありません。

**理由:**

サーバ <servername> が管理対象状態ではありません。

**アクション:**

サーバ <servername> の状態を管理対象に変更します。

[CCA-SR-1146](#)

リフレッシュはサーバ <servername> 上で実行できません。サーバが "管理対象" 状態ではありません。

**理由:**

サーバが管理対象状態ではありません。

**アクション:**

サーバの状態を管理対象に変更します。

[CCA-SR-1155](#)

この操作用にサーバを 1 つだけ選択してください。

**理由:**

サーバが複数選択されています。

**アクション:**

サーバを 1 つだけ選択します。

[CCA-SR-1156](#)

この操作用にアプリケーションを 1 つだけ選択してください。

**理由:**

アプリケーションが複数選択されています。

**アクション:**

この操作を実行するには、アプリケーションを1つだけ選択します。

[CCA-SR-1157](#)

この操作を実行するためにサーバを1つ選択してください。

**理由:**

サーバが選択されていません。

**アクション:**

サーバを選択します。

[CCA-SR-1164](#)

サーバ <servername> 上の IP アドレス <ipaddress> のエージェントと通信できません。ただし、IP アドレス <newipaddress> で実行中のエージェントは削除されます。従って、サーバのディスカバリ通信アドレスは、その IP アドレスに設定されます。

**理由:**

サーバ <servername> が指定された IP アドレス <ipaddress> のエージェントと通信できません。

**アクション:**

現在、サーバディスカバリ通信は新しい IP アドレス <newipaddress> に設定されているため、ディスカバリ操作を再実行します。

## サーバグループ警告メッセージ

このセクションでは、サーバグループ操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

## [構造クラス警告メッセージ](#)

---

### [CCA-SG-1509](#)

この操作を実行するために1つ以上のサーバグループを選択してください。

**理由:**

サーバグループのエクスポート、インポート、削除の際に、サーバグループが選択されていません。

**アクション:**

エクスポート、インポート、削除操作を実行するには、1つ以上のサーバグループを選択します。

## [構造クラス警告メッセージ](#)

このセクションでは、構造クラス操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### [CCA-SC-5004](#)

この操作を実行するために1つ以上の構造クラスを選択してください。

**理由:**

削除、エクスポート、コピー、またはインポート操作を実行する際に、構造クラスが選択されていません。

**アクション:**

1つ以上の構造クラスを選択します。

### [CCA-SC-5005](#)

この操作を実行するために構造クラスを1つだけ選択してください。

**理由:**

コピー操作を実行するために複数の構造クラスが選択されています。

**アクション:**

コピー操作を実行するには、構造クラスを1つだけ選択します。

CCA-SC-5024

この操作を実行するために構造クラスを 1 つ選択してください。

理由:

コピー操作を実行する際に、構造クラスが選択されていません。

アクション:

構造クラスを 1 つ選択して、コピー操作を実行します。

CCA-SC-5025

この操作を実行するために構造クラスを 1 つだけ選択してください。

理由:

コピー操作を実行するために複数の構造クラスが選択されています。

アクション:

コピー操作を実行するには、構造クラスを 1 つだけ選択します。

CCA-SC-5043

パラメータ ".\*" を上に移動させることができません。これは末尾にある必要が  
あります。

理由:

パラメータ .\* は、常に末尾にある必要があります。

アクション:

対処は不要です。

## セキュリティ証明書警告メッセージ

---

### CCA-SC-5044

グループ ".\*" を上に移動させることができません。これは末尾にある必要があります。

理由:

グループ .\* は、常に末尾にある必要があります。

アクション:

対処は不要です。

### CCA-SC-5045

パラメータ <paramtername> を下に移動させることができません。パラメータ ".\*" は末尾にある必要があります。

理由:

パラメータ .\* は、常に末尾にある必要があります。

アクション:

対処は不要です。

### CCA-SC-5046

グループ <groupname> を下に移動させることができません。グループ ".\*" は末尾にある必要があります。

理由:

グループ .\* は、常に末尾にある必要があります。

アクション:

対処は不要です。

## セキュリティ証明書警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でセキュリティ証明書操作を実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-CT-9416

証明書を 1 つだけ選択してください

理由:

証明書が複数選択されています。

アクション:

証明書を 1 つだけ選択します。

CCA-CT-9417

削除する証明書を 1 つ以上選択してください

理由:

証明書が選択されていません。

アクション:

削除操作を実行するには、1 つ以上の証明書を選択します。

CCA-CT-9421

HTTPS はすでに有効化されています

理由:

すでに有効化されている HTTPS を有効にしようとしています。

アクション:

対処は不要です。

CCA-CT-9422

HTTPS はすでに無効化されています

理由:

すでに無効化されている HTTPS を無効にしようとしています。

アクション:

対処は不要です。

## セキュリティ証明書警告メッセージ

---

### CCA-CT-9423

このインストールで設定済みの認証局はありません

理由:

認証局が作成されていません。

アクション:

認証局の作成

### CCA-CT-9424

このインストールでは、認証局が設定済みです

理由:

インストール中に認証局がすでに設定されています。

アクション:

対処は不要です。

### CCA-CT-9425

HTTPS はすでに無効化されています。サーバの再起動が必要です

理由:

HTTPS はすでに無効化されています。

アクション:

HTTP でログインするには、CA Configuration Automation サーバを再起動します。

CCA-CT-9426

HTTPS はすでに有効化されています。サーバの再起動が必要です

理由:

HTTPS はすでに有効化されています。

アクション:

HTTPS でログインするには、CA Configuration Automation サーバを再起動します。

CCA-CT-9429

目的が "CCA エージェント" である証明書を選択してください

理由:

選択された証明書の目的が、CA Configuration Automation エージェントではありません。

アクション:

目的が CA Configuration Automation エージェントである証明書を選択します。

CCA-CT-9430

目的が "CCA サーバ" である証明書を選択してください

理由:

選択された証明書の目的が、CA Configuration Automation サーバではありません。

アクション:

目的が CA Configuration Automation サーバである証明書を選択します。

## [セキュリティ証明書警告メッセージ](#)

---

### [CCA-CT-9431](#)

目的が "HTTPS" である証明書を選択してください

理由:

選択された証明書の目的が、HTTPS ではありません。

アクション:

目的が HTTPS である証明書を選択します。

### [CCA-CT-9478](#)

クライアント認証はすでに有効化されています

理由:

すでに有効化されているクライアント認証を有効にしようとしています。

アクション:

対処は不要です。

### [CCA-CT-9479](#)

クライアント認証はすでに無効化されています

理由:

すでに無効化されているクライアント認証を無効にしようとしています。

アクション:

対処は不要です。

### [CCA-CT-9481](#)

クライアント認証はすでに無効化されています。サーバの再起動が必要です

理由:

クライアント認証はすでに無効化されています。

アクション:

クライアント認証なしでログインするには、CA Configuration Automation サーバを再起動します。

CCA-CT-9482

クライアント認証はすでに有効化されています。サーバの再起動が必要です

理由:

クライアント認証はすでに有効化されています。

アクション:

クライアント認証を使用してログインするには、CA Configuration Automation サーバを再起動します。

CCA-CT-9483

クライアント認証を行うには HTTPS を有効にする必要があります

理由:

HTTPS が無効になっています。

アクション:

HTTPS を有効にしてから、クライアント認証を有効にします。

CCA-CT-9490

目的が「クライアント認証」である証明書を選択してください。

理由:

選択された証明書の目的が、クライアント認証ではありません。

アクション:

目的がクライアント認証である証明書を選択します。

## サービス警告メッセージ

このセクションでは、サービス操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-SV-2010

この操作を実行するために 1 つ以上のサービスを選択してください。

**理由:**

変更検出操作を実行するには、1つ以上のサービスが必要です。

**アクション:**

変更検出操作を実行するには、1つ以上のサービスを選択します。

[CCA-SV-2016](#)

この操作を実行するためにサービスを2つ選択してください。

**理由:**

比較操作を実行するには、サービスが2つ必要です。

**アクション:**

比較操作を実行するには、サービスを2つ選択します。

[CCA-SV-2021](#)

このアクションは、ディスカバリが無効にされたサービスには適用されません。

**理由:**

選択された1つ以上のサービスに対して、ディスカバリ操作が無効になっています。

**アクション:**

選択されたサービスに対して、ディスカバリオプションを有効にします。

[CCA-SV-2022](#)

このアクションは、管理が無効にされたサービスには適用されません。

**理由:**

選択された1つ以上のサービスに対して、管理オプションが無効になっています。

**アクション:**

選択されたサービスに対して、管理オプションを有効にします。

CCA-SV-2023

コンポーネントがないサービスのスナップショットは作成できません。

理由:

選択されたサービスの 1 つ以上にコンポーネントがありません。

アクション:

サービス コンポーネントを検出してから、サービス スナップショットを作成します。

CCA-SV-2028

このアクションは、サーバが追加されていないサービスには適用されません。

理由:

選択されたサービスの 1 つ以上にサーバが追加されていません。

アクション:

選択したサービスに 1 つ以上のサーバが追加されているようにします。

CCA-SV-2031

サービス <servicename> 上でディスカバリを実行できません。サービスに割り当てられた管理プロファイルがありません。

理由:

サービス <servicename> に管理プロファイルが割り当てられていません。

アクション:

サービス <servicename> に管理プロファイルを割り当てます。

CCA-SV-2032

サービス <servicename> 上で管理プロファイルを実行できません。サービスに割り当てられた管理プロファイルがありません。

理由:

サービス <servicename> に管理プロファイルが割り当てられていません。

**アクション:**

サービス <servicename> に管理プロファイルを割り当てます。

[CCA-SV-2033](#)

サービス<servicename> 上でリフレッシュを実行できません。サービスに割り当てられた管理プロファイルがありません。

**理由:**

サービス <servicename> に管理プロファイルが割り当てられていません。

**アクション:**

サービス <servicename> に管理プロファイルを割り当てます。

[CCA-SV-2035](#)

サービス <servicename> 上でディスカバリを実行できません。割り当てられた管理プロファイルが無効になっています。

**理由:**

サービス <servicename> に割り当てられている管理プロファイルが無効になっています。

**アクション:**

サービス <servicename> に割り当てられている管理プロファイルを有効にします。

[CCA-SV-2036](#)

サービス<servicename> 上でリフレッシュを実行できません。割り当てられた管理プロファイルが無効になっています。

**理由:**

サービス <servicename> に割り当てられている管理プロファイルが無効になっています。

**アクション:**

サービス <servicename> に割り当てられている管理プロファイルを有効にします。

[CCA-SV-2037](#)

サービス <servicename> 上で管理プロファイルを実行できません。割り当てられた管理プロファイルが無効になっています。

**理由:**

サービス <servicename> に割り当てられている管理プロファイルが無効になっています。

**アクション:**

サービス <servicename> に割り当てられている管理プロファイルを有効にします。

[CCA-SV-2038](#)

この操作を実行するためにサービスを 1 つ選択してください。

**理由:**

サービスが選択されていません。

**アクション:**

この操作を実行するには、サービスを 1 つ選択します。

CCA-SV-2070

サービス <Service Name> のインポート中に管理プロファイル <Management profile name> が見つかりませんでした。デフォルトの管理プロファイルはサービス <Service Name> に設定されました。

理由:

インポートされたサービスに管理プロファイルが割り当てられていません。

アクション:

対処は不要です。

CCA-SV-2071

サービス <Service Name> のインポート中に、サーバ <Hostname> が見つからなかったか、管理対象状態ではありませんでした。

理由:

インポートされたサービスに、管理対象外のサーバまたは CA Configuration Automation に存在しないサーバが含まれています。

アクション:

以下のいずれかのタスクを実行します。

- 対応するサーバの状態を管理対象に更新し、サービスをインポートします。
- 存在しないサーバを作成し、サービスをインポートします。

CCA-SV-2072

サービス <ServiceName> のインポート中にサーバグループ <ServerGroupName> が見つかりませんでした。

理由:

サービス定義に含まれるサーバグループが、CA Configuration Automation に存在しません。

アクション:

対処は不要です。

#### CCA-SV-2075

同じ名前のサービスがすでにデータベース内に存在します。

理由:

同じ名前のサービス定義が存在しています。

アクション:

既存のサービス定義を更新する必要がある場合は、[既存のサービスを上書き] オプションを使用します。

#### CCA-SV-2076

サービス <Service Name> をインポートできません。<Current Activity>。

理由:

一部のアクティビティが現在実行中であるため、サービスをインポートできません。

アクション:

現在のアクティビティが完了してからサービスをインポートします。

## サービス プロファイル警告メッセージ

このセクションでは、サービス プロファイル操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

#### CCA-SVCP-1005

リストにはすでに選択内容が含まれています。選択し直してください

理由:

リスト内で選択内容が重複しています。

アクション:

選択したリストが一意であるようにします。

## スナップショット警告メッセージ

このセクションでは、スナップショット操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-ST-3013

選択されたスナップショットは指定が設定されているため削除できません。指定を削除してから、削除を試みてください。

理由:

選択したスナップショットに指定が設定されています。

アクション:

指定を削除してから、スナップショットを削除します。

### CCA-ST-3017

この操作を実行するために 1 つ以上のスナップショットを選択してください。

理由:

スナップショット情報が指定されていません。

アクション:

1 つ以上のスナップショットを選択します。

### CCA-ST-3018

<snapshotdesignation> に設定するスナップショットを 1 つだけ選択してください。

理由:

スナップショットが複数選択されています。

アクション:

スナップショットを 1 つだけ選択します。

CCA-ST-3020

選択されたスナップショットはすでに <snapshotdesignation> として指定されています。

理由:

指定したスナップショットはすでに存在しています。

アクション:

対処は不要です。

CCA-ST-3046

この操作を実行するために 2 つ以上のスナップショットの選択はサポートされていません。

理由:

2 つ以上のスナップショットが選択されています。

アクション:

スナップショットを 2 つだけ選択して、変更検出操作を実行します。

CCA-ST-3052

コンポーネントをインポートするブループリント名 <blueprintname>、ブループリントバージョン <version>、およびコンポーネントバージョン <version> が存在しません。

理由:

ブループリントが存在しません。

アクション:

対処は不要です。

CCA-ST-3053

インポートするブループリント <blueprintname> にパラメータ <paramtername> が存在しません。

## ストレージ エリア ネットワーク警告メッセージ

---

### 理由:

ブループリント <blueprintname> にパラメータ <paramtername> が存在しません。

### アクション:

対処は不要です。

## CCA-ST-3054

インポートするコンポーネント <componentname> 構成バケット ブループリント 内に、構成ファイル <file> が存在しません。

### 理由:

ブループリント <blueprintname> に構成ファイル <file> が存在しません。

### アクション:

対処は不要です。

## ストレージ エリア ネットワーク警告メッセージ

このセクションでは、ストレージ エリア ネットワーク操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

## CCA-SS-1001

この操作を実行するために 1 つ以上のストレージ システムを選択してください。

### 理由:

ストレージ システムが選択されていない状態で、ストレージ システムのエクスポートまたはストレージ システムの削除操作を実行しようとしています。

### アクション:

エクスポート操作または削除操作を実行するには、1 つ以上のストレージ システムを選択します。

## プロパティ警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でプロパティ操作を実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

この操作を実行するために 1 つ以上のプロパティを選択してください。

**理由:**

プロパティが選択されていません。

**アクション:**

プロパティをエクスポートするには、プロパティを 1 つ以上選択します。

## テナント警告メッセージ

このセクションでは、テナント操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-TN-9964

この操作を実行するために 1 つ以上のテナントを選択してください。

**理由:**

テナントを表示またはテナントを削除する操作の実行時に、テナントが選択されていません。

**アクション:**

この操作を実行するには、1 つ以上のテナントを選択します。

CCA-TN-9969

この操作を実行するために 1 つ以上のテナント グループを選択してください。

**理由:**

テナント グループを削除する操作の実行時に、テナント グループが選択されていません。

**アクション:**

この操作を実行するには、1 つ以上のテナント グループを選択します。

## テーブル ビュー警告メッセージ

このセクションでは、テーブル ビュー操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

### CCA-TV-7006

この操作を実行するために 1 つ以上のテーブル ビューを選択してください。

**理由:**

テーブル ビューが選択されていません。

**アクション:**

削除またはエクスポート操作を実行するには、1 つ以上のテーブル ビューを選択します。

### CCA-TV-7007

この操作を実行するためにテーブル ビューを 1 つだけ選択してください。

**理由:**

現在のビューとして設定するために、複数のテーブル ビューが選択されています。

**アクション:**

現在のビューとして設定するテーブル ビューを 1 つだけ選択します。

## タスク ウィザード警告メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でタスク ウィザード操作を実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

CCA-TW-1004

ポリシーを選択してください。

理由:

ネットワーク スキャン ポリシーが選択されていません。

アクション:

ネットワーク スキャン ポリシーを選択します。

CCA-TW-1015

Network Discovery Gateway は見つかりませんでした。1つ追加して続行してください。

理由:

Network Discovery Gateway が使用できません。

アクション:

Network Discovery Gateway を追加します。

CCA-TW-1017

1つ以上のサーバが必要です。

理由:

アクセス プロファイルの割り当て、コンプライアンス ジョブの実行、サービスの検出、ネットワークの検出などの操作を実行するためのサーバが使用できません。

アクション:

アクセス プロファイルの割り当て、コンプライアンス ジョブの実行、サービスの検出、ネットワークの検出などの操作を実行するには、1つ以上のサーバを追加します。

## プロファイルの UI エクスポートおよびインポート警告メッセージ

このセクションでは、プロファイルの UI エクスポートおよびインポート操作の実行中に表示される警告メッセージについて説明します。

#### CCA-MP-5604

Catalyst 属性プロファイル <profilename> が存在しません。管理プロファイル <managementprofilename> に割り当てられていません。必要な場合は、管理プロファイルを手動で更新してください。

**理由:**

エクスポートされた管理プロファイル JAR ファイルで Catalyst 属性プロファイルを使用することができますが、インポート操作時に CA Configuration Automation サーバで使用することはできません。

**アクション:**

必要に応じて、Catalyst 属性プロファイルを作成し、管理プロファイルを手動で更新します。

#### CCA-MP-5605

管理プロファイル <managementprofilename> のインポート中にルール グループ <rulegrouplist> が見つかりませんでした。

**理由:**

エクスポートされた JAR ファイルでルール プロファイルを使用することができますが、インポート操作時に CA Configuration Automation サーバで使用することはできません。

**アクション:**

必要に応じて、ルール グループを作成し、管理プロファイルを手動で更新します。

# 第4章: 情報メッセージ

---

CA Configuration Automation の操作時に、以下の情報メッセージが表示される場合があります。情報メッセージは情報を表示するものであり、通常、ユーザの対応は不要です。

## ブループリント情報メッセージ

このセクションでは、ブループリント操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-BP-4001: ブループリント <blueprintname> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4002: ブループリント <blueprintname> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4003: ブループリント <blueprintname> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4005: 検索オプション <searchoptions> は正常に作成されました。

- CCA-BP-4006: 検索オプション <searchoptions> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4007: 検索オプション <searchoptions> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4008: ネットワーク プローブ <networkprobe> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4009: ネットワーク プローブ <networkprobe> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4010: ネットワーク プローブ <networkprobe> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4011: ディスカバリ検証ルール <verification rule> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4012: ディスカバリ検証ルール <verification rule> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4013: ディスカバリ検証ルール <verification rule> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4016: <blueprint name> のディスカバリが正常に有効化されました。
- CCA-BP-4017: <blueprint name> のディスカバリが正常に無効化されました。
- CCA-BP-4018: ファイル <file name> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4019: ファイル <file name> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4020: ファイル <file name> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4021: 値 <value> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4022: 値 <value> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4023: 値 <value> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4024: キー <key name> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4025: キー <key name> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4026: キー <key name> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4027: ディレクトリ <directory> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4028: ディレクトリ <directory> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4029: ディレクトリ <directory> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4030: ファイルシステム ルートは正常に更新されました。
- CCA-BP-4031: レジストリ ルートは正常に更新されました。

- CCA-BP-4032: パラメータ <parameter> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4033: パラメータ <parameter> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4034: パラメータ <parameter> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4036: 実行可能ファイル <executable> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4037: 実行可能ファイル <executable> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4038: 実行可能ファイル <executable> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4039: データベース <database> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4040: テーブル <table> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4041: データベース <database> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4042: テーブル <table> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4043: データベース <database> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4044: テーブル <table> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4045: クエリ <query> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4046: クエリ <query> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4047: クエリ <query> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4087: ブループリント詳細の変更が破棄されました。
- CCA-BP-4088: インジケータの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4089: ネットワーク プローブの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4090: ディレクティブの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4091: ファイル管理の変更が破棄されました。
- CCA-BP-4092: レジストリ管理の変更が破棄されました。
- CCA-BP-4093: データ管理の変更が破棄されました。
- CCA-BP-4094: パラメータの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4095: ファイルの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4096: 実行可能ファイルの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4097: 構成データの変更が破棄されました。

- CCA-BP-4098: グループ化オプションの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4099: トランスレート処理 <translation> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4100: トランスレート処理 <translation> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4101: トランスレート処理 <translation> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4108: サーバ <server> でのディスカバリが開始しました。
- CCA-BP-4122: 選択されたブループリントが有効になりました。
- CCA-BP-4123: 選択されたブループリントが無効になりました。
- CCA-BP-4124: 選択されたブループリントが削除されました。
- CCA-BP-4147: 選択されたブループリントは正常にエクスポートされました。
- CCA-BP-4150: マクロの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4151: マクロ <macro> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4152: マクロ <macro> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4153: マクロ <macro> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4154: ステップの変更が破棄されました。
- CCA-BP-4155: ステップ <step> は正常に削除されました。
- CCA-BP-4156: ステップ <step> は正常に作成されました。
- CCA-BP-4157: ステップ <step> は正常に更新されました。
- CCA-BP-4158: ステップ <step> は正常に移動されました。
- CCA-BP-4159: ブループリント <blueprint> は正常にインポートされました。
- CCA-BP-4192: ファイルは正常に並べ替えられました。
- CCA-BP-4193: ディレクトリは正常に並べ替えられました。
- CCA-BP-4194: 値は正常に並べ替えられました。
- CCA-BP-4195: キーは正常に並べ替えられました。
- CCA-BP-4424: 選択されたブループリント参照は正常に削除されました。

- CCA-BP-4246: 選択したフォルダおよびそのサブフォルダとファイルに対して、[時刻変化] フィルタが正常に更新されました。
- CCA-BP-4247: 選択したファイルに対して [時刻変化] フィルタが正常に更新されました。
- CCA-BP-4248: 選択したフォルダおよびそのサブフォルダとファイルに対して、[変更検出を実行しない] フィルタが正常に更新されました。
- CCA-BP-4249: 選択したファイルに対して [変更検出を実行しない] フィルタが正常に更新されました。

#### CCA-BP-4110

ファイル <file name> がツリーに追加されました。ブループリントに追加するには、確認してから保存してください。

理由:

[参照] ダイアログ ボックスからツリーにファイル <file name> が追加されました。

Action:

ブループリントのコンテンツを確認して保存します。

#### CCA-BP-4111

ディレクトリ <directory name> がツリーに追加されました。ブループリントに追加するには、確認してから保存してください。

理由:

[参照] ダイアログ ボックスからツリーにディレクトリ <directory name> が追加されました。

Action:

ブループリントのコンテンツを確認して保存します。

**CCA-BP-4112**

キー <key name> がツリーに追加されました。ブループリントに追加するには、確認してから保存してください。

理由:

[参照] ダイアログ ボックスからツリーにキー <key name> が追加されました。

Action:

ブループリントのコンテンツを確認して保存します。

**CCA-BP-4113**

値 <value name> がツリーに追加されました。ブループリントに追加するには、確認してから保存してください。

理由:

[参照] ダイアログ ボックスからツリーに値 <value name> が追加されました。

Action:

ブループリントのコンテンツを確認して保存します。

**CCA-BP-4114**

検索オプション <search option> がツリーに追加されました。ブループリントに追加するには、確認してから保存してください。

理由:

[参照] ダイアログ ボックスからツリーに検索オプション <search option> が追加されました。

Action:

ブループリントのコンテンツを確認して保存します。

**CCA-BP-4115**

ファイル <file name> がツリーで更新されました。ブループリントで更新するには、確認してから保存してください。

理由:

【参照】ダイアログ ボックスからツリーのファイル <file name> が更新されました。

Action:

コンテンツを確認して保存し、ブループリントで更新します。

**CCA-BP-4116**

ディレクトリ <directory name> がツリーで更新されました。ブループリントで更新するには、確認してから保存してください。

理由:

【参照】ダイアログ ボックスからツリーのディレクトリ <directory name> が更新されました。

Action:

コンテンツを確認して保存し、ブループリントで更新します。

**CCA-BP-4117**

キー <key name> がツリーで更新されました。ブループリントで更新するには、確認してから保存してください。

理由:

【参照】ダイアログ ボックスからツリーのキー <key name> が更新されました。

Action:

コンテンツを確認して保存し、ブループリントで更新します。

**CCA-BP-4118**

値 <value name> がツリーで更新されました。ブループリントで更新するには、確認してから保存してください。

**理由:**

〔参照〕 ダイアログ ボックスからツリーの値 <value name> が更新されました。

**Action:**

コンテンツを確認して保存し、ブループリントで更新します。

**CCA-BP-4119**

検索オプション <search option> がツリーで更新されました。ブループリントで更新するには、確認してから保存してください。

**理由:**

〔参照〕 ダイアログ ボックスからツリーの検索オプション <search option> が更新されました。

**Action:**

コンテンツを確認して保存し、ブループリントで更新します。

**CCA-BP-4177**

ファイル <file name> が解析され、コンテンツがツリーに追加されました。ブループリントに追加するには、確認してから保存してください。

**理由:**

ファイル <file name> が解析され、コンテンツが 〔参照〕 ダイアログ ボックスからツリーに追加されました。

**Action:**

ブループリントのコンテンツを確認して保存します。

**CCA-BP-4200**

コンポーネントが見つかりません。

理由:

テストディスカバリ操作は正常に終了しましたが、コンポーネントが見つかりませんでした。

Action:

対処は不要です。

**CCA-BP-4201**

テストディスカバリはキャンセルされました。

理由:

テストディスカバリ操作正常にキャンセルされました。

Action:

対処は不要です。

**CCA-BP-4209**

ブループリントがすでに存在します。Cohesion ブループリントで上書きできません。

理由:

Cohesion ブループリントで既存のブループリントを上書きできません。

Action:

対処は不要です。

### CCA-BP-4211

項目がツリーに追加されました。ブループリントに追加するには、確認してから保存してください。

理由:

[参照] ダイアログ ボックスを使用して項目が追加されました。

Action:

ブループリントに追加された項目を確認して保存します。

## ブループリント グループ情報メッセージ

このセクションでは、ブループリント グループ操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-BG-4501: ブループリント グループ <blueprint group> は正常に作成されました。
- CCA-BG-4502: ブループリント グループ <blueprint group> は正常に更新されました。
- CCA-BG-4503: ブループリント グループ <blueprint group> は正常に削除されました。
- CCA-BG-4504: 選択されたブループリント グループは正常に削除されました。
- CCA-BG-4510: ブループリント グループ <blueprint group> がエクスポートされました。
- CCA-BG-4513: ブループリント グループ <blueprint group> がインポートされました。
- CCA-BG-4514: ブループリント グループ <Blueprintgroupname> からブループリント <Blueprintname> 参照が正常に削除されました。

**CCA-BG-4515**

ブループリント グループ <blueprint group> からブループリント <blueprint name> 参照を削除できませんでした。

**理由:**

これは通知目的です。この情報メッセージは、以前のエラーによって表示されたものか、ブループリント参照が 1 つも削除されなかつたことによるものです。

**Action:**

ブループリント参照の削除に関する以前のエラーメッセージがログにある場合は、同じものをこのドキュメントで検索します。そうでない場合、対処は不要です。

## コンプライアンス ジョブ情報メッセージ

このセクションでは、コンプライアンス ジョブの実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-CM-9002: 選択されたコンプライアンス ジョブが削除されました。
- CCA-CM-9003: コンプライアンス ジョブ <jobname> が削除されました。
- CCA-CM-9004: コンプライアンス ジョブ <jobname> が作成されました。
- CCA-CM-9005: コンプライアンス ジョブ <jobname> が更新されました。
- CCA-CM-9006: コンプライアンス ジョブの変更が破棄されました。
- CCA-CM-9009: コンプライアンス ジョブ <jobname> の実行が開始されました。
- CCA-CM-9010: コンプライアンス ジョブ <jobname> の実行が終了しました。
- CCA-CM-9020: コンプライアンス ジョブは正常に開始されました。
- CCA-CM-9021: コンプライアンス ジョブ <jobname> が開始されました。

- CCA-CM-9022: コンプライアンス ジョブ <jobname> は正常に終了しました。
- CCA-CM-9025: コンプライアンス ジョブ <jobname> が保存されました。
- CCA-CM-9028: 選択されたコンプライアンス履歴が削除されました。
- CCA-CM-9029: コンプライアンス履歴ジョブ <jobname> が削除されました。

## コンポーネント情報メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でコンポーネント操作を実行中に表示される情報メッセージについて説明します。以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-CM-9302: 選択されたコンポーネントが削除されました。
- CCA-CM-9304: コンポーネント <componentname> は正常に削除されました。
- CCA-CM-9306: コンポーネント <componentname> はサービス <servicename> 内にあり、サーバ <servername> から削除することはできません。
- CCA-CM-9309: 選択したコンポーネントのコンポーネント リフレッシュ ジョブがサブミットされました。
- CCA-CM-9316: サーバ "<servername>" のコンポーネント <compname> が、サービス "<servicename>" から正常に削除されました。

## Catalyst ジョブ情報メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でルール Catalyst ジョブを実行中に表示されるエラーメッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-CJ-9901: 選択された Catalyst ジョブが削除されました。
- CCA-CJ-9902: Catalyst ジョブ ¥"{}0¥" は正常に削除されました。
- CCA-CJ-9903: Catalyst ジョブは正常に開始されました。

- CCA-CJ-9906: Catalyst ジョブの変更が破棄されました。
- CCA-CJ-9907: Catalyst ジョブ <job name> は正常に作成されました。
- CCA-CJ-9909: Catalyst ジョブ <job name> は正常に更新されました。
- CCA-CJ-9911: Catalyst ジョブ <job name> が開始しました。
- CCA-CJ-9912: Catalyst ジョブ <job name> が終了しました。
- CCA-CJ-9916: 再発行を開始するために、Catalyst ジョブによってエクスポートされた CI をクリアしています。

## Catalyst プロファイル情報メッセージ

このセクションでは、Catalyst プロファイル操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-PL-3900: Catalyst 属性プロファイル <profile name> は正常に作成されました。
- CCA-PL-3905: Catalyst 属性プロファイル <profile name> は正常に更新されました。
- CCA-PL-3906: Catalyst 属性プロファイルの変更が破棄されました。
- CCA-PL-3907: Catalyst 属性プロファイル <profile name> は正常に削除されました。
- CCA-PL-3911: Catalyst 属性プロファイル <profile name> は正常にインポートされました。
- CCA-PL-3912: Catalyst 属性プロファイル <profile name> は正常に更新されました。
- CCA-PL-3913: Catalyst ジョブ <job name> は正常に作成されました。
- CCA-PL-3916: Catalyst ジョブ <job name> は正常に更新されました。
- CCA-TN-9951: テナント <tenant name> は正常に追加されました。

- CCA-TN-9952: テナント <tenant name> は正常に削除されました。
- CCA-TN-9960: テナント グループ <group name> は正常に更新されました。
- CCA-TN-9961: テナント グループ <group name> は正常に追加されました。
- CCA-TN-9962: テナント グループ <group name> が正常に削除されました。
- CCA-TN-9966: 選択されたテナントが正常に削除されました。
- CCA-TN-9968: 選択されたテナント グループが正常に削除されました。
- CCA-TN-9972: テナント管理者リストは正常に更新されました。
- CCA-TN-9973: テナント閲覧ユーザ リストは正常に更新されました。

## 証明書情報メッセージ

このセクションでは、証明書に関する操作の実行中に表示され、かつユーザアクションを必要としない通知メッセージについて説明します。

- CCA-CT-9498: ユーザー <username> の <certificatepurpose> 証明書が削除されました。

## 変更検出および比較情報メッセージ

このセクションでは、変更検出および比較操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-DF-9152: サーバ <servername> での <snapshotdesignation1> と <snapshotdesignation2> との間の変更検出が開始しました。
- CCA-DF-9153: サーバ <servername> での <snapshotdesignation1> と <snapshotdesignation2> との間の変更検出が終了しました。<resultURL>。
- CCA-DF-9155: サービス <servicename> での <snapshotdesignation1> と <snapshotdesignation2> との間の変更検出が開始しました。
- CCA-DF-9157: サービス <servicename> での <snapshotdesignation1> と <snapshotdesignation2> との間の変更検出が終了しました。<resultURL>

- CCA-DF-9158: サーバ <servername1> スナップショット <snapshotname1> とサーバ <servername2> スナップショット <snapshotname2>との比較が開始しました。
- CCA-DF-9160: サーバ <servername1> スナップショット <snapshotname1> とサーバ <servername2> スナップショット <snapshotname2>との比較が終了しました。 <resultURL>。
- CCA-DF-9161: サービス <servicename1> スナップショット <snapshotname1> とサービス <servicename2> スナップショット <snapshotname2>との比較が開始しました。
- CCA-DF-9163: サービス <servicename1> スナップショット <snapshot1> とサービス <servicename2> スナップショット <snapshotname3>との比較が終了しました。 <resultURL>。
- CCA-DF-9164: クリーンアップタスクにより、<1> 日以上古い比較/変更検出履歴レコードが <1> 件見つかりました。
- CCA-DF-9169: <1> 個のサーバの変更検出タスクが開始しました。
- CCA-DF-9170: <1> 個のサービスの変更検出タスクが開始しました。
- CCA-DF-9171: サーバ <servername> と <1> 個のサーバとの比較タスクが開始しました。
- CCA-DF-9172: サービス <servicename1> とサービス <servicename2>との比較タスクが開始しました。
- CCA-DF-9174: <1> 個のサービスの変更検出タスクが終了しました。 <1> 件の相違が検出されました。
- CCA-DF-9175: サーバ <servername> の <1> 個のサーバに対する比較タスクが終了しました。 <1> 件の相違が検出されました。
- CCA-DF-9176: サービス <servicename1> とサービス <servicename2>との比較タスクが終了しました。 <1> 件の相違が検出されました。

## グローバル変数情報メッセージ

このセクションでは、グローバル変数操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-GV-5501: グローバル変数 <variablename> が正常に作成されました。

- CCA-GV-5502: グローバル変数 <variablename> が正常に更新されました。
- CCA-GV-5503: グローバル変数 <variablename> が正常に削除されました。
- CCA-GV-5504: 選択されたグローバル変数が削除されました。
- CCA-GV-5509: グローバル変数は正常にインポートされました。
- CCA-GV-5512: グローバル変数の変更が破棄されました。

## グラフ情報メッセージ

このセクションでは、グラフ操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-GR-9801: グラフ <graphname> が削除されました。
- CCA-GR-9802: グラフ <graphname> が作成されました。
- CCA-GR-9803: グラフ <graphname> が更新されました。
- CCA-GR-9806: デフォルト グラフが <graphname> に設定されました。
- CCA-GR-9808: グラフ <currentname> は <newname> に名前変更されました。
- CCA-GR-9809: グラフ <graphname> がエクスポートされました。
- CCA-GR-9810: グラフ <graphname> がインポートされました。
- CCA-GR-9816: フォルダ <graphfoldername> が作成されました。
- CCA-GR-9817: フォルダ <graphfoldername> が削除されました。
- CCA-GR-9823: フォルダ <graphfoldername> が更新されました。
- CCA-GR-9830: 選択されたクラスタが正常に削除されました。
- CCA-GR-9806: デフォルト グラフが <graphname> に設定されました。

## 一般情報メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で一般的なタスクを実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-GM-0031: ヒープダンプがすべてのグリッドサーバで開始しました。
- CCA-GM-0032: ヒープダンプが CCA サーバ <Hostname> で開始しました。
- CCA-GM-0033: ヒープダンプがグリッドサーバ <Hostname> (プロセス ID <id>) で開始しました。
- CCA-GM-0035: CCA サーバ <Hostname> のヒープダンプが作成され、ファイル <output file> に圧縮されました。
- CCA-GM-0036: グリッドサーバ <Hostname> (プロセス ID <id>) のヒープダンプが作成され、ファイル <output file> に圧縮されました。
- CCA-LA-1004: 選択されたログアーカイブが削除されました。
- CCA-LA-1005: ログアーカイブ <archive file name> は正常に削除されました。
- CCA-LA-1007: <number1> 件のログエントリおよび <number2> 件のネットワークディスカバリ詳細ログがファイル <archived file name> にアーカイブされます。
- CCA-LOG-8202: 自動リフレッシュが有効になりました。
- CCA-LOG-8203: 自動リフレッシュが無効になりました。

## データ移行情報メッセージ

このセクションでは、データ移行操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-DM-7506: データベースが正常に接続しました。
- CCA-DM-7510: データ移行が正常に完了しました。

- CCA-DM-7515: 証明書は正常にインポートされました。サーバの再起動が必要です。
- CCA-DM-7524: Cohesion データベースから CCA データベースへのデータ移行を開始しています。
- CCA-DM-7525: Cohesion データベースから CCA データベースへのデータ移行が完了しました。
- CCA-DM-7526: Cohesion データベースからアーカイブファイルへのデータ移行を開始しています。
- CCA-DM-7527: Cohesion データベースからアーカイブファイルへのデータ移行が完了しました。
- CCA-DM-7528: jar ファイルを作成しています...
- CCA-DM-7529: jar ファイルの作成が完了しました。
- CCA-DM-7530: Cohesion データベースから共通ファイルフォーマットへのデータエクスポートが開始しました。
- CCA-DM-7531: 共通ファイル形式にデータをエクスポートしています。
- CCA-DM-7532: CCA データベースへのデータロードが開始しました。
- CCA-DM-7533: CCA データベースへのデータロードが完了しました。
- CCA-DM-7534: ブループリントをインポートしています...
- CCA-DM-7535: ブループリントのインポートが完了しました。
- CCA-DM-7536: インポートするブループリントがありません。
- CCA-DM-7538: ブループリント <blueprintname> バージョン [<blueprintversion>] コンポーネントバージョン <componentversion> は正常にインポートされました。
- CCA-DM-7541: アクセスプロファイルをインポートしています...
- CCA-DM-7542: アクセスプロファイルのインポートが完了しました。
- CCA-DM-7543: インポートするアクセスプロファイルがありません。
- CCA-DM-7544: 管理プロファイルをインポートしています...
- CCA-DM-7545: 管理プロファイルのインポートが完了しました。

- CCA-DM-7546: インポートする管理プロファイルがありません。
- CCA-DM-7547: サーバをインポートしています...
- CCA-DM-7548: サーバのインポートが完了しました。
- CCA-DM-7549: インポートするサーバがありません。
- CCA-DM-7550: サーバ グループをインポートしています...
- CCA-DM-7551: サーバ グループのインポートが完了しました。
- CCA-DM-7552: インポートするサーバ グループがありません。
- CCA-DM-7553: サービスをインポートしています...
- CCA-DM-7554: サービスのインポートが完了しました。
- CCA-DM-7555: インポートするサービスがありません。
- CCA-DM-7557: <objectname> は正常にインポートされました。
- CCA-DM-7558: <number> ブループリントがフィルタ条件を使用してエクスポート用に選択されました。
- CCA-DM-7561: 合計 : <totalcount> 成功 : <successcount> 失敗 : <failedcount>
- CCA-DM-7562: ブループリント <blueprintname> バージョン [<blueprintversion>] コンポーネント バージョン <componentversion> をインポートしています....
- CCA-DM-7566: アーカイブ ファイルから CCA データベースへのデータ移行が完了しました。
- CCA-DM-7568: JAR ファイルの検証が成功しました。
- CCA-DM-7569: JAR ファイルを展開しています。

- CCA-DM-7573: グローバル変数のインポートが完了しました。
- CCA-DM-7575: グローバル変数のエクスポートが完了しました。
- CCA-DM-7577: 合計 : <totalcount> 成功 : <successcount> 失敗 : <failedcount>
- CCA-DM-7579: ブループリント <blueprintname> バージョン (<blueprintversion>) コンポーネントバージョン(<componentversion>) は正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7582: <Count> サーバがフィルタ条件を使用してエクスポート用に選択されました。
- CCA-DM-7583: <Count> サービスがフィルタ条件を使用してエクスポート用に選択されました。
- CCA-DM-7584: <Count> サーバ グループがエクスポート用に選択されました。
- CCA-DM-7585: サービス <servicename> は正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7586: サーバ <servername> は正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7587: サーバ グループ <servergroupname> は正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7588: アクセスプロファイル <profilename> のエクスポートがサーバ ID <serverid> で開始しました。
- CCA-DM-7589: アクセスプロファイル <profilename> がサーバ ID <serverid> で正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7590: 管理プロファイル <profilename> のエクスポートが開始しました。

- CCA-DM-7591: 管理プロファイル <filename> が正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7592: 通知プロファイル <filename> のエクスポートが開始しました。
- CCA-DM-7593: 通知プロファイル <filename> が正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7596: 管理プロファイルスケジュールのエクスポートが開始しました。
- CCA-DM-7597: 管理プロファイルスケジュールが正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7599: セキュリティ証明書は正常にインポートされました。
- CCA-DM-7604: グローバル変数をインポートしています...
- CCA-DM-7605: インポートするグローバル変数がありません。
- CCA-DM-7619: サーバスナップショットをインポートしています...
- CCA-DM-7620: インポートするサーバスナップショットがありません。
- CCA-DM-7621: サーバスナップショットのインポートが完了しました。
- CCA-DM-7622: サービススナップショットをインポートしています...
- CCA-DM-7623: インポートするサービススナップショットがありません。
- CCA-DM-7624: サービススナップショットのインポートが完了しました。
- CCA-DM-7625: <count> サーバスナップショットがフィルタ条件を使用してエクスポート用に選択されました。
- CCA-DM-7626: サーバスナップショット <snapshotname> は正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7627: サービススナップショット <snapshotname> は正常にエクスポートされました。
- CCA-DM-7628: <Count> サービススナップショットがフィルタ条件を使用してエクスポート用に選択されました。
- CCA-DM-7633: <value> は無効なファイル検索階層数の値です。整数である必要があります。

**CCA-DM-7641**

指定された名前のホストが見つかりませんでした

理由:

CA Cohesion データベースからエクスポートされるサーバが解決できなかつたため、CA Configuration Automation にインポートされませんでした。

Action:

対処は不要です。

## ダッシュボード情報メッセージ

このセクションでは、ダッシュボード操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCADB-9701: ダッシュボード <Dashboard Name> が削除されました。
- CCADB-9702: ダッシュボード <Dashboard Name> が作成されました。
- CCADB-9703: ダッシュボード <Dashboard Name> が更新されました。
- CCADB-9706: デフォルト ダッシュボードが <Dashboard name> に設定されました。
- CCADB-9707: デフォルト ダッシュボードは削除できません。
- CCADB-9708: ダッシュボード <New Name> は <Old Name> に名前変更されました。
- CCADB-9709: ダッシュボード <Dashboard name> がエクスポートされました。
- CCADB-9710: ダッシュボード <Dashboard name> がインポートされました。

## エクスポートおよびインポート情報メッセージ

このセクションでは、エクスポートおよびインポート操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-EX-5805: エクスポート操作が開始されました。
- CCA-EX-5806: 選択されたオブジェクトのエクスポート操作が開始されました。
- CCA-IM-5924: <objectname> は正常にインポートされました。
- CCA-IM-5926: CSV ファイルは正常に処理されました。

## 管理プロファイル情報メッセージ

このセクションでは、管理プロファイル操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-PL-3812: 管理プロファイル <profilename> からブループリント <Blueprintname> 参照が正常に削除されました。

## NDG 情報メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で NDG 操作を実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-NR-1701: Network Discovery Gateway <NDGservername> は正常に追加されました。
- CCA-NR-1702: Network Discovery Gateway <NDGservername> は正常に更新されました。

- CCA-NR-1703: Network Discovery Gateway <NDGservername> は正常に削除されました。
- CCA-NR-1704: Network Discovery Gateway の変更が破棄されました。
- CCA-NR-1707: 選択された Network Discovery Gateway は正常に削除されました。
- CCA-NR-1712: 選択されたサーバの Network Discovery Gateway は正常に更新されました。
- CCA-NR-1713: 選択されたサーバのネットワーク レルムが正常に更新されました。

## NDG ディスカバリ情報メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation で NDG ディスカバリ操作を実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-ND-8050: 追加されたホスト <servername> がノード <NDGservername> 上の Network Discovery Gateway によって検出されました。
- CCA-ND-8051: 更新されたホスト <servername> がノード <NDGservername> 上の Network Discovery Gateway によって検出されました。
- CCA-ND-8068: 以下のネットワーク プロファイルを備えたネットワーク検出がキャンセルされます。

## ディスカバリおよびリフレッシュ情報メッセージ

このセクションでは、ディスカバリおよびリフレッシュ操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-DIS-8516: サーバ <servername> でディスカバリが開始しました。
- CCA-DIS-8519: サーバ <servername> でのディスカバリが完了しました。<0> 個のコンポーネントが検出されました。
- CCA-DIS-8521: <0> 個の新しいコンポーネントが見つかりました。<1> 個のコンポーネントが見つかりません。<2> 個のコンポーネントがサーバ <servername> 上で削除されました。
- CCA-DIS-8522: サーバ <servername> でリフレッシュが開始しました。
- CCA-DIS-8524: サーバ <servername> でのリフレッシュが完了しました。<0> 個のコンポーネントがリフレッシュされました。
- CCA-DIS-8525: サービス <servicename> でディスカバリが開始しました。
- CCA-DIS-8526: サービス <servicename> でディスカバリが完了しました。
- CCA-DIS-8527: サービス <servicename> でリフレッシュが開始しました。
- CCA-DIS-8528: サービス <servicename> でリフレッシュが完了しました。
- CCA-DIS-8553: サーバ <servername> でのディスカバリが中断されました。
- CCA-DIS-8565: ファイル <file> のパラメータ <parametername> の長さ <length> が最大長を超えてます。
- CCA-DIS-8568: ディスカバリ オプション : [discoveroptions]
- CCA-DIS-8574: 管理プロファイル <profilename> で、デフォルトのディスカバリ時間制限（待機なし）が使用されます
- CCA-DIS-8575: <profilename> に対してデフォルトのインベントリ ルーニング モード（不明マークを付けてインベントリに保持）が使用されます。
- CCA-DIS-8576: サーバ <servername> に OS ファミリが設定されていません。選択されたブループリントはプラットフォームに関係ないものになります。

- CCA-DIS-8585: サーバ <servername> で、コンポーネントのリフレッシュが開始しました。
- CCA-DIS-8586: サーバ <servername> でのコンポーネントのリフレッシュが完了しました。<1> 個のコンポーネントがリフレッシュされました。
- CCA-DIS-8598: <1> 個のコンポーネントは現在サービスによって使用されており、サーバ <servername> 上で変更されていません。
- CCA-DIS-8599: 検出されたデータ内に変更は見つかりません。ディスカバリは、サーバ <servername> 上のコンポーネント <blueprintname> (<path>) を無視します。
- CCA-DIS-8601: サーバ <servername> でコンポーネント <blueprintname> <path> が検出されません。コンポーネントの状態は [不明] に設定されます。
- CCA-DIS-8602: サーバ <servername> でコンポーネント <blueprintname> <path> が検出されません。コンポーネントは CCA インベントリから削除されます。
- CCA-DIS-8603: サーバ <servername> の <serverproperties> グリッドジョブが開始しました。
- CCA-DIS-8604: サーバ <servername> の <serverproperties> グリッドジョブが完了しました。<1> 個のコンポーネントが作成されました。

**CCA-DIS-8634:**

サーバコンポーネント <ハードウェア、ネットワーク、ストレージ> がサーバ <サーバ名> で検出されました

理由:

ログが検出されたサーバコンポーネントを表示します。

Action:

対処は不要です。

**CCA-DIS-8635**

現在のディスカバリジョブのブループリント部分は以下の通りです : <ブループリント名 + バージョン>

**理由 :**

サーバ管理プロファイルで選択されているブループリントは、ディスカバリ操作中にログ記録されます。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8636**

現在のディスカバリジョブのファイルインジケータ部分は、<ブループリントのファイルインジケータ>です。

**理由 :**

ログは、ディスカバリジョブの一部であるファイルインジケータのカンマ区切りリストを表示します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8637**

ディスカバリジョブから除外されたディレクトリは以下の通りです : <管理プロパティで指定される除外ディレクトリ>

**理由 :**

ログは、ディスカバリジョブから除外される管理プロパティのディレクトリを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8638**

ディスカバリジョブから除外されたファイルは以下の通りです :<管理プロパティで指定される除外ファイル>

**理由:**

ログは、ディスカバリジョブから除外される管理プロパティのファイルを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8639**

ディスカバリジョブがインジケータ検索を開始します(検索開始位置:<検索開始パス>、検索深度:<検索階層数の値>)

**理由:**

ログは、開始点およびインジケータ検索の深さレベルを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8640**

現在のディスカバリジョブのレジストリインジケータ部分は以下の通りです :<ブループリントのレジストリインジケータ>

**理由:**

ログは、ディスカバリ操作の一部であるファイルインジケータのカンマ区切りリストを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8641**

ディスカバリジョブがレジストリ検索を開始します(検索開始位置:<検索開始キー>、検索深度:<検索階層数の値>)

**理由:**

ログは、レジストリインジケータ検索と、ディスカバリ操作中の検索の深さを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8642**

現在のディスカバリジョブで、サーバ<サーバ名>のインジケータが見つかりませんでした。

**理由:**

ログは、ディスカバリ操作中、サーバに対するインジケータが見つからないことを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8646**

ディスカバリ中にインジケータ<ファイルインジケータ名>の以下のファイル検索ルートが見つかりました:<ファイル検索ルート>

**理由:**

ログは、ファイルインジケータに対して、ファイル検索 root が見つかったことを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8647**

ディスカバリ中にインジケータ<レジストリ インジケータ名>の以下のレジストリ検索ルートが見つかりました: <レジストリ検索ルート>

**理由:**

ログは、ファイルインジケータに対して、レジストリ検索 root が見つかったことを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8648**

コンポーネント ブループリント<ブループリント名>用に以下の有効なコンポーネント ルートが決定されました: <有効なコンポーネント ルート>

**理由:**

ログは、ファイルインジケータに対して、効果的な検索 root が見つかったことを指定します。検索ルートは、検出されたコンポーネントの修飾子です。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8649**

ブループリント<ブループリント名>用の検証ディレクティブが失敗しました(コンポーネント ルート <コンポーネント root>、サーバ <サーバ名>)。このため、このコンポーネントはディスカバリから破棄されます

**理由:**

ログは、コンポーネントに対する検証ルールが失敗し、ディスカバリ操作によってそのコンポーネントが除外されたことを示しています。

**Action:**

共有コンポーネントを更新します。新しいコンポーネントバージョンが使用可能な場合は、このメッセージを無視します。

**CCA-DIS-8650**

サーバプロパティコンポーネントがサーバ<サーバ名>で検出されました

ログステートメントは、サーバのプロパティコンポーネントが検出されたことを示しています

**理由:**

ログは、サーバに対してサーバプロパティコンポーネントが検出されたことを指定します。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8651**

サーバ<サーバ名>でディスカバリに要する時間:<秒数>

**理由:**

ログは、サーバの検出に対してかかった総時間を示しています。

**Action:**

対処は不要です。

**CCA-DIS-8652**

サーバ<サーバ名>でテストディスカバリが開始しました。

**理由:**

ログは、テストディスカバリの開始を示しています。

**Action:**

対処は不要です。

## プロファイル情報メッセージ

このセクションでは、プロファイル操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-PL-3501: 管理プロファイル <managementprofilename> は正常に作成されました。
- CCA-PL-3502: 管理プロファイル <managementprofilename> は正常に更新されました。
- CCA-PL-3503: 管理プロファイル <managementprofilename> は正常に削除されました。
- CCA-PL-3504: アクセスプロファイル <accessprofilename> は正常に作成されました。
- CCA-PL-3505: アクセスプロファイル <accessprofilename> は正常に更新されました。
- CCA-PL-3506: アクセスプロファイル <accessprofilename> は正常に削除されました。
- CCA-PL-3507: 通知プロファイル <notificationprofilename> が正常に作成されました。
- CCA-PL-3508: 通知プロファイル <notificationprofilename> が正常に更新されました。
- CCA-PL-3509: 通知プロファイル <notificationprofilename> が正常に削除されました。
- CCA-PL-3510: <profilename> はデフォルトプロファイルとして設定されました。
- CCA-PL-3511: 選択されたプロファイルが削除されました。
- CCA-PL-3512: 選択されたプロファイルが有効になりました。
- CCA-PL-3513: 選択されたプロファイルが無効になりました。
- CCA-PL-3532: プロファイル <profilename> は正常に更新されました。
- CCA-PL-3535: 管理プロファイルの変更が破棄されました。
- CCA-PL-3536: アクセスプロファイルの変更が破棄されました。
- CCA-PL-3537: 通知プロファイルの変更が破棄されました。

- CCA-PL-3543: 選択されたサーバへ割り当てられたプロファイル。
- CCA-PL-3544: 選択されたサービスへ割り当てられたプロファイル。
- CCA-PL-3555: 選択されたプロファイルが実行されました。
- CCA-PL-3568: <maxAge> より古いサービス <servicename> の <n> 個のスナップショットが削除されました。
- CCA-PL-3569: 最大数 <maxcount> を超過したサービス <servicename> の <n> 個のスナップショットが削除されました。
- CCA-PL-3578: 管理プロファイル <filename> の実行アクションが開始されました。
- CCA-PL-3578: 管理プロファイル <filename> の実行アクションが開始されました。
- CCA-PL-3583: <maxage.agequalifier> より古く、最大数 <maxcount> を超過したサーバ <servername> の <snapDeleted> スナップショットが削除されました。
- CCA-PL-3584: <maxage.agequalifier> より古く、最大数 <maxcount> を超過したサービス <servicename> の <snapDeleted> スナップショットが削除されました。
- CCA-PL-3586: 選択された管理プロファイルのジョブがサブミットされました。
- CCA-PL-3601: ネットワーク スキャン ポリシー <policyname> が正常に作成されました。
- CCA-PL-3602: ネットワーク スキャン ポリシー <policyname> が正常に更新されました。

- CCA-PL-3603: ネットワーク スキャン ポリシー <policyname> が正常に削除されました。
- CCA-PL-3604: ネットワーク スキャン ポリシーの変更が破棄されました。
- CCA-PL-3608: 選択されたポリシーが削除されました。
- CCA-PL-3616: 選択されたネットワーク スキャン ポリシーが削除されました。
- CCA-PL-3617: ネットワーク スキャン ポリシー <policyname> が正常にインポートされました。
- CCA-PL-3850: 認証情報ボールト プロファイル <profilename> が正常に作成されました。
- CCA-PL-3851: 認証情報ボールト プロファイル <profilename> が正常に更新されました。
- CCA-PL-3852: 認証情報ボールト プロファイル <profilename> が正常に削除されました。
- CCA-PL-3854: 認証情報ボールト プロファイルの変更が破棄されました。
- CCA-PL-3853: 認証情報ボールト プロファイル <profilename> がデフォルトのプロファイルとして設定されました。
- CCA-PL-3711: 通信マッピングが削除されました。
- CCA-PL-3714: 通信マッピングは正常に作成されました。
- CCA-PL-3733: アプリケーションマッピングは正常に並べ替えられました。
- CCA-PL-3735: サーバ <servername> 上のユーザ ID <username> の認証情報を検証するリクエストが発行されました。

- CCA-PL-3626: ネットワーク プロファイル <filename> は正常に作成されました。
- CCA-PL-3627: ネットワーク プロファイル <filename> は正常に更新されました。
- CCA-PL-3628: ネットワーク プロファイル <filename> は正常に削除されました。
- CCA-PL-3630: ネットワーク プロファイルの変更が破棄されました。
- CCA-PL-3636: ネットワーク プロファイル <filename> ジョブが開始しました。
- CCA-PL-3637: ネットワーク プロファイル <filename> ジョブが終了しました。 クリックして詳細を表示してください。 <url>
- CCA-PL-3722: アプリケーションマッピングは正常に作成されました。
- CCA-PL-3728: アプリケーションマッピング <applicationname> は正常にインポートされました。
- CCA-PL-3727: アプリケーションマッピング <applicationname> は正常に更新されました。
- CCA-PL-3724: アプリケーションマッピングが削除されました。
- CCA-PL-3816: キャンセル メッセージは、正常に Network Discovery Gateway に送信されました。
- CCA-PL-3821: 通知プロファイル <filename> が正常にインポートされました。
- CCA-PL-3822: 通知プロファイル <filename> が正常に更新されました。
- CCA-PL-3825: <maxage> より古いサーバ <servername> の <n> スナップショットが削除されました。
- CCA-PL-3826: 最大数 <maxcount> を超過したサーバ <servername> の <n> スナップショットが削除されました。

## プロパティ情報メッセージ

このセクションでは、プロパティ操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-PY-6501: プロパティ <propertyname> は正常に保存されました。
- CCA-PY-6502: ホスト <servername> 用のプロパティ <propertyname> が削除されました。
- CCA-PY-6503: ホスト <servername> 用のプロパティ <propertyname> が保存されました。

## ルール情報メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でルール操作を実行中に表示されるエラー メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-RL-2501: ルール <rulename> は正常に作成されました。
- CCA-RL-2502: ルール <rulename> は正常に更新されました。
- CCA-RL-2503: 選択されたルールは正常に削除されました。

## ルールコンプライアンス情報メッセージ

このセクションでは、ルールコンプライアンス操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-RC-8115: サーバ <servername> (スナップショット <snapshotdesignation>) 上のルールコンプライアンスが開始しました。

- CCA-RC-8117: サーバ <servername> (スナップショット <snapshotdesignation>) 上のルールコンプライアンスが完了しました。<resultURL>。
- CCA-RC-8118: サービス <servicename> (スナップショット <snapshotdesignation>) 上のルールコンプライアンスが開始しました。
- CCA-RC-8119: サービス <servicename> (スナップショット <snapshotdesignation>) 上のルールコンプライアンスが完了しました。<resultURL>。
- CCA-RC-8120: クリーンアップタスクにより、<1> 日以上古いルールコンプライアンスレコードが <1> 件見つかりました。
- CCA-RC-8121: <1> サーバのルールコンプライアンスタスクが開始しました。
- CCA-RC-8122: <1> サーバのルールコンプライアンスタスクが完了しました。<0> 件の失敗が見つかりました。
- CCA-RC-8123: <1> サービスのルールコンプライアンスタスクが開始しました。
- CCA-RC-8124: <1> サービスのルールコンプライアンスタスクが完了しました。<0> 件の失敗が見つかりました。
- CCA-RE-1627: ルール例外 (ルール <rulename>、ブループリント <blueprint name with version>) は正常に削除されました。
- CCA-RE-1631: ルール例外 (ルール <rulename>、ブループリント <blueprint name with version>) は正常に作成されました。
- CCA-RE-1632: ルール例外 (ルール <rulename>、ファイル構造クラス <filestructureclass name>) は正常に作成されました。
- CCA-RE-1635: ルール例外 (ルール <rulename>、ブループリント <blueprintname with version>) は正常に更新されました。
- CCA-RE-1636: ルール例外 (ルール <rulename>、ファイル構造クラス <filestructureclass name>) は正常に更新されました。
- CCA-RC-8132: クリーンアップタスクによって、いずれのサーバ/サービスとも関連付けのないルールコンプライアンス例外が <Exceptions Count> 件見つかりました。
- CCA-RC-8133: クリーンアップタスクによって、すでに存在していないルールコンプライアンス例外ルールが <Number of rules> 件見つかりました。

## ルール グループ情報メッセージ

このセクションでは、ルール グループ操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-RG-1601: ルール グループ <groupname> は正常に作成されました。
- CCA-RG-1602: ルール グループ <groupname> は正常に更新されました。
- CCA-RG-1603: ルール グループ <groupname> は正常に削除されました。
- CCA-RG-1605: 選択されたルール グループが削除されました。
- CCA-RG-1608: ルール グループの変更が破棄されました。
- CCA-RG-1610: ルール グループ <groupname> に <count> 個のルールが追加されました。
- CCA-RG-1611: ルール グループ <groupname> でルールが更新されました。
- CCA-RG-1612: ルール グループ <groupname> からルールが削除されました。
- CCA-RG-1614: ルール グループ <groupname> はすでに存在しています。
- CCA-RG-1615: ルール グループ <groupname> はエクスポートされました。
- CCA-RG-1616: ルール グループ <groupname> は正常にインポートされました。

## レポート情報メッセージ

このセクションでは、レポート操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-RT-6001: レポート <reportname> は正常に作成されました。

- CCA-RT-6002: レポート <reportname> は正常に更新されました。
- CCA-RT-6003: レポート <reportname> は正常に削除されました。
- CCA-RT-6004: レポート <reportname> は実行されました。
- CCA-RT-6005: このテンプレートのレポート <reportname> は正常に作成されました。
- CCA-RT-6007: <instancename> レポート インスタンスは正常に削除されました。
- CCA-RT-6009: <instancename> レポート インスタンスの共有が解除されました。
- CCA-RT-6010: <instancename> レポート インスタンスが共有されました。
- CCA-RT-6013: 選択されたインスタンスが正常に削除されました。
- CCA-RT-6014: 選択されたレポートが正常に削除されました。
- CCA-RT-6015: 選択されたインスタンスが共有されました。
- CCA-RT-6016: 選択されたインスタンスの共有が解除されました。
- CCA-RT-6024: 選択されたレポート タスクが正常にサブミットされました。
- CCA-RT-6045: レポートの変更が破棄されました。
- CCA-RT-6086: レポート実行タスクが正常にサブミットされました。
- CCA-RT-6087: レポート テンプレート <reporttemplatename> は <reportname> として保存されました。
- CCA-RT-6093: レポート <reportname> の実行を開始しました。
- CCA-RT-6094: レポート <reportname> の実行が完了しました。
- CCA-RT-6095: レポート <reportname> の添付ファイル サイズが添付ファイル設定プロパティ "mail.server.attachment.size" のデフォルト値を超過しています。デフォルトでは、レポート結果は通知内のハイパーリンクとして送信されます。

## 修復ジョブ情報メッセージ

このセクションでは、修復操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-RJ-8001: 修復ジョブの変更が破棄されました。
- CCA-RJ-8005: 選択された修復ジョブが削除されました。
- CCA-RJ-8006: 修復ジョブ <jobname> は正常に作成されました。
- CCA-RJ-8008: 修復ジョブ ステップ <jobstep> が保存されました。
- CCA-RJ-8009: 修復ジョブ <jobname> が保存されました。
- CCA-RJ-8015: 修復ジョブ <jobname> が更新されました。
- CCA-RJ-8016: 修復ジョブ <jobname> が削除されました。
- CCA-RJ-8036: クリーンアップタスクにより、<n> 日以上古い修復履歴レコードが <n> 件見つかりました。
- CCA-RJ-8037: サーバ <server> が修復ジョブ <jobname> に追加されました。
- CCA-RJ-8038: サーバ グループ <servergroup> が修復ジョブ <jobname> に追加されました。
- CCA-RJ-8039: サービス <service> が修復ジョブ <jobname> に追加されました。
- CCA-RJ-8040: <n> 個のサーバが修復ジョブ <jobname> から削除されました。
- CCA-RJ-8041: <n> 個のサーバ グループが修復ジョブ <jobname> から削除されました。
- CCA-RJ-8042: <n> 個のサービスが修復ジョブ <jobname> から削除されました。
- CCA-RJ-8044: 修復ジョブは正常に開始しました。

- CCA-RJ-8045: 修復ジョブ <jobname> が <time> に開始しました。
- CCA-RJ-8046: 修復ジョブ <jobname> が <time> に正常に終了しました。
- CCA-RJ-8049: 修復履歴 <jobname> の取り消しが開始しました。
- CCA-RJ-8050: 修復履歴 <jobname> の取り消しが正常に終了しました。
- CCA-RJ-8052: 修復履歴 <jobname> の再実行が開始されました。
- CCA-RJ-8053: 修復履歴 <jobname> の再実行が正常に終了しました。
- CCA-RJ-8055: ジョブ <jobname> の <n> 件の修復履歴が削除されました。
- CCA-RJ-8060: コンポーネント <component> のマクロ <macro> の実行がサーバ <server> で開始しました。
- CCA-RJ-8061: コンポーネント <component> のマクロ <macro> の実行がサーバ <server> で正常に終了しました。
- CCA-RJ-8070: 修復ジョブは正常に終了しました。
- CCA-RJ-8072: 修復ジョブは正常にスケジュールされました。
- CCA-RJ-8073: 修復ジョブが開始しました。
- CCA-RJ-8074: 修復ジョブの変更が破棄されました。

#### CCA-RJ-8047

修復ジョブ <jobname> が <time> に失敗して終了しました。

理由:

修復ジョブ <jobname> が失敗しました。

Action:

[ログ] タブで、失敗の原因となった対応する操作ログの詳細を確認します。

### CCA-RJ-8051:

修復履歴 <jobname> の取り消しが失敗して終了しました。

理由:

これは通知目的です。

Action:

失敗した修復履歴 <jobname> を元に戻します。 [ログ] タブで、失敗の原因となった対応する操作ログの詳細を確認します。

### CCA-RJ-8054

修復履歴 <jobname> の再実行が失敗して終了しました。

理由:

これは通知目的です。

Action:

失敗した修復履歴 <jobname> を再実行します。 [ログ] タブで、失敗の原因となった対応する操作ログの詳細を確認します。

## 修復プロファイル情報メッセージ

このセクションでは、修復プロファイル操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-RP-1002: 修復プロファイル <filename> が作成されました。
- CCA-RP-1004: 修復プロファイル <filename> が更新されました。
- CCA-RP-1005: 修復プロファイル <filename> が削除されました。

- CCA-RP-1006: 修復プロファイルの変更が破棄されました。
- CCA-RP-1014: 選択されたステップが削除されました。
- CCA-RP-1017: 修復プロファイルステップ <stepname> が作成されました。
- CCA-RP-1018: 修復プロファイルステップ <stepname> が更新されました。
- CCA-RP-1019: 修復プロファイルステップ <stepname> が削除されました。
- CCA-RP-1023: 修復プロファイルステップは正常に並べ替えされました。
- CCA-RP-1025: 修復プロファイル <filename> のステップが並べ替えされました。
- CCA-RP-1026: <n> 修復プロファイルステップが削除されました。
- CCA-RP-1027: 削除するリクエストで、修復プロファイルステップが 1 回以上指定されています。重複しているものは無視されます。
- CCA-RP-1031: <n> 修復プロファイルが削除されました。
- CCA-RP-1034: 修復プロファイルステップ <stepname> がプロファイル <filename> に追加されました。
- CCA-RP-1036: 修復プロファイル <filename> が正常にインポートされました。
- CCA-RP-1037: 修復プロファイル <filename> が正常に更新されました。
- CCA-RP-1038: 修復プロファイルはすでに存在します。

## 修復履歴情報メッセージ

このセクションでは、修復履歴操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-RH-1003: 選択された修復履歴レコードが削除されました。
- CCA-RH-1007: 選択された修復履歴レコードに対するジョブが正常に再実行されました。
- CCA-RH-1008: 選択された修復履歴レコードに対するジョブが正常にサブミットされました。

## リモートエージェントインストール情報メッセージ

このセクションでは、リモートエージェントインストールの実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-RI-1401: サーバ <servername> でリモートエージェントのインストールが開始しました。
- CCA-RI-1402: サーバ <servername> でリモートエージェントのアンインストールが開始しました。
- CCA-RI-1403: サーバ <servername> でリモートエージェントが正常にインストールされました。

- CCA-RI-1404: サーバ <servername> でリモート エージェントが正常にアンインストールされました。
- CCA-RI-1408: サーバ <Server Name> でのリモート エージェント インストール ジョブはポストされていません。
- CCA-RI-1410: サーバ <Server Name> でのリモート エージェント アンインストール ジョブはポストされていません。
- CCA-RI-1436: リモート エージェントのインストールでは sudo アカウントを使用しています。
- CCA-RI-1437: リモート エージェントのアンインストールでは sudo アカウントを使用しています。
- CCA-RI-1438: リモート エージェントのインストールがホスト名により失敗し、IP アドレス "<IP address>" で開始されました。
- CCA-RI-1439: リモート エージェントのアンインストールがホスト名により失敗し、IP アドレス "<IP address>" で開始されました。

## スクリプト情報メッセージ

このセクションでは、スクリプト操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-SE-1001: スクリプト <scriptname> は正常に作成されました。
- CCA-SE-1002: スクリプト <scriptname> は正常に更新されました。
- CCA-SE-1003: スクリプト <scriptname> は正常に削除されました。
- CCA-SE-1005: 選択されたスクリプトが削除されました。
- CCA-SE-1009: このスクリプトは 1 つ以上の他のルールに割り当てられています。
- CCA-SE-1015: スクリプトの変更が破棄されました。
- CCA-SE-1019: スクリプト <scriptname> がエクスポートされました。
- CCA-SE-1020: スクリプト <scriptname> はすでに存在します。
- CCA-SE-1021: スクリプト <scriptname> は正常にインポートされました。
- CCA-SE-1029: スクリプト <scriptname> がインポートされました。
- CCA-SE-1035: スクリプト <scriptname> はサーバ <servername> で実行されました。スクリプトの詳細については、CCA ログを参照してください。

### CCA-SE-1007

選択されたスクリプトを削除してもよろしいですか?

理由:

削除操作の確認。

Action:

確認が必要です。

### CCA-SE-1027

正常にインポートされました。ただしスクリプトには、スクリプトで定義されたいくつかのグローバル変数またはコンテキスト変数があります。これらの変数のいずれかがインポートされているか、明示的に作成されていることを確認してください。変数の名前については CCA ログを参照してください。

**理由:**

スクリプトには、グローバル変数またはコンテキスト変数への参照が含まれています。

**Action:**

変数がグローバル変数である場合、これらの変数がインポートされた変数か、または明示的に作成された変数であることを確認します。変数がコンテキスト変数である場合は、正常に解決されるように、適切なオブジェクト（ファイル/レジストリ/サービス/グループ ポリシー）で定義されたルールにスクリプトが割り当てられることを確認します。

**CCA-SE-1028**

スクリプト <scriptname> は正常にインポートされました。ただしスクリプトには、スクリプトで定義された次の変数があります: <variable List comma separated>。これらの変数のいずれかがインポートされているか、明示的に作成されていることを確認してください。

**理由:**

スクリプトには、グローバル変数またはコンテキスト変数への参照が含まれています。

**Action:**

変数がグローバル変数である場合、これらの変数がインポートされた変数か、または明示的に作成された変数であることを確認します。変数がコンテキスト変数である場合は、正常に解決されるように、適切なオブジェクト（ファイル/レジストリ/サービス/グループ ポリシー）で定義されたルールにスクリプトが割り当てられることを確認します。

## サーバ情報メッセージ

このセクションでは、サーバ操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-SR-1001: サーバ <servername> は正常に追加されました。
- CCA-SR-1002: ユーザが指定したサーバ名 <servername1> が、<servername2> に解決され、正常に追加されました。
- CCA-SR-1003: サーバ <servername> は正常に更新されました。
- CCA-SR-1004: サーバ <servername> は正常に削除されました。
- CCA-SR-1005: サーバ <servername> に対する管理プロファイルアクションの実行が開始されました。
- CCA-SR-1007: サーバ <servername> に対するディスカバリアクションの停止が開始されました。
- CCA-SR-1008: サーバ <servername> に対するリフレッシュサーバアクションが開始されました。
- CCA-SR-1010: 選択されたサーバが正常に削除されました。
- CCA-SR-1015: サーバの変更が破棄されました。
- CCA-SR-1018: サーバは正常に追加されました。
- CCA-SR-1021: サーバの検出停止ジョブがサブミットされました。
- CCA-SR-1022: 選択したサーバの管理プロファイルジョブがサブミットされました。
- CCA-SR-1027: 選択されたサーバ状態は、"管理対象" に変わりました。
- CCA-SR-1028: 選択されたサーバ状態は、"管理対象外" に変わりました。
- CCA-SR-1044: サーバ <servername> の管理プロファイルの実行が開始しました。
- CCA-SR-1063: ファイルは正常に処理されました。
- CCA-SR-1064: サーバ <servername> でエージェントは保護されています。
- CCA-SR-1066: サーバ <servername> でディスカバリがキャンセルされました。

- CCA-SR-1080: 現在、アドホック ディスカバリ操作はサーバ <servername> 上で実行されていません。ディスカバリ停止はアドホック ディスカバリにのみ適用可能です。
- CCA-SR-1045: サーバ <servername> の管理プロファイルの実行が完了しました。
- CCA-SR-1052: サーバの調整が成功しました。
- CCA-SR-1084: サーバ <servername> がサービス <servicename> で追加されました。
- CCA-SR-1085: サーバ <servername> がサービス <servicename> で削除されました。
- CCA-SR-1086: 管理オプション : [<selectedmanagementoptions>]
- CCA-SR-1087: サーバ <servername> は存在しません。
- CCA-SR-1089: サーバ <servername> に対するエージェントインストールアクションが開始されました。
- CCA-SR-1090: サーバ <servername> に対するエージェントアンインストールアクションが開始されました。
- CCA-SR-1100: 選択したサーバのディスカバリ ジョブがサブミットされました。
- CCA-SR-1101: 選択したサーバのリフレッシュ ジョブがサブミットされました。
- CCA-SR-1116: 選択したサーバのエージェントインストールジョブがサブミットされました。
- CCA-SR-1117: 選択したサーバのエージェントアンインストールジョブがサブミットされました。
- CCA-SR-1118: 選択したサーバのスナップショット ジョブがサブミットされました。
- CCA-SR-1121: サーバ <servername> に対するスナップショットアクションが開始されました。

- CCA-SR-1123: ホスト <servername>、IP アドレス <ipaddress> を解決できませんでした。サーバ作成がユーザによって許可されます。
- CCA-SR-1126: プロファイル <managementfilename> の変更検出操作を実行するためのスナップショットがサーバ <servername> 上にありません
- CCA-SR-1127: プロファイル <managementprofile> での比較を行うためのスナップショット (snapshotdesignation) がターゲットサーバ <servername> 上にありません
- CCA-SR-1137: サーバ <servername> のこのインスタンスは CCA データベースから削除されました。
- CCA-SR-1138: 自己登録エージェントリクエストを使用して、サーバ <servername> が正常に追加されました。
- CCA-SR-1152: 選択されたサーバが正常に更新されました。
- CCA-SR-1160: サーバ <servername> の調整が開始しました。
- CCA-SR-1161: サーバ <servername> の調整が正常に完了しました。
- CCA-SR-1173: スクリプトはサーバ <servername> で実行されました。スクリプトの詳細については、CCA ログを参照してください。
- CCA-SR-1174: ¥"{0}" サーバへの接続に、正しくないアクセスモードが使用されています。正しいアクセスプロファイルを割り当てるか、サーバ ¥"{1}" の OS 名を修正してください。

### CCA-SR-1056:

操作 <operation> は許可されません。

理由:

CSV ファイルを使用してサーバを追加する操作の実行時は、add コマンド以外のコマンドはサポートされていません。

Action:

対処は不要です。

**CCA-SR-1081**

サーバ <servername> を削除できません。<currentactivity>。

理由:

サーバ <servername> 上で <currentactivity> 操作が実行されています。

Action:

対処は不要です。

## セキュリティ証明書情報メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でセキュリティ証明書操作を実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-CT-9401: 認証局が破損しました。
- CCA-CT-9402: HTTPS サポートが無効化されました。
- CCA-CT-9403: HTTPS サポートが有効化されました。
- CCA-CT-9404: <certificatepurpose> 証明書がサーバ <servername> 用に作成されました。
- CCA-CT-9405: 認証局が正常に作成されました。この認証局を有効にするには CCA サーバを再起動する必要があります。
- CCA-CT-9407: 選択された証明書が正常に削除されました。
- CCA-CT-9408: 選択されたサーバ エージェントが正常に保護されました。
- CCA-CT-9432: サーバ <servername> の <certificatepurpose> 証明書が削除されました。
- CCA-CT-9475: サーバ <servername> 用の <certificatepurpose> 証明書が作成されました。¥"HTTPS の有効化¥" アクションを実行して HTTPS を有効にしてください。
- CCA-CT-9476: クライアント認証は有効です。
- CCA-CT-9477: クライアント認証は無効です。
- CCA-CT-9496: <certificatepurpose> 証明書がユーザ <username> 用に作成されました。

## 構造クラス情報メッセージ

このセクションでは、構造クラス操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-SC-5001: ファイル構造クラス <fscname> は正常に作成されました。
- CCA-SC-5002: ファイル構造クラス <fscname> は正常に更新されました。
- CCA-SC-5003: ファイル構造クラス <fscname> は正常に削除されました。
- CCA-SC-5008: ファイル構造クラスの変更が破棄されました。
- CCA-SC-5009: グループ <groupname> が正常に作成されました。
- CCA-SC-5010: グループ <groupname> が正常に削除されました。
- CCA-SC-5011: グループ <groupname> が正常に更新されました。
- CCA-SC-5016: パラメータ <parameternname> は正常に作成されました。
- CCA-SC-5017: パラメータ <parameternname> は正常に更新されました。
- CCA-SC-5018: パラメータ <parameternname> は正常に削除されました。
- CCA-SC-5029: 構造クラスは正常にエクスポートされました。
- CCA-SC-5031: 構造クラス <structureclass> は正常にインポートされました。
- CCA-SC-5033: 選択されたファイル構造クラスは正常に削除されました。
- CCA-SC-5041: パラメータは正常に並べ替えされました。
- CCA-SC-5042: グループは正常に並べ替えされました。

## サーバグループ情報メッセージ

このセクションでは、サーバグループ操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-SG-1501: サーバグループ <groupname> は正常に作成されました。
- CCA-SG-1502: サーバグループ <groupname> は正常に更新されました。

- CCA-SG-1503: サーバ グループ <groupname> は正常に削除されました。
- CCA-SG-1505: 選択されたサーバ グループが削除されました。
- CCA-SG-1508: サーバ グループの変更が破棄されました。
- CCA-SG-1511: サーバ グループ <groupname> はエクスポートされました。
- CCA-SG-1512: サーバ グループ <groupname> はすでに存在します。
- CCA-SG-1514: サーバ グループ <groupname> はインポートされました。

## サービス情報メッセージ

このセクションでは、サービス操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-SV-2001: サービス <servicename> は正常に作成されました。
- CCA-SV-2002: サービス <servicename> は正常に更新されました。
- CCA-SV-2003: サービス <servicename> は正常に削除されました。
- CCA-SV-2004: サービス <servicename> に対する管理プロファイルアクションの実行が開始されました。
- CCA-SV-2005: サービス <servicename> に対するディスカバリ アクションの実行が開始されました。
- CCA-SV-2006: サービス <servicename> に対するディスカバリ停止アクションの実行が開始されました。
- CCA-SV-2007: サービス <servicename> に対するリフレッシュ サーバアクションが開始されました。
- CCA-SV-2009: 選択されたサービスは正常に削除されました。
- CCA-SV-2014: サービスの変更は正常に破棄されました。

- CCA-SV-2015: サービス スナップショットの変更は正常に破棄されました。
- CCA-SV-2019: サービスの検出停止ジョブがサブミットされました。
- CCA-SV-2020: 選択したサービスの管理プロファイルジョブがサブミットされました。
- CCA-SV-2024: サービス <servicename> の管理プロファイルの実行が開始しました。
- CCA-SV-2025: サービス <servicename> の管理プロファイルの実行が完了しました。
- CCA-SV-2039: サービス <servicename> でディスカバリがキャンセルされました。
- CCA-SV-2049: 現在、ディスカバリ操作はサービス <servicename> 上で実行されていません。
- CCA-SV-2050: サービス <servicename> (<currentactivity>) を削除できません。
- CCA-SV-2052: サーバ <servername> がサービス <servicename> で追加されました。
- CCA-SV-2053: サーバ <servername> がサービス <servicename> で削除されました。
- CCA-SV-2056: 選択したサービスのディスカバリジョブがサブミットされました。
- CCA-SV-2057: 選択したサービスのリフレッシュジョブがサブミットされました。
- CCA-SV-2059: 選択したサービスのスナップショットジョブがサブミットされました。
- CCA-SV-2060: サービス <servicename> に対するスナップショットアクションが開始されました。
- CCA-SV-2063: プロファイル <managementprofile> での比較を行うためのスナップショット (<designatedsnapshot>) がターゲットサービス <servicename> 上にありません。
- CCA-SV-2062: プロファイル <managementprofile> の変更検出操作を実行するためのスナップショットがサービス <servicename> 上にありません。
- CCA-SV-2077: サービス <Service Name> は正常にインポートされました。

## サービス プロファイル情報メッセージ

このセクションでは、サービス プロファイル操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-SVCP-1001: サービス プロファイル <Profile Name> は正常に作成されました。
- CCA-SVCP-1002: サービス プロファイル <Profile Name> は正常に更新されました。
- CCA-SVCP-1003: サービス プロファイル <Profile Name> は正常に削除されました。

## スナップショット情報メッセージ

このセクションでは、スナップショット操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-ST-3002: サービス <servicename> のスナップショット <snapshotname> が正常に削除されました。
- CCA-ST-3003: サービス スナップショット <snapshotname> は正常に作成されました。

- CCA-ST-3004: サービス スナップショット <snapshotname> は正常に更新されました。
- CCA-ST-3005: サービス スナップショット <snapshotname> は正常に削除されました。
- CCA-ST-3007: サーバ <servername> のスナップショット <snapshotname> が正常に削除されました。
- CCA-ST-3008: サーバスナップショット <snapshotname> は正常に作成されました。
- CCA-ST-3009: サーバスナップショット <snapshotname> は正常に更新されました。
- CCA-ST-3010: サーバスナップショット <snapshotname> は正常に削除されました。
- CCA-ST-3011: スナップショット <snapshotname> は正常に保存されました。
- CCA-ST-3019: スナップショット <snapshotname> は <snapshotdesignation> として指定されています。
- CCA-ST-3025: サーバスナップショットの変更が破棄されました。
- CCA-ST-3028: スナップショットの <snapshotdesignation> 指定を削除しました。
- CCA-ST-3047: サーバ <servername> のサーバスナップショット <snapshotname> が正常にインポートされました。
- CCA-ST-3048: サービス <servicename> のサービススナップショット <snapshotname> が正常にインポートされました。
- CCA-ST-3051: スナップショットがすでに存在します。
- CCA-ST-3055: サーバスナップショット <snapshotname> が開始しました。
- CCA-ST-3056: スナップショット削除操作は開始しました。 詳細についてはログを確認してください。

- CCA-ST-3059: サービス <servicename> のスナップショット <snapshotname> の削除が開始しました。
- CCA-ST-3060: サーバ <servername> のスナップショット <snapshotname> の削除が開始しました。
- CCA-ST-3061: サーバ <servername> に対するスナップショット削除操作が開始されました。
- CCA-ST-3062: サービス <servicename> に対するスナップショット削除操作が開始されました。
- CCA-ST-3063: サーバ <servername> のスナップショット <snapshotname> はすでに削除されています。
- CCA-ST-3064: サービス スナップショット <snapshotname> が開始しました。
- CCA-ST-3081: サービス "<servicename>" のスナップショット "<snapshotname>" はすでに削除されています。

## ストレージ エリア ネットワーク情報メッセージ

このセクションでは、ストレージ エリア ネットワーク操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-SS-1002: 選択されたストレージ システムが正常に削除されました。
- CCA-SS-1003: ストレージ システム <Storage System Name> は正常に削除されました。

## テーブル ビュー情報メッセージ

このセクションでは、テーブル ビュー操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-TV-7001: テーブル ビュー <viewname> は正常に更新されました。
- CCA-TV-7002: テーブル ビュー <viewname> は正常に作成されました。

- CCA-TV-7004: 選択されたテーブル ビューが正常に削除されました。
- CCA-TV-7005: テーブル ビューへの変更が破棄されました。
- CCA-TV-7013: テーブル ビュー <viewname> は正常に削除されました。
- CCA-TV-7014: テーブル ビュー <viewname> はエクスポートされました。
- CCA-TV-7016: テーブル ビュー <viewname> がインポートされました。
- CCA-TV-7017: 返されたレコードの数が許可された最大値を超えました。フィルタを使用してレコード数を制限してください。

## テナント情報メッセージ

このセクションでは、テナント操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-TN-9950: テナント <tenant name> は正常に更新されました。

## タスク ウィザード情報メッセージ

このセクションでは、CA Configuration Automation でタスク ウィザード操作を実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザ アクションは不要です。

- CCA-TW-1006: ネットワーク ディスカバリが開始されました。
- CCA-TW-1007: サービス ディスカバリが開始されました。
- CCA-TW-1010: ジョブが完了しました。
- CCA-TW-1012: ネットワーク ディスカバリは正常にスケジュールされました。
- CCA-TW-1013: エージェントインストールは正常にスケジュールされました。

## プロファイルの UI エクスポートおよびインポート情報メッセージ

このセクションでは、UI エクスポートおよびインポート操作の実行中に表示される情報メッセージについて説明します。

以下のメッセージは通知目的でのみ表示され、ユーザアクションは不要です。

- CCA-MP-5601: 管理プロファイルはすでに存在します。
- CCA-MP-5602: 管理プロファイル <managementprofilename> は正常にインポートされました。
- CCA-MP-5603: 管理プロファイル <managementprofilename> は正常に更新されました。
- CCA-AP-5604: アクセス プロファイル <accessprofilename> は正常にインポートされました。
- CCA-AP-5605: アクセス プロファイル <accessprofilename> は正常に更新されました。
- CCA-PL-5611: アクセス プロファイルはすでに存在します。
- CCA-NP-5613: ネットワーク プロファイルはすでに存在します。
- CCA-NP-5614: ネットワーク プロファイル <networkprofilename> は正常にインポートされました。
- CCA-NP-5615: ネットワーク プロファイル <networkprofilename> は正常に更新されました。